

JAPAN/MARC
MARC21 フォーマット
マニュアル
(2021 年 1 月)

単行・逐次刊行資料編

国立国会図書館

2025 年 3 月

目次

1. はじめに.....	6
2. 収録範囲と内容.....	7
3. フォーマットとデータ内容.....	10
4. データの文字表現形式および凡例.....	12
5. 読みの表現方法.....	13
6. 関連規格およびコード一覧.....	15
7. 用語の説明.....	17
8. フォーマットおよびデータ要素一覧.....	19
9. データ例示.....	54
10. データ要素説明.....	63
レコードラベル (Leader)	67
●00-04 : 書誌レコード長.....	67
●05 : レコード・ステータス.....	67
●06 : レコード種別.....	68
●07 : 書誌レベル.....	68
●08 : 制御種別コード.....	68
●09 : 文字コード.....	68
●10 : インディケータの長さ.....	68
●11 : サブフィールド識別子の長さ.....	69
●12-16 : データのベースアドレス.....	69
●17 : 符号化レベル.....	69
●18 : 記述目録形式.....	69
●19 : 複数巻単行資料レコードレベル.....	69
●20 : データフィールド長領域の長さ.....	69
●21 : 先頭文字位置領域の長さ.....	70
●22 : 適用者指定項目の長さ.....	70
●23 : 未定義項目.....	70
00X : レコード管理ブロック.....	71
001 レコード管理番号.....	72
003 レコード管理番号識別子.....	73
005 レコード最終更新年月日.....	74
007 物理的属性コード化情報.....	75
008 一般コード化情報.....	87
0XX : 番号・コードブロック.....	103

015	全国書誌番号	104
020	国際標準図書番号 (ISBN)	106
022	国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)	109
024	その他の標準識別子	111
028	出版者番号	112
034	数値データ：コード化情報 (地図資料)	114
035	他 MARC 番号等	117
040	レコード作成機関	119
041	言語コード	121
044	出版・製作国コード	123
045	内容年 (地図資料)	124
084	分類記号	126
090	請求記号	128
098	地図各種番号 (地図資料)	129
20X-24X	：タイトルブロック	131
210	略タイトル	132
222	キー・タイトル	133
245	タイトル、責任表示	135
246	並列タイトル、その他のタイトル	144
25X-28X	：版表示、出版表示等ブロック	148
250	版表示	149
255	数値データ (地図資料)	152
256	電子的内容 (電子資料) (不使用)	156
260	出版・頒布等に関する事項 (不使用)	158
264	出版表示等	162
3XX	：形態等ブロック	167
300	キャリアに関する情報：数量、大きさ等	168
310	刊行頻度	173
321	刊行頻度の変化	176
336	表現種別	177
337	キャリアに関する情報：機器種別	180
338	キャリアに関する情報：キャリア種別	183
340	キャリアに関する情報：媒体の特性等	187
344	キャリアに関する情報：録音の特性 (非図書資料)	193
346	キャリアに関する情報：ビデオの特性 (映像資料)	196
347	キャリアに関する情報：デジタル・ファイルの特性 (非図書資料)	199

362	順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記.....	201
4XX	：シリーズブロック	203
490	シリーズ表示.....	204
5XX	：注記ブロック	208
500	一般注記.....	209
504	書誌注記.....	212
505	内容細目等.....	213
510	雑誌記事索引注記.....	217
511	出演者注記（録音資料・映像資料）.....	219
516	電子的内容に関する注記（電子資料）（不使用）.....	220
518	日付および場所に関する注記（録音資料・映像資料）.....	221
520	要約等.....	222
521	対象利用者.....	223
530	別の媒体に関する注記.....	224
534	原資料等に関する注記.....	225
536	科学研究費助成事業課題番号（科研費課題番号）.....	227
538	システム要件に関する注記（非図書資料）.....	228
546	言語注記.....	230
550	出版表示等に関する注記.....	232
555	総目次・総索引注記.....	234
561	所有・管理履歴.....	235
563	装丁に関する注記.....	236
580	リンクに関する注記.....	237
586	賞（映像資料）.....	238
588	識別の基盤に関する注記.....	239
6XX	：アクセス・ポイントブロック（件名）	240
600	典拠形アクセス・ポイント（件名）：個人、家族.....	241
610	典拠形アクセス・ポイント（件名）：団体.....	246
630	典拠形アクセス・ポイント：統一タイトル件名.....	249
650	典拠形アクセス・ポイント：普通件名.....	252
651	典拠形アクセス・ポイント（件名）：場所.....	255
653	非統制形アクセス・ポイント（件名）.....	258
655	典拠形アクセス・ポイント：ジャンル・形式用語.....	259
70X-75X	：アクセス・ポイントブロック（創作者等）	261
700	典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：個人、家族.....	262
710	典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：団体.....	269

720	非統制形アクセス・ポイント（創作者等）	274
730	典拠形アクセス・ポイント：著作	276
740	非統制形アクセス・ポイント（タイトル）	278
76X-78X	：資料との関連リンクブロック	280
760	上位のシリーズ	281
762	サブシリーズ	283
765	原言語版	285
767	他言語版	287
770	付属	289
772	本体	291
775	異版	293
776	他媒体版	295
780	先行	297
785	後続	300
787	その他の関連	303
80X-83X	：アクセス・ポイントブロック（シリーズの創作者等）	306
800	典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：個人、家族	307
810	典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：団体	314
84X-88X	：所蔵、代替文字種表現等ブロック	319
856	オンライン資料へのアクセス（地図資料）	320
866	所蔵情報	322
880	代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）	323
更新履歴	325

1. はじめに

国立国会図書館では、2012年1月から、米国議会図書館が提供する MARC 21 フォーマットに準拠した「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」での書誌・典拠データの提供を行っている。

本マニュアルは、この「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」のうち『JAPAN/MARC 単行・逐次刊行資料編』（以下、『JAPAN/MARC (M/S)』）について説明する。

国立国会図書館では、2021年1月から、書誌データの作成に『日本目録規則 2018年版』を適用している。

本マニュアルは、『日本目録規則 2018年版』を適用する書誌データに対応して、旧版（「JAPAN/MARC MARC21 フォーマットマニュアル単行・逐次刊行資料編」（2012年1月～2020年12月）^{注1)}）の内容を改訂したものである。

注1) 最終更新：2019年4月

(https://warp.da.ndl.go.jp/collections/NDL_WA_po_print/info:ndljp/pid/11628650/www.ndl.go.jp/jp/data/NDL_WA_po_JAPANMARC_MARC21manual_MS.pdf)

2. 収録範囲と内容

国立国会図書館法第 23 条、第 24 条、第 24 条の 2 および第 25 条の規定によって、国立国会図書館に納入、寄贈、遺贈、購入、交換、移管された出版物のうち、『JAPAN/MARC (M/S)』で扱う範囲は以下のとおりである。

(1) 出版地および言語

国内で発行された出版物（日本語以外の出版物を含む^{注1)}）、および、外国で発行された日本語出版物の書誌データを収録する。

注1) 国内で発行された日本語以外の出版物のうち、アジア言語資料は、2012 年から収録を開始した。

(2) 出版物の種類

収録対象となる出版物の種類は次のとおりである。

(ア) 図書（更新資料（加除式資料）、単行の大活字資料、冊子体の地図資料（地図帳）および冊子体の楽譜を含む）

(イ) 逐次刊行物

(ウ) 非図書資料

単行または逐次刊行される資料のうち次の形態の出版物

①地図資料（一枚もの、住宅地図）

②楽譜資料（一枚もの）

③録音資料（録音ディスク、録音テープ、CD 等）

④映像資料（スライド、ビデオカセット、ビデオディスク、ビデオ CD 等）

⑤静止画資料（絵画、写真、絵葉書、設計図、カード等）

⑥電子資料

⑦点字資料

⑧マイクロ資料

(3) 適用規則

適用している目録規則、分類表、件名標目表等は、時代によって変遷している。その概要は、次頁の表のとおりである。

なお、一部の資料については、収録しているデータ要素の一部を省略した簡略データとしているものがある。

本マニュアルにおける目録用語は、一部の例外を除き、『日本目録規則 2018 年版』に従う。また、対応する『日本目録規則 2018 年版』の条項を「10. データ要素説明」に付す。

JAPAN/MARC の適用規則一覧

『JAPAN/MARC (M/S)』は 2014 年 4 月、『JAPAN/MARC (M) 単行資料の部』と『JAPAN/MARC (S) 逐次刊行資料の部』を一本化して提供を開始した。収録内容は両部を継承している。単行資料、逐次刊行資料のそれぞれについて、適用規則の変遷を以下に示す。

表中では、『日本目録規則』は NCR、『日本十進分類法』は NDC、『国立国会図書館分類表』は NDLC、『国立国会図書館件名標目表』は NDLSH、『国立国会図書館ジャンル・形式用語表』は NDLGFT と省略している。

全国書誌番号（ここでは「JP」と省略する）の体系については、「10. データ要素説明」のフィールド 015（全国書誌番号）の表「全国書誌番号の構成」を参照のこと。

『JAPAN/MARC(M/S)』に収録する単行資料^{注1)}

種類	範囲	目録規則	分類表	件名標目表、ジャンル・形式用語表
カレント版	2021 年～ (JP23468467～)	NCR2018 年版	NDC 新訂 10 版 (2017 年 4 月以降) NDLC	NDLSH NDLGFT
	1998 年～ 2020 年 (JP98～JP99、 JP20000001～ JP23468463)	NCR1987 年版改訂版 (2001 年 8 月以降は NCR1987 年版改訂 2 版、2006 年 6 月以降は NCR1987 年版改訂 3 版)	NDC 新訂 9 版 ^{注2)} NDLC	
	1997 年 (JP97)	NCR 新版予備版	NDC 新訂 8 版 NDLC	
	1980 年～ 1996 年 (JP80011677～JP96)		NDC 新訂 6 版 NDLC	
	1977 年～ 1980 年 (JP77～ JP80011676)			
遡及版	1969 年～ 1976 年 (JP69～JP76)	^{注3)} NCR 1965 年版 (1971～1977)	NDC 新訂 6 版 (1948 年～1950 年 8 月までは、NDC 第 5 版の千区分表を使用)	
	1948 年～ 1968 年 (JP48～JP68)	NCR 1952 年版 (1953.4～ 1970) NCR 1942 年版 (1948～ 1953.3)		
遡及版	1868 年～	^{注3)}	NDC 新訂 6 版	明治期 (JP40～)

(明治期・大正期・昭和元年～24年3月)	1949年 (JP40～JP47)	NCR1952年版ほか 追加分はNCR新版予備版	(簡略版)	41)に人名件名のみ付与
----------------------	----------------------	-----------------------------	-------	--------------

注1) 対象資料は、前記(2)の(ア)および(ウ)のうちの単行資料である(2014年3月までは『JAPAN/MARC(M)単行資料の部』に収録)。

注2) JP:2*****以降においては、一部の遡及入力データも含まれるため、資料の発行年によっては、NDC新訂6版が使用されている場合がある。

注3) 遡及版は、すべてNCR新版予備版を適用した形に修正して入力している。

『JAPAN/MARC(M/S)』に収録する逐次刊行資料^{注1)}

種類	範囲	目録規則	分類表	件名標目表、ジャンル・形式用語表
カレント版	2021年1月～	NCR2018年版	NDLC	NDLGFT
	2002年4月～ 2020年12月 ^{注2)}	NCR1987年版改訂版 (2004年4月以降はNCR1987年版改訂2版、2009年4月以降はNCR1987年版改訂3版)		
	1986年～ 2002年3月	国立国会図書館逐次刊行物目録規則1982年版	NDLC、NDC新訂6版、雑函(旧帝国図書館旧蔵分)のいずれか	
	～1985年	「逐次刊行物目録記入要領」 「逐次刊行物扱いのマイクロ写真資料目録記入要領」 その他		

注1) 対象資料は、前記(2)の(イ)および(ウ)のうちの逐次刊行資料である(2014年3月までは『JAPAN/MARC(S)逐次刊行資料の部』に収録)。

注2) 逐次刊行資料のJP番号は年代と関連していない。

3. フォーマットとデータ内容

「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」は、書誌情報交換用の国際標準フォーマット（ISO 2709）および MARC 21^{注1)} に準拠している。

「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」では、日本語の特徴である漢字データとその読みを示す「片仮名読み形」、「ローマ字読み形」データとのリンクを行うため、特殊な処理を加えている。また、当館の書誌作成ルールにより、1XX（基本記入ブロック）は使用しない。それ以外のフィールド、サブフィールドについても、当館では使用しないものや当館独自の運用を行うものがある。

本マニュアルでは、便宜的にデータフィールド群を以下の 12 ブロックに大別し、その中をフィールド、サブフィールドに細分して説明する。各フィールドはフィールド識別子およびインディケータによって、サブフィールドはサブフィールド識別子によって識別することができる。

注1) MARC 21 は、米国議会図書館が提供し、各国で採用されている MARC フォーマットである。

ブロック	ブロック名	概要（NCR2018年版の条項を付す）
00X	レコード管理ブロック	書誌レコード管理番号、その他のコード化情報
0XX	番号・コードブロック	標準番号、分類記号、コード等
20X～24X	タイトルブロック	タイトル（NCR の#2.1）、責任表示（同#2.2）、非統制形アクセス・ポイント（タイトル）（同#21.2）とするタイトル
25X～28X	版表示、出版表示等ブロック	版表示（NCR の#2.3）、地図資料の数値データ（同#4.18.1、#5.23、#5.24）、出版表示等（同#2.5～#2.7、#2.9）
3XX	形態等ブロック	キャリアに関する情報（NCR の#2.14～#2.33）、逐次刊行資料の刊行頻度（同#2.13）、逐次刊行資料の順序表示（同#2.4）、逐次刊行資料の休・廃刊注記、表現種別（同#5.1）
4XX	シリーズブロック	シリーズ表示（NCR の#2.10）
5XX	注記ブロック	体現形に関する注記（NCR の#2.41）、キャリアに関する注記（同#2.42）等
6XX	アクセス・ポイントブロック（件名）	資料と主題との関連（NCR の#45（保留））
70X～75X	アクセス・ポイントブロック（創作者等）	資料に関する基本的関連（NCR の#42）、資料に関するその他の関連（同#43）および資料と個

		人・家族・団体との関連（同#44）
76X～78X	資料との関連リンクブロック	著作間の関連（NCR の#43.1）、表現形間の関連（同#43.2）、体現形間の関連（同#43.3）
80X～83X	アクセス・ポイントブロック（シリーズの創作者等）	資料と個人・家族・団体との関連（NCR の#44）のうち、シリーズに対応する著作の創作者等との関連
84X～88X	所蔵、代替文字種表現等ブロック	オンライン資料へのアクセス、所蔵情報、代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）

4. データの文字表現形式および凡例

(1) 使用する文字コード

「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」で使用する文字コードは ISO/IEC 10646 (UCS)、符号化方式は UTF-8 とする。ただし、上記体系の範囲内の文字であっても、国立国会図書館における「文字の取扱い基準 (2021 年 1 月)」に従い置き換える場合がある。

(2) 制御文字符号

ISO/IEC 10646 で定義されているもののうち、「JAPAN/MARC MARC21 フォーマット」で使用する制御文字符号は以下のとおりである。

コード	機能
1f (Hex)	サブフィールド識別子の最初の文字を示す
1e (Hex)	フィールド区分文字を示す
1d (Hex)	レコード区分文字を示す

(3) 凡例

本マニュアルの例の中では、特に指定する場合を除き、便宜上以下の表現方法をとっている。

フィールド識別子	数字 3 桁で示す。例) 245
インディケータ	数字 2 桁で示す。例) 00
サブフィールド識別子 (サブフィールド開始文字 + サブフィールド識別文字)	サブフィールド開始文字を「\$」で、サブフィールド識別文字をアルファベットまたは数字 1 文字で示す。例) \$a
フィールド区分文字	「9. データ例示」では「¥」で示す。「それ以外のデータ例では省略している。
空白	それぞれ以下のとおり表現する。 <ul style="list-style-type: none">・# インディケータおよびコード中の空白・△ 記述中の空白・□ 区切り記号上の空白
レコード区分文字	「9. データ例示」では「@」で示す。それ以外のデータ例では省略している。

5. 読みの表現方法

『JAPAN/MARC (M/S)』では、MARC 21 Format for Bibliographic Data の [Appendix D - Multiscript Records Model A: Vernacular and transliteration](#) に準拠し、漢字データとその片仮名読み形、ローマ字読み形のデータをフィールド 880 (代替文字種表現 (片仮名読み形・ローマ字読み形)) とそれ以外のフィールドの組で表現する。

片仮名読み形の表記は、国立国会図書館における「読みの基準 (2021 年 1 月) 別紙 2. 片仮名読み形記録要領」に従う。

ローマ字読み形の表記は、国立国会図書館における「読みの基準 (2021 年 1 月) 別紙 3. ローマ字読み形記録要領」に従う。

- ・ 880以外のフィールド (以下「正規フィールド」という) :

漢字・仮名データを収録する。

組となる片仮名読み形、ハングル読み形、またはローマ字読み形が存在するときは、サブフィールド\$6に組となるフィールド識別子「880」とオカレンス番号を収録する。

一部のデータで、組となる読みがないが、サブフィールド\$6が存在する場合がある。このとき、当該正規フィールドと同じオカレンス番号を持つフィールド880は存在しない。

- ・ フィールド880 :

片仮名読み形、ハングル読み形、またはローマ字読み形を、フィールドを繰り返して収録する。

第1インディケータ、第2インディケータとも、組となる正規フィールドと同値とする。サブフィールド\$6に、組となる正規フィールドのフィールド識別子、オカレンス番号、および当該フィールド880の文字種コードを収録する。

文字種コードは、MARC 21 Format for Bibliographic Dataの[Appendix A - Control Subfields Subfield Codes \\$6 - Linkage Script identification code](#)に従い、片仮名読み形・ハングル読み形の場合「\$1」 ("Chinese, Japanese, Korean"を意味するコード値)、ローマ字読み形の場合「(B)」 ("Latin"を意味するコード値) とする。

例1) フィールド245、700の読みを収録する場合 (日本語資料)

245 00 \$6 880-01^{注1)}

\$a 吾輩は猫である□/

\$c 夏目漱石□作

700 1# \$6 880-02^{注1)}

\$a 夏目,□漱石,

\$d 1867-1916

\$e 著者
 \$0 00054222
 880 00 \$6 245-01/\$1^{注2)}
 \$a ワガハイ△ワ△ネコ△デ△アル
 880 00 \$6 245-01/(B^{注2)}
 \$a Wagahai□wa□neko□de□aru
 880 1# \$6 700-02/\$1^{注2)}
 \$a ナツメ,□ソウセキ,
 \$d 1867-1916
 \$0 00054222
 880 1# \$6 700-02/(B^{注2)}
 \$a Natsume,□Soseki,
 \$d 1867-1916
 \$0 00054222

例2) フィールド245の読みを収録する場合 (朝鮮語資料)

245 00 \$6 880-01^{注1)}
 \$a 大韓民國의△性格과△그△世界的意義
 880 1# \$6 245-01/\$1^{注2)}
 \$a 대한△민국의△성격과△그△세계적△의의

注1) 正規フィールドの\$6 : 880-[オカレンス番号]

注2) フィールド 880 の\$6 : [組となる正規フィールドのフィールド識別子]-[オカレンス番号]/[文字種コード (「\$1」は片仮名読み形、ハングル読み形、「(B)」はローマ字読み形)]

※ フィールド 880 の第 1、第 2 インディケータは、組となる正規フィールドと同値

6. 関連規格およびコード一覧

(1) 国際規格

ISO 4

Information and documentation -- Rules for the abbreviation of title words and titles of publications

ISO 2108

Information and documentation -- International standard book numbering (ISBN)

ISO 2709

Information and documentation -- Format for Information Exchange

ISO 3297

Information and documentation -- International standard serial number (ISSN)

ISO 8601

Data elements and interchange formats -- Information interchange -- Representation of dates and times

ISO/IEC 10646

Information technology — Universal Coded Character Set (UCS)

(2) 国内規格

JIS X 0221 国際符号化文字集合 (UCS)

(ISO 10646)

JIS X 0301 情報交換のためのデータ要素及び交換形式—日付及び時刻の表記

(ISO 8601)

JIS X 0305 国際標準図書番号 (ISBN)

(ISO 2108)

JIS X 0306 国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)

(ISO 3297)

JIS X 0401 都道府県コード

JIS X 0402 市区町村コード

(3) MARC 21 コード表

[MARC Code List for Organizations](#)

[MARC Code List for Countries](#)

[MARC Code List for Languages](#)

[Description Convention Source Codes](#)

[National Bibliography Number Source Codes](#)

[Classification Scheme Source Codes](#)

[Subject Heading and Term Source Codes](#)

(4) MARC 21 以外によるコード表

[List of the Country and ISSN Centre codes](#)

7. 用語の説明

本マニュアルの中で使用している主な用語について説明する。

用語	説明
インディケータ	データフィールドの最初に置く 2 バイトのデータ。フィールド内のデータに関する付加的情報や、リンク付けなど書誌データ内の他のフィールドとの関係、またはデータ処理過程で要求される特定の処理に対する付加的情報を示す。
サブフィールド	データフィールドを構成する要素の一つで、特定の書誌単位を記述するためのデータを収める部分をいう。
サブフィールド識別子	サブフィールドの最初に置くサブフィールドを同定、識別するための 2 バイトのデータ。サブフィールド開始文字、サブフィールド識別文字からなる。本文の例では、サブフィールド開始文字を「\$」で表示してある。
書誌データ	特定の書誌単位を記述するためのデータを収めたフィールドの集合。レコードラベル、ディレクトリ、フィールド区分文字、データフィールド群およびレコード区分文字からなる。
スペース	一連の図形符号内で空欄として示される図形キャラクタ。
先頭位置	各データフィールドの第 1 文字目の位置を示すもの。データフィールド群のベースアドレスから何バイト隔たっているかで表現する。
ディレクトリ	書誌データの中の各データフィールドのフィールド識別子、フィールド長、先頭位置を示す記載項目（エントリ）のテーブル。
データのベースアドレス	書誌データの中の各データフィールドの先頭番地を示すための原点。書誌データの冒頭ではなく、データフィールド群の先頭位置。
データフィールド	書誌データを構成する可変長フィールドで、特定の種類のデータを収録する。
データフィールドの長さ	対応するデータフィールドの物理的な範囲であり、具体的にはそのバイト長をいう。フィールド区分文字を含む。
バイト	文字を表現する単位。
フィールド区分文字	各可変長フィールドを区切るため、その末尾に用いる制御文字。「9. データ例示」の例示でのみ「¥」で示す（ほかの例示では省略）。
フィールド識別子	各データフィールドに対応してそのフィールドの内容を同定するための文字列。
レコード区分文字	書誌データを論理的に区切るため、その末尾に用いる制御文字。「9. データ例示」の例示でのみ「@」で示す（ほかの例示では省略）。
レコード長	書誌データの先頭からレコード区分文字までの 1 件の書誌データの長

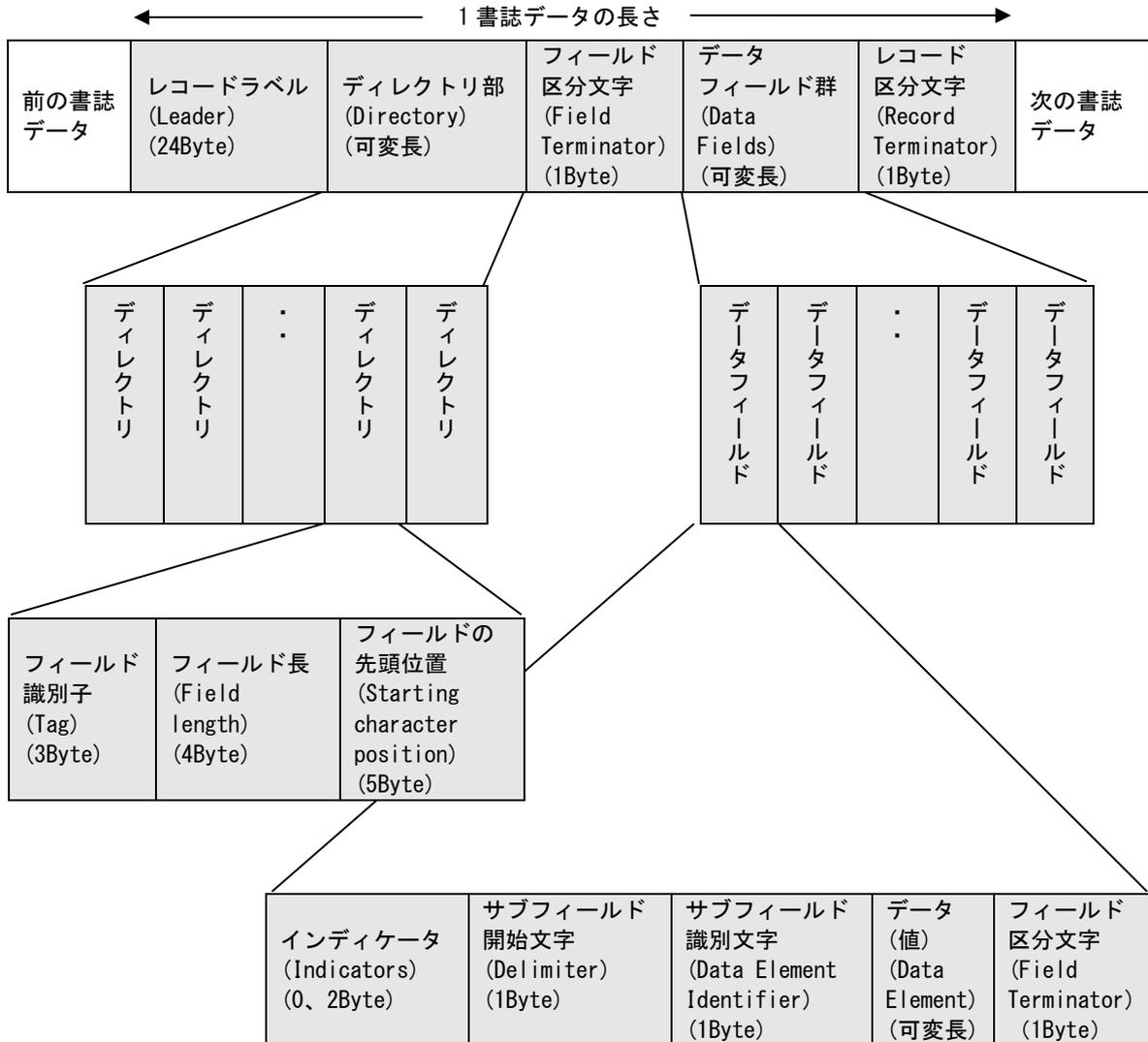
	さ。
レコードラベル	書誌データの冒頭のフィールドで、その書誌データの操作処理上の要件を示すもの。

8. フォーマットおよびデータ要素一覧

(1) フォーマットおよびデータ要素一覧

・データ形式の考え方

各構成要素の詳細は表を参照のこと。



・凡例

【斜体】

2011年12月以降に作成する書誌データでは不使用であることを示す。

No.	構成要素			特記事項等
	名称	表示形式	表示幅 (Byte)	
				文字コード(*1)
レコードラベル				以下 No.1~16 の固定長(24Byte)
1	書誌レコード長	数字	5	レコードラベルの先頭より書誌データの長さ(バイト数)を5桁の10進数で表示する。 5桁に満たない場合0埋め。"00577" レコードラベルの長さ(24Byte)+ディレクトリ部の長さ+フィールド区分文字(1Byte)+データフィールド群の長さ+レコード区分文字の長さ(1Byte)
2	レコード・ステータス	英字	1	"c": 訂正 "d": 削除 "n": 新規
3	レコード種別	英字	1	"a": 文字資料 "c": 楽譜 "e": 地図資料 "g": 映像資料 "i": 録音資料(音楽録音資料を除く) "j": 音楽録音資料 "k": 静止画資料 "m": 電子資料 "t": 文字資料(書写資料)
4	書誌レベル	英字	1	"i": 更新資料 "m": 単行資料 "s": 逐次刊行資料
5	制御種別コード	英字	1	"#"固定
6	文字コード	英字	1	"a"固定
7	インディケータの長さ	数字	1	"2"固定
8	サブフィールド識別子の長さ	数字	1	"2"固定
9	データのベースアドレス	数字	5	データフィールド群の先頭位置を表す。 書誌データの先頭からのバイト数を10進数5桁で

				表示する。 5桁に満たない場合0埋め。"00169"
10	符号化レベル	英数字	1	"#": フルレベル "3": 簡略レベル "4": 主要部のみ "z": 非適用
11	記述目録形式	英字	1	"#": 非ISBD "i": ISBD(区切り記号を含む) "u": 不明
12	複数巻単行資料レコードレベル	英字	1	"#": 適用しない "a": 包括的記述
13	データフィールド長領域の長さ	数字	1	"4"固定
14	先頭文字位置領域の長さ	数字	1	"5"固定
15	適用者指定項目の長さ	数字	1	"0"固定
16	未定義項目	英字	1	"0"固定
ディレクトリ部				可変長。No.1~3 のディレクトリの集合より構成される。(12×nByte) n: データフィールド数
1	フィールド識別子	数字	3	フィールドを識別するための3桁の数字(タグ)。データフィールドに値のないタグは省略。
2	フィールド長	数字	4	データフィールドの長さ(バイト数)を示す4桁の10進数。4桁に満たない場合0埋め。"0009" フィールドの長さには、インディケータ、サブフィールド開始文字、サブフィールド識別文字、およびフィールド区分文字も含む。
3	フィールドの先頭位置	数字	5	当該フィールドの先頭文字の位置をデータフィールド群の先頭(データのベースアドレス)から相対バイト数で示す。5桁の10進数で、5桁に満たない場合0埋め。"00015"
フィールド区分文字				ディレクトリ部の最後に挿入する。
1	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1e(Hex)固定

データフィールド群				固定長／可変長。 ・ディレクトリにて指定された位置、長さのデータフィールドの集合により構成される。 ・前述した「データフィールドの長さ」は、以下の No.1～5 の長さの合計値とフィールド区分文字との和を表す。 ・データのないデータフィールドは省略。 ・サブフィールド識別子を持たないデータは、以下の No.1～3 の項目を省略。 ・データおよびタグについては「(2)タグ一覧」を参照。
1	インディケータ	数字 / 英字	0,2	存在しない場合は省略。
2	サブフィールド開始文字	Binary	1	サブフィールド識別子の最初の文字。1f(Hex)固定
3	サブフィールド識別文字	数字 / 英字	1	サブフィールド識別子の2文字目。サブフィールドを識別するための英小文字1字。
4	データ	数字 / 英字 / 漢字	可変長	データフィールドの値を表示。
5	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1e(Hex)固定
レコード区分文字				各レコードの最後に挿入する。
1	レコード区分文字	Binary	1	レコード区分文字。1d(Hex)固定

(*1)文字コード体系は、以下のとおりとする。

文字コード	符号化方式
UCS (ISO/IEC 10646)	UTF-8

(2) タグ一覧

・凡例

【フィールド】

番号順にフィールドを並べる。

【サブフィールド識別文字／文字位置】

出現順にサブフィールド識別文字・文字位置を並べる。

【必須】

当館で作成する書誌データにおけるフィールド、サブフィールド、文字位置の要求度を示す。フィールド名と同行にある場合は、フィールドの要求度、サブフィールド名または文字位置名と同行にある場合は、フィールドが存在する場合のサブフィールドの要求度をそれぞれ示す。要求度については、米国議会図書館の定める「MARC 21 Format for Bibliographic Data」に基本的に準拠するが、一部、当館の書誌作成ルールにより、度合いが異なることがある。

フィールド、サブフィールド、文字位置が省略不可で、必ず出現する場合は、「M」と記載する。当フォーマットでは、固定長フィールドの任意の文字位置においてコード不使用の値「|」が許容される場合であっても、値の省略は不可であることから、「M」と記載することとする。

<記号の用法>

- M 必須 (Mandatory)
- A あれば必須 (Applicable)
- O 任意 (Optional)

【繰り返し】

フィールド単位、サブフィールド単位の繰り返し可否を示す。フィールド名と同一行にある場合は、フィールド単位の繰り返し、サブフィールド名と同一行にある場合は、サブフィールド単位の繰り返しをそれぞれ示す。繰り返し可否については、米国議会図書館の定める「MARC 21 Format for Bibliographic Data」に基本的に準拠するが、一部、当館の書誌作成ルールにより、繰り返しの制約を設ける。

<記号の用法>

- 繰り返し可
- 空白 繰り返し不可

【繰り返し (対)】

同一フィールド内でサブフィールドが対になって繰り返し可であるかどうかを示す。

<記号の用法>

- 同一記号が記入された隣り合うサブフィールドは、対になって繰り返し可
- 空白 対になって繰り返し不可

【備考】

<記号の用法>

半角スペース

(M) 単行資料

(S) 逐次刊行資料

【サンプル】

サブフィールド単位でサンプルデータを例示する。必ずしもフィールド単位で一連のデータになっていないことを注意されたい。

<記号の用法>

半角スペース（固定長フィールドのみ。可変長フィールドのサンプルでは、スペースは特に記号で示さない）

【斜体】

2011年12月以降または2021年1月以降に作成する書誌データでは不使用であることを示す。

フィールド	フィールド名	第一インデキータ	第二インデキータ	サブフィールド識別文字 ／文字位置	サブフィールド名称 ／文字位置名称	必須	繰り返し	繰り返し(対)	備考	サンプル
001	レコード管理番号	-	-			M			9Byte または 12Byte	012345678
003	レコード管理番号識別子	-	-			M			"JTNDL"固定	JTNDL
005	レコード最終更新年月日	-	-			M			YYYYMMDDHHMMSS.0	20210310134034.0
007	物理的属性コード化情報(文字資料)	-	-			M			2Byte(資料群ごとにByte数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M			"t"固定	t
				01	特定資料種別	M			"a": 普通活字 "b": 大活字 "u": 特定しない "z": その他	b
007	物理的属性コード化情報(地図資料)	-	-			M			8Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M			"a"固定	a
				01	特定資料種別	M			"d": 地図帳 "j": 地図	j
				02	未定義	M			"#"固定	#
				03	色彩	M			" "固定	
				04	材質	M			"a": 紙 "u": 不明	a
				05	複製方法	M			" "固定	
				06	製造・複製の詳細情報	M			" "固定	
07	極性	M			" "固定					
007	物理的属性コード化情報(楽譜)	-	-			M			2Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M			"q"固定	q
				01	特定資料種別	M			"u"固定	u
007	物理的属性コード化情報(録音資料)	-	-			M			14Byte(資料種別ごとにByte数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M			"s"固定	s
				01	特定資料種別	M			"d": 録音ディスク "s": 録音カセット "t": 録音リール "z": その他	d
02	未定義	M			"#"固定	#				

				03	再生速度	M		" "固定	
				04	録音チャンネル数	M		" "固定	
				05	音溝の幅 (アナログ・ディスク)	M		" "固定	
				06	大きさ	M		" "固定	
				07	テープの幅	M		" "固定	
				08	テープの構成	M		" "固定	
				09	記録媒体の種別	M		" "固定	
				10	材料の種別	M		" "固定	
				11	カッティングの種別	M		" "固定	
				12	再生方法の特性	M		" "固定	
				13	音の記録方式	M		" "固定	
007	物理的属性コード化情報 (映像資料)	-	-			M		9Byte (資料種別ごとに Byte 数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M		"v"固定	v
				01	特定資料種別	M		"d" : ビデオディスク "f" : ビデオカセット "z" : その他	d
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03	色彩	M		" "固定	
				04	録画特性	M		"a" : ベータ (1/2 インチ, ビデオカセット) "b" : VHS (1/2 インチ, ビデオカセット) "c" : U マチック (3/4 インチ, ビデオカセット) "g" : レーザーディスク "s" : Blu-ray disc "v" : DVD "z" : その他	s
				05	音声の形態	M		" "固定	
				06	音声用の媒体	M		" "固定	
				07	大きさ	M		" "固定	
				08	録音チャンネル数	M		" "固定	
007	物理的属性コード化情報 (映像資料 (静止画))	-	-			M		9Byte (資料種別ごとに Byte 数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M		"g"固定	g

				01	特定資料種別	M		"c" : フィルムストリップ (カートリッジ) "d" : シートフィルム "o" : フィルムストリップ (ロール) "s" : スライド "t" : トランスペアレンシー "z" : その他	s
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03	色彩	M		" "固定	
				04	ベース (支持体)	M		" "固定	
				05	音声の形態	M		" "固定	
				06	音声用の媒体	M		" "固定	
				07	大きさ	M		" "固定	
				08	副次的材料	M		" "固定	
007	物理的属性コード化情報 (静止画資料)	-	-			M		6Byte (資料種別ごとに Byte 数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M		"k"固定	k
				01	特定資料種別	M		"a" : かるた等 "h" : 写真 "i" : 静止画 "k" : ポスター "l" : 設計図 "p" : 絵葉書 "o" : カード	i
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03	色彩	M		" "固定	
				04	主要な基盤体の種類	M		" "固定	
				05	副次的な基盤体の種類	M		" "固定	
007	物理的属性コード化情報 (電子資料)	-	-			M		14Byte (資料種別ごとに Byte 数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M		"c"固定	c
				01	特定資料種別	M		"b" : IC カード、半導体メモリ "j" : 磁気ディスク "m" : 光磁気ディスク "o" : 光学ディスク "r" : オンライン資料 "z" : その他	j
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03	色彩	M		" "固定	
				04	大きさ	M		"n"固定	n
				05	音声の有無	M		" "固定	
				06-08	画像のビット数	M		" "固定	

				09	ファイル形式	M		" "固定	
				10	品質保証対象	M		"u"固定	u
				11	デジタル化資料 の由来情報	M		"n"固定	n
				12	圧縮レベル	M		" "固定	
				13	再変換レベル	M		" "固定	
007	物理的属性コ ード化情報(点 字資料)	-	-			M		10Byte (資料種別ご とに Byte 数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M		"f"固定	f
				01	特定資料種別	M		"b"固定	b
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03- 04	記述対象属性	M		" "固定	
				05	縮約レベル	M		" "固定	
				06- 08	点字音楽フォー マット	M		" "固定	
				09	物理的特性	M		"n" : 適用しない " ": コード不使用	
007	物理的属性コ ード化情報(マ イクロ資料)	-	-			M		13Byte (資料種別ご とに Byte 数は異なる)	
				00	資料カテゴリー	M		"h"固定	h
				01	特定資料種別	M		"d" : マイクロフィ ルム "e" : マイクロフィ ッシュ "g" : マイクロオペ ーク "z" : その他	d
				02	未定義	M		"#"固定	#
				03	極性	M		" "固定	
				04	大きさ	M		【マイクロフィル ム】 "a" : 8 mm. "d" : 16 mm. "f" : 35 mm. "g" : 70 mm. "h" : 105 mm. 【マイクロフィッ シュ・マイクロオペ ーク等】 "m" : 4x6 in. or 11x15 cm. 【その他】 "z" : その他	a
				05	縮率の範囲	M		" "固定	
				06- 08	縮率	M		" "固定	
				09	色彩	M		" "固定	

				10	フィルム感光乳剤	M		" "固定	
				11	世代	M		" "固定	
				12	フィルム地	M		" "固定	
008	一般コード化情報（共通）	-	-			M		固定長 40Byte	
				00-05	レコード新規作成年月日	M		YYMMDD YYは西暦年の下二桁	091221
				06	刊行種別コード	M		"c"：刊行中（逐次刊行資料、更新資料） "d"：刊行終了（逐次刊行資料、更新資料） "m"：複数の日付（複数巻単行資料で包括的記述を選択した場合） "n"：日付不明 "q"：おおよその日付の範囲（単行資料のうち、単一の日付がある期間内に含まれると推測できる場合） "s"：単一の日付（日付2は(####)となる） "u"：刊行状況不明（逐次刊行資料、更新資料）	c
				07-10	西暦年1	M		西暦年の全体もしくは一部が不明な場合は、"u"を使用する。	1967
				11-14	西暦年2	M		西暦年の全体もしくは一部が不明な場合は、"u"を使用する。 008/06の値が"c"である場合、"9999"を記録する。	198u
				15-17	出版国コード	M		使用コード： MARC Code List for Countries	ja#
				35-37	言語コード	M		使用コード： MARC Code List for Languages	jpn
				38	改変レコードコード	M		"#"：改変なし "x"：文字の欠落あり（レコード中にゲタ記号(=)が存在する場合）	x
				39	目録作成機関	M		"#"固定	#
008	一般コード化情報（図書）	-	-	18-21	挿図等	M		" "固定	

				22	対象利用者コード	M			"#" : 指定なし、または不明 "g" : 一般 "j" : 児童書	g
				23	物理的属性	M			"#" : 指定なし、または不明 "a" : マイクロフィルム "b" : マイクロフィッシュ "c" : マイクロオペーク "d" : 大活字図書 "f" : 点字図書	a
				24-27	資料形式	M			" "固定	
				28	政府刊行物	M			"#" : 民間出版物 "f" : 中央官庁 "l" : 地方自治体 "z" : その他 "/" : コード不使用	f
				29	会議録	M			" "固定	
				30	記念論文集	M			" "固定	
				31	索引	M			" "固定	
				32	未定義	M			" "固定	
				33	文学形式	M			" "固定	
				34	伝記	M			" "固定	
008	一般コード化情報 (地図資料)	-	-	18-21	高低差の表現	M			" "固定	
				22-23	投影図法	M			MARC 21 Bibliographic : 008 - Maps のコード値を参照。 ※以前のデータとの調整上、UNIMARCでのみ規定されている以下のコードも使用 "cd" : 円錐図法 "cf" : ドリール図法 "cg" : 万国図図法 (変更多円錐図法) "ch" : ティソー指示楕円図法 "di" : 多面体図法	bd
				24	未定義	M			"#"固定	#
				25	地図タイプ	M			" "固定	
				26-27	未定義	M			"##"固定	##
				28	政府刊行物	M			"#" : 民間出版物 "f" : 中央官庁 "l" : 地方自治体 "z" : その他 "/" : コード不使用	f

				29	物理的属性	M		"#" : 指定なし、または不明 " ": コード不使用	
				30	未定義	M		"#"固定	#
				31	索引	M		" "固定	
				32	未定義	M		"#"固定	#
				33- 34	フォーマット特性	M		"##" : 指定なし " " : コード不使用	
008	一般コード化情報(楽譜・録音資料)	-	-	18- 19	音楽タイプ	M		" "固定	
				20	音楽形態	M		" "固定	
				21	音楽のパート	M		"u"固定	u
				22	対象利用者コード	M		"#" : 指定なし、または不明 "g" : 一般 "j" : 児童書	g
				23	物理的属性	M		"q" : 録音資料 "r" : 印刷資料 "#" : 指定なし、または不明	#
				24- 29	関連事項	M		" "固定	
				30- 31	本文の文学形式	M		"##" : 楽譜・録音資料 " " : コード不使用	##
				32	未定義	M		"#" : 未定義 " ": コード不使用	#
				33	転調・編曲	M		"u" : 不明 " ": コード不使用	u
				34	未定義	M		" "固定	#
008	一般コード化情報(映像・静止画資料)	-	-	18- 20	再生時間	M		" "固定	
				21	未定義	M		"#"固定	#
				22	対象利用者コード	M		"#" : 指定なし、または不明 "g" : 一般 "j" : 児童書	g
				23- 27	未定義	M		"#####"固定	#####
				28	政府刊行物	M		"#" : 民間出版物 "f" : 中央官庁 "l" : 地方自治体 "z" : その他 "/": コード不使用	f
				29	物理的属性	M		"#" : 指定なし、または不明 "q" : 映像資料 "s" : 電子資料	s

				30-32	未定義	M		"###"固定	###
				33	資料内容種別	M		"i" : 静止画 "l" : 設計図 "o" : カード "s" : スライド "v" : 映像資料 "/" : コード不使用	i
				34	動画技術	M		"u"固定	u
008	一般コード化情報 (電子資料)	-	-	18-21	未定義	M		"####"固定	####
				22	対象利用者コード	M		"#" : 指定なし、または不明 "g" : 一般 "j" : 児童書	g
				23	物理的属性	M		"#"固定	#
				24-25	未定義	M		"##"固定	##
				26	電子的内容	M		"a" : 数値データ "b" : コンピュータ・プログラム "c" : 画像データ "d" : 文書データ "f" : フォント・データ "g" : ゲーム・ソフトウェア "h" : 録音データ "i" : インタラクティブ・マルチメディア "m" : 複合体 "z" : その他	a
				27	未定義	M		"#"固定	#
				28	政府刊行物	M		"#" : 民間出版物 "f" : 中央官庁 "l" : 地方自治体 "z" : その他 "/" : コード不使用	f
				29-34	未定義	M		"#####"固定	#####

008	一般コード化 情報（継続資 料）	-	-	18	刊行頻度	M		"a" : 年刊 "b" : 隔月刊 "c" : 週2回刊 "d" : 日刊 "e" : 隔週刊 "f" : 年2回刊 "g" : 隔年刊 "h" : 3年1回刊 "i" : 週3回刊 "j" : 旬刊 "m" : 月刊 "q" : 季刊 "s" : 月2回刊 "t" : 年3回刊 "u" : 不明 "w" : 週刊 "z" : 隔月刊、その 他 "#" : 不定期刊	a
				19	刊行の規則性	M		"r" : 定期 "u" : 不明 "x" : 完全に不定期 " " : コード不使用	r
				20	未定義	M		"#"固定	#
				21	逐次刊行物種別 コード	M		"n" : 新聞 "p" : 逐次刊行物 " " : コード不使用	n
				22	原資料の物理的 属性	M		"#"固定	#
				23	物理的属性	M		"#" : 指定なし、ま たは不明 "a" : マイクロフィ ルム "b" : マイクロフィ ッシュ "c" : マイクロオベ ーク "d" : 大活字 "f" : 点字 "o" : オンライン資 料 "s" : 電子資料	a
				24	継続刊行レベル の資料形式	M		"#"固定	#
				25- 27	構成レベルの資 料形式	M		"###" : 指定なし、 または不明 "i##" : 総目次・総 索引あり	i##
				28	政府刊行物	M		"#" : 民間出版物 "f" : 中央官庁 " " : 地方自治体 "z" : その他 "/" : コード不使用	f
				29	会議録	M		" "固定	
				30- 32	未定義	M		"###"	###

				33	原綴タイトルの 使用文字種	M			"a" : ローマ字 "b" : 符号付きロー マ字 "c" : キリル文字 "d" : 仮名、日本漢 字 "e" : 中国漢字 "f" : アラビア文字 "g" : ギリシャ文字 "h" : ヘブライ文字 "i" : タイ文字 "j" : デーヴァナー ガリー文字 "k" : ハングル "l" : タミル文字 "z" : その他 " " : コード不使用	f
				34	記入リンクフィ ールドの有無	M			"0" : 先行・後継あ り "1" : 先行・後継な し	0
015	全国書誌番号	#	#			M				
				\$a	全国書誌番号	M				20572013
				\$2	全国書誌作成機 関	M			"jnb"固定	jnb
020	国際標準図書 番号 (ISBN)	#	#			A	○			
				\$a	ISBN	A				978-4-333- 02332-5
				\$z	取り消されたま たは無効な ISBN 等	A	○		チェックデジット等 に誤りのある ISBN、 無効な ISBN、取り消 された ISBN 等に加 え、複数巻単行資料 で分析的記述を選択 した場合のセット ISBNおよびシリーズ の ISBN もここに収 める。	978-4-284- 30175-6 (セット)
				\$c	入手条件・定価	A				1300 円
022	国際標準逐次 刊行物番号 (ISSN)	#	#			A	○		第 1 インディケー タ : 国際レベル "#": ISSN 国際セン ターに送付しない "0": ISSN 国際セン ターに送付する	
				\$a	ISSN	A				1560-1560
				\$l	ISSN-L	A				1234-1231
				\$m	取り消された ISSN-L	A	○			1560-1560
				\$y	誤った ISSN	A	○			0046-2254
				\$z	取り消された ISSN	A	○			0027-3473

				\$2	ISSN センターコード	A			使用コード : List of the Country and ISSN Centre codes	9	
024	その他の標準 識別子	2	#			A	○				
				\$a	標準番号・コード	M				979-0-2600- 0043-8	
				\$z	取り消されたま たは無効な標準 番号等	A	○				
028	出版者番号	0 1 2 5	0			A	○		第1インディケー タ : 出版者番号種 別 "0" : 発売番号 "1" : 原盤番号 "2" : プレート番号 "5" : その他出版者 番号、または番号な し		
				\$a	出版者番号	M				M4X-31427	
				\$b	レーベル名	A				Columbia	
034	数値データ:コ ード化情報(地 図資料)	0 1 3	#			A	○		第1インディケー タ : 縮尺タイプ "0" : 縮尺決定不 能・縮尺非適用・縮 尺不定 "1" : 単一の縮尺 "3" : 縮尺レンジ		
				\$a	縮尺種別	M				"a" : 距離縮尺 "b" : 角度による縮 尺 "z" : その他の縮尺 種別	a
				\$b	水平縮尺	A	○				25000
				\$c	垂直縮尺	A	○				100
				\$d	最西経度	A					W1800000
				\$e	最東経度	A					E1800000
				\$f	最北緯度	A					N0840000
				\$g	最南緯度	A					S0700000
035	他 MARC 番号等	#	#			0	○				
				\$a	他 MARC 番号等	M				MARC 付与機関のコ ードは、MARC 21 MARC Code List for Organizations を使 用し、MARC 番号の 前に丸がっこで囲み 記録する。 "(JP-ItNTS)" : NS- MARC 番号 "(JP-ToKJK)" : NACSIS 書誌 ID	(JP- ItNTS)120415300

				\$z	無効な他 MARC 番号等	A	○	MARC 付与機関のコードは、MARC 21 Organization Code Source Codes を使用し、無効な他 MARC 番号等の前に丸がっこで囲み記録する。 “(JP-ItNTS)” : NS-MARC 番号 “(JP-ToKJK)” : NACSIS 書誌 ID	(JP-ItNTS)120415301
040	レコード作成機関	#	#			M			
				\$a	レコード作成機関	A		“JTNDL”固定	JTNDL
				\$b	目録用言語	A		使用コード : “jpn” : 日本語 “eng” : 英語	jpn
				\$c	レコード変換機関	M		“JTNDL”固定	JTNDL
				\$e	目録規則	0	○	“ncr/2018” : 日本目録規則 2018 年版 “ncr/1987” : 日本目録規則 1987 年版改訂版 “ncr/1977” : 日本目録規則新版予備版 “ncr” : 日本目録規則 1942 年版、1952 年版、1965 年版 “ndlserial” : 国立国会図書館逐次刊行物目録規則	ncr/2018
041	言語コード	01	#			A	○	第 1 インディケータ : 翻訳指示 “0” : 翻訳資料以外 “1” : 翻訳資料 (資料全体または大半が翻訳されたもの)	
				\$a	本文の言語	M	○	使用コード : MARC Code List for Languages 翻訳資料を除き、本文の言語が 1 つの場合には、008/35-37 にのみコードを記録する。	jpn
				\$h	原文の言語	A	○	使用コード : MARC Code List for Languages	fre
044	出版・製作国コード	#	#			A			

				\$a	MARC 国名コード	M	○	使用コード： MARC Code List for Countries 国が 2 以上の場 合に、すべての国名 のコードをここに記 録する。国が 1 つ の場合は、008/15-17 にのみコードを記 録する。	ko
045	内容年	0 1 2	#			0		(M)でのみ使用 第 1 インディケー タ：内容年種別 "0"：単一の日付 "1"：複数の日付 "2"：期間	
				\$b	西暦年（定型）	A	○		d1972
084	分類記号	#	#			A	○		
				\$a	分類記号	M	○		EG281
				\$2	分類法	M		"kktb"："NDLC" "njb/10"："NDC 10 版" "njb/09"："NDC 9 版" "njb/08"："NDC 8 版" "njb/06"："NDC 6 版" "njb/06T"："NDC 6 版 大正期・昭和前 期版" "njb/06M"："NDC 6 版 明治期版" "njb"："NDC"（版 次不明）	kktb
090	請求記号	#	#			M	○		
				\$a	請求記号	M			Y13-15
098	地図各種番号 (地図資料)	#	#			0		(M)でのみ使用	
				\$a	UTM 区画番号	A	○		NK-54-22-1-4
				\$b	全国地方公共団 体コード	A	○		01234
				\$d	各国国内海図番 号	A	○		70
				\$e	国際海図番号	A	○		INT5310
210	略タイトル	1	#			0	○	(S)でのみ使用	
				\$a	略タイトル	M			Intern. med.
				\$b	略タイトルの識 別情報	A			(Tokyo)

222	キー・タイトル	#	0			A	○		(S)でのみ使用 第2インディケー タ： 排列無視文字 数 0： 排列無視文字な し 1～9： 排列無視文 字数		
			1								
			2								
			3								
			4								
			5								
			6								
			7								
			8								
			9								
				\$a	キー・タイトル	M				Internal medicine	
				\$b	キー・タイトル 識別情報	A				(Tokyo)	
245	タイトル、責任 表示	0	0			M					
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読 みを格納するフィー ルド880との対応関 係を記録する。注1 を参照。	880-01	
				\$a	本タイトル	M				山王遺跡	
				\$h	資料種別					[点字資料]	
				\$b	並列タイトル、 タイトル関連情 報等	A				仙塩道路建設に 係わる発掘調査 報告書	
				\$n	巻次または部編 番号	A	○	○	単行資料の巻次、部 編名または逐次刊行 資料の部編番号を収 録する。逐次刊行資 料の場合、当該サブ フィールドは\$aの後 に出現する。	図版資料編	
				\$p	部編等のタイト ル	A	○	○	(S)でのみ使用 逐次刊行資料の場 合、当該サブフィー ルドは上記の\$nの後 または\$aの後に出現 する。	八幡地区	
				\$c	本タイトルに関 係する責任表示	A				多賀城市埋蔵文 化財調査センタ ー 編	
				\$r	2番目以降の個 別のタイトルの 責任表示	0	○				
	\$t	2番目以降の個 別のタイトル等	0	○							

246	並列タイトル、 その他のタイ トル	0 2 3	# 0 1 3 4 7 8			A	○	第1インディケー タ：注記/740へ の記録有無 "0"：注記への記録 あり・740への記録 なし "2"：注記への記録 なし・740への記録 なし "3"：注記への記録 なし・740への記録 あり 第2インディケー タ：タイトルの種 類 "#": \$i にタイトル の種類を記録 "0"：部分タイトル "1"：並列タイトル "3"：参照タイト ル、別タイトル、そ の他のタイトル "4"：表紙のタイト ル "7"：ランニングタ イトル "8"：背表紙のタイ トル	
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読 みを格納するフィー ルド880との対応関 係を記録する。注1 を参照。	880-01
				\$i	説明句	A		(S)でのみ使用	最新号の本タイ トル:
				\$a	並列タイトル、 その他のタイト ル	M			Memoirs of the College of Education
				\$n	並列タイトル、 その他のタイト ル部編番号	A	○	(S)でのみ使用	1
				\$p	並列タイトル、 その他のタイト ル部編名	A	○	(S)でのみ使用	Educational science
				\$b	並列タイトル関 連情報、その他 のタイトル関連 情報	A		(S)でのみ使用	岩手大学人文社 会科学部紀要
				\$g	その他の情報 (その他のタイ トル)	A		(S)でのみ使用	(1巻-10巻)
250	版表示	#	#			A	○		
				\$a	版次	M			改訂版
				\$b	版に関係する責 任表示等	A			森秀麿 改訂編集

255	数値データ(地図資料)	#	#			A	○	(M)でのみ使用		
				\$a	縮尺	M				1:25,000
				\$b	投影法	A				ユニバーサル横メルカトル図法
				\$c	経緯度	A				(E 135° 14' 50" -E 135° 29' 49.9" /N 34° 40' 11.7" -N 34° 30' 11.8")
256	電子的内容(電子資料)	#	#			A				
				\$a	電子的内容	M				アプリケーション・プログラム
260	出版・頒布等に関する事項	# 2 3	#			A	○	(S)でのみフィールド繰り返し可 出版者・頒布者双方を記録する場合はサブフィールドを繰り返す。 第1インディケータ：出版事項の順序 “#”：非適用または最初の出版事項 “2”：中間の出版事項 “3”：最新または最後の出版事項		
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記録する。注1を参照。	880-01
				\$a	出版地・頒布地等	A	○	○		東京
				\$b	出版者・頒布者等	A	○	○		国立国会図書館
				\$c	出版年月・頒布年月等	M	○		インディケータ##の場合必須。	2008.6

264	出版表示等	# 2 3 4	1 2 3 4			A	○	複数の出版者を記録する場合はサブフィールドを繰り返す。 第1インディケータ：表示の順序 "#"：非適用または最初の表示 "2"：中間の表示 "3"：最新または最後の表示 第2インディケータ：実体の機能 "1"：出版 "2"：頒布 "3"：製作 "4"：著作権日付		
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記録する。注1を参照。	880-01
				\$a	出版地等	A	○	○		東京
				\$b	出版者等	A	○	○		国立国会図書館
				\$c	出版日付等	A	○			2021.1
300	キャリアに関する情報：数量、大きさ等	#	#			M	○			
				\$a	数量	M	○			Blu-ray Disc 1枚
				\$b	形態の詳細	A				色刷
				\$c	大きさ	M	○			23 × 31 cm
				\$e	付属資料	A				DVD-Video 1枚 (12 cm)
310	刊行頻度	#	#			A		(S)でのみ使用		
				\$a	刊行頻度	M				月刊
321	刊行頻度の変化	#	#			0	○	(S)でのみ使用		
				\$a	刊行頻度の変化	M				刊行頻度の変更あり
336	表現種別	#	#			M	○			
				\$a	表現種別	M				テキスト
				\$2	情報源	M			"ncrcontent"固定	ncrcontent
337	キャリアに関する情報：機器種別	#	#			M	○			
				\$a	機器種別	M				機器不用
				\$2	情報源	M			"ncrmedia"固定	ncrmedia
338	キャリアに関する情報：キャリア種別	#	#			M	○			
				\$a	キャリア種別	M				冊子
				\$2	情報源	M			"ncrcarrier"固定	ncrcarrier
340	キャリアに関する情報：媒体の特性等	#	#			0	○			

				\$a	基底材	A	○			布
				\$d	制作手段	A	○			青焼き
				\$e	マウント	A	○			木
				\$n	フォント・サイズ	A	○			大活字
				\$o	極性	A	○			ネガ
				\$2	情報源	A			\$a または \$e の用語に対しては「ncrmat」を、\$d の用語に対しては「ncrpm」を、\$n の用語に対しては「ncrfs」を、\$o の用語に対しては「ncrpo」を記録する。 用語が NCR2018 の表によるものでない場合は、記録しない。	ncrmat ncrpm ncrfs ncrpo
344	キャリアに関する情報:録音の特性(非図書資料)	#	#			0	○			
				\$a	録音の方式	A	○			アナログ
				\$b	録音の手段	A	○			光学
				\$c	再生速度	A	○			33 1/3 rpm
				\$f	テープのトラック構成	A	○			4トラック
				\$g	再生チャンネル	A	○			ステレオ
				\$2	情報源	A			\$a の用語に対しては「ncrtr」を、\$b の用語に対しては「ncrrm」を、\$g の用語に対しては「ncrcpc」を記録する。 用語が NCR2018 の表によるものでない場合は、記録しない。	ncrtr ncrrm ncrcpc
346	キャリアに関する情報:ビデオの特性(映像資料)	#	#			0	○			
				\$a	ビデオ・フォーマット	A	○			VHS
				\$b	テレビ放送の標準方式	A	○			PAL
				\$2	情報源	A			\$a の用語に対しては「ncrvf」を、\$b の用語に対しては「ncrbs」を記録する。 用語が NCR2018 の表によるものでない場合は、記録しない。	ncrvf ncrbs

347	キャリアに関する情報:デジタル・ファイルの特性(非図書資料)	#	#			0	○			
				\$a	ファイル種別	A	○			テキスト・ファイル
				\$b	デジタル・コンテンツ・フォーマット	A	○			JPEG
				\$2	情報源	A			「ncrft」を記録する。 用語が NCR2018 の表によるものでない場合は記録しない。	ncrft
362	順序表示(巻次・年月次)／休・廃刊注記	0 1	#			A	○		(S)でのみ使用 第1インディケータ: 順序表示、 休・廃刊注記 "0": 順序表示(巻次・年月次) "1": 休・廃刊注記	
				\$a	順序表示(巻次・年月次)／休・廃刊注記	M				13巻1号 = 122号 (1984年1月) -
490	シリーズ表示	0	#			A	○			
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-01
				\$a	シリーズのタイトル等	M	○	○		B. B. mook
				\$x	シリーズの ISSN 等	A	○	○		1400-1144
				\$v	シリーズ内番号等	A	○	○		547
500	一般注記	#	#			0	○			
				\$a	一般注記	M				複製および翻刻
504	書誌注記	#	#			0	○			
				\$a	書誌注記	M				文献あり
505	内容細目等	0	# 0			0	○		(M)でのみ使用 第2インディケータ: 内容のレベル "#": 一括内容細目 "0": 分割内容細目	
				\$a	内容細目等	A			内容細目を一括して記述する場合は、ここに記録する。	リール 1 第一法令類纂 明治元年-明治10年 凡例・総目、目次(巻之1-巻之44)
				\$t	タイトル	A	○	○	内容細目の各著作のタイトルと責任表示を分けて記述する場合、タイトルをここに記録する。	演芸風聞録

				\$r	責任表示	A	○	○	内容細目の各著作のタイトルと責任表示を分けて記述する場合、責任表示をここに記録する。	水谷乙次郎 著
				\$g	その他の情報	A	○	○		(自筆稿本)
510	雑誌記事索引注記	2	#			0			(S)でのみ使用	
				\$a	索引サービスの名称	M			"国立国会図書館雑誌記事索引"固定	国立国会図書館雑誌記事索引
				\$b	記事採録期間	A				(8):2013.3-
511	出演者注記	0	#			A	○			
				\$a	出演者注記	M				演奏:ディルク・プロッセ指揮,大阪市音楽団
516	電子的内容に関する注記(電子資料)	#	#			0	○			
				\$a	電子的内容に関する注記	M				プログラムファイル
518	日時および場所に関する注記(録音資料・映像資料)	#	#			0	○			
				\$a	日時および場所に関する注記	M				2004年アメリカ作品
520	要約等	18	#			0	○		(M)でのみ使用 第1インディケータ:固定表示文字列 "1":レビュー "8":固定表示文字列なし	
				\$a	要約等	M				ロールプレイング・ゲーム
521	対象利用者	8	#			0	○			
				\$a	対象利用者	M	○			成年コミック
530	別の媒体に関する注記	#	#			0	○			
				\$a	別の媒体に関する注記	M			一部の資料群にのみ出現する。和図書等の大半の資料群では、フィールド500の一般注記に記録する。	同一タイトルのBlu-ray版あり
534	原資料等に関する注記	#	#			A	○			
				\$t	原資料等のタイトル	A				「女のきもち男のころ」
				\$c	原資料等の出版表示等	A				(致知出版社1999)
				\$p	説明句	0				の増訂

				\$l	原資料等の所蔵情報	0				東北大学附属図書館
				\$n	原資料等に関する注記	0	○			駒沢大学所蔵本を国立国会図書館で電子複写したもの
536	科学研究費助成事業課題番号(科研費課題番号)	#	#			0	○			
				\$a	補助金情報	A			"科研費課題番号"固定	科研費課題番号
				\$f	科研費課題番号	A	○			08304046
538	システム要件に関する注記(非図書資料)	#	#			0	○			
				\$a	システム要件に関する注記	M				PlayStation 2
546	言語注記	#	#			0	○			
				\$a	言語注記	A				ポルトガル語併記
				\$b	表記法	0	○			墨字併記
550	出版表示等に関する注記	#	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$a	出版表示等に関する注記	M				発行所: 漢方医学社
555	総目次・総索引注記	#	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$a	総目次・総索引注記	A				1号から30号までの総目次: 35号収載
561	所有・管理履歴	#	#			0	○		第1インディケータ: 個人情報の有無 "#": 不明 "1": 個人情報なし	
				\$a	所有・管理履歴	M				印記: 讀杜艸堂
563	装丁に関する注記	#	#			0	○		(M)でのみ使用	
				\$a	装丁に関する注記	M				和装
580	リンクに関する注記	#	#			A	○		(S)でのみ使用	
				\$a	リンクに関する注記	M				継続後: 文化財事業報告
586	賞(映像資料)	8	#			0	○			
				\$a		M				ヴェネチア国際映画祭金獅子賞, 1988年
588	識別の基盤に関する注記	#	#			0	○			

				\$a	識別の基盤に関する注記	M				識別の基盤は 15 巻 3 号による
600	典拠形アクセス・ポイント (件名):個人、 家族	1 3	7			A	○		(M)でのみ使用 第1インディケー タ:実体種別 "1":個人 "3":家族	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読 みを格納するフィー ルド 880 との対応関 係を記録する。注 1 を参照。	880-03
				\$a	優先名称	M				歌川, 豊国
				\$b	世系	A				4 世
				\$q	展開形	A			全体を丸がっこで囲 んで記録する。	
				\$d	生年、没年等	A			家族名典拠の場合 は、全体を丸がっこ で囲んで記録する。	1823-1880
				\$c	識別要素	A			家族名典拠の場合 は、全体を丸がっこ で囲んで記録する。	
				\$2	情報源	M			"nd lsh"固定	nd lsh
				\$0	典拠レコード管 理番号	M				00272462
610	典拠形アクセス・ポイント (件名):団体	2	7			A	○		(M)でのみ使用	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読 みを格納するフィー ルド 880 との対応関 係を記録する。注 1 を参照。	880-03
				\$a	優先名称	M				欧州連合
				\$x	主題細目	A	○			外国関係
				\$z	地名細目	A	○			日本
				\$y	時代細目	A	○			
				\$v	形式細目	A	○			
				\$2	情報源	M			"nd lsh"固定	nd lsh
				\$0	典拠レコード管 理番号	M				001316414
630	典拠形アクセス・ポイント: 統一タイトル 件名	0	7			A	○		(M)でのみ使用	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読 みを格納するフィー ルド 880 との対応関 係を記録する。注 1 を参照。	880-03
				\$a	優先タイトル	M				てにをは紐鏡
				\$x	主題細目	A	○			評釈
				\$z	地名細目	A	○			
				\$y	時代細目	A	○			

				\$v	形式細目	A	○		
				\$2	情報源	M			"ndlsh"固定 ndlsh
				\$0	典拠レコード管理番号	M			00627019
650	典拠形アクセス・ポイント：普通件名	#	7			A	○		(M)でのみ使用
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記録する。注1を参照。 880-03
				\$a	普通件名	M			自然災害
				\$x	主題細目	A	○		当該サブフィールドは\$zの後に出現することもある。 歴史
				\$z	地名細目	A	○		日本
				\$y	時代細目	A	○		中世
				\$v	形式細目	A	○		年表
				\$2	情報源	M			"ndlsh"固定 ndlsh
				\$0	典拠レコード管理番号	M			01150660
651	典拠形アクセス・ポイント（件名）：場所	#	7			A	○		(M)でのみ使用
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記録する。注1を参照。 880-03
				\$a	優先名称	M			日本
				\$x	主題細目	A	○		外国関係
				\$z	地名細目	A	○		オランダ
				\$y	時代細目	A	○		江戸初期
				\$v	形式細目	A	○		史料
				\$2	情報源	M			"ndlsh"固定 ndlsh
				\$0	典拠レコード管理番号	M			01118768
653	非統制形アクセス・ポイント（件名）	#	#			A	○		(M)でのみ使用
				\$a	非統制形アクセス・ポイント（件名）	M	○		児童図書
655	典拠形アクセス・ポイント：ジャンル・形式用語	#	7			0	○		
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド880との対応関係を記録する。注1を参照。 880-03
				\$a	ジャンル・形式用語	M			漫画
				\$2	情報源	M			"ndlgft"固定 ndlgft

				\$0	典拠レコード管理番号	M				001347325
700	典拠形アクセス・ポイント (創作者等) : 個人、家族	1 3	# 2			A	○		第1インディケータ : 実体種別 "1" : 個人 "3" : 家族 第2インディケータ : 記述のタイプ "#": 情報なし(本タイトルに関わる創作者等の場合) "2" : 資料の部分 (内容細目に関わる創作者等の場合)	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-04
				\$a	優先名称	M				市川, 團十郎
				\$b	世系	A				12 世
				\$q	展開形	A			全体を丸がっこで囲んで記録する。	
				\$d	生年、没年等	A			家族名典拠の場合は、全体を丸がっこで囲んで記録する。	1946-2013
				\$c	識別要素	A			家族名典拠の場合は、全体を丸がっこで囲んで記録する。	
				\$e	関連指示子	0				著者
				\$0	典拠レコード管理番号	M				00623712
710	典拠形アクセス・ポイント (創作者等) : 団体	2	# 2			A	○		第2インディケータ : 記述のタイプ "#": 情報なし(本タイトルに関わる創作者等の場合) "2" : 資料の部分 (内容細目に関わる創作者等の場合)	
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-04
				\$a	優先名称	M				国立国会図書館調査及び立法考査局
				\$e	関連指示子	0	○			責任刊行者
				\$0	典拠レコード管理番号	0				00288354
720	非統制形アクセス・ポイント (創作者等)	# 2	#			A	○		第1インディケータ : 名称の種類 "#": 特定しない "2" : その他	

				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-04
				\$a	名称	M				日本認知言語学会
730	典拠形アクセス・ポイント：著作	0	#			A	○			
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-04
				\$a	優先タイトル	M				源氏物語
				\$n	部編等	A	○			
				\$k	形式	0				(小説)
				\$0	典拠レコード管理番号	A				00633493
740	非統制形アクセス・ポイント (タイトル)	0	#			A	○			
				\$6	読みの対応関係	A			当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-04
				\$a	タイトル	M				長弁私案抄
760	上位のシリーズ	0	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				AEI
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				000000157557
				\$x	上位のシリーズの ISSN	A				1342-422X
762	サブシリーズ	0	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				日本癌学会総会記事
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				000000018279
				\$x	サブシリーズの ISSN	A				0546-0476
765	原言語版	0	#			A	○		(S)でのみ使用	
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				World development report
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				000000146049
				\$z	原言語版の ISBN	A				
				\$x	原言語版の ISSN	A				0163-5085
767	他言語版	0	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				Asian breeze

				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				00000152644
				\$z	他言語版の ISBN	0				
				\$x	他言語版の ISSN	A				0918-8274
770	付属	0	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				経済分析. 付録 / 経済企画庁経済研究所 編
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				000000006487
				\$z	付属の ISBN	0				
				\$x	付属の ISSN	A				
772	本体	0	#			A	○		(S)でのみ使用	
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				経済分析
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				000000004621
				\$z	付属の ISBN	0				
				\$x	本体の ISSN	A				
775	異版	0	#			A	○			
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				国立国会図書館月報
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				000000008550
				\$z	異版の ISBN	0				
				\$x	異版の ISSN	A				0027-9153
776	他媒体版	0	#			0	○		(S)でのみ使用	
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				技術開発年次報告書
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				023930024
				\$z	他媒体版の ISBN	0				
				\$x	他媒体版の ISSN	A				2187-347X
780	先行	0	0 1 4 5 6 7			A	○		(S)でのみ使用 第2インディケータ : 関係性種別 "0" : 継続前 "1" : 分割前 "4" : 合併前 "5" : 吸収前 "6" : 一部吸収前 "7" : 派生前	
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				環境白書. 概要版 / 静岡県くらし・環境部環境局環境政策課 編
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				024119690
				\$z	リンク先レコードの ISBN	A				
				\$x	リンク先レコードの ISSN	A				0286-6404

				\$g	改題発生巻次・年月次	A	○			17 巻 5 号-
785	後続	0	0 1 4 5 6 7			A	○	(S)でのみ使用 第2インディケータ：関係性種別 "0"：継続後 "1"：派生後 "4"：吸収後 "5"：一部吸収後 "6"：分割後 "7"：合併後		
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				しずおかの環境概要版 / 静岡県くらし・環境部環境局環境政策課 編
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				030129174
				\$z	リンク先レコードの ISBN	0				
				\$x	リンク先レコードの ISSN	A				1341-4925
				\$g	改題発生巻次・年月次	A	○			61 号-
787	その他の関連	0	#			0	○			
				\$i	関連の種別に関する情報	0	○			巻次共有
				\$t	リンク先レコードのタイトル	A				算数授業研究 / 筑波大学附属小学校算数研究部企画・編集
				\$w	リンク先レコードの管理番号	A				00000101102
				\$z	リンク先レコードの ISBN	0				
				\$x	リンク先レコードの ISSN	A				1342-7474
800	典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：個人、家族	1	#			A	○	第1インディケータ：実体種別 "1"：個人 "3"：家族		
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。		880-01
				\$a	優先名称	M				市川、團十郎
				\$b	世系	A				12 世
				\$q	展開形	A		全体を丸がっこで囲んで記録する。		
				\$d	生年、没年等	A		家族名典拠の場合は、全体を丸がっこで囲んで記録する。		1946-2013
				\$c	識別要素	A		家族名典拠の場合は、全体を丸がっこで囲んで記録する。		

				\$e	関連指示子	0			著者
				\$0	典拠レコード管理番号	M			00346403
810	典拠形アクセス・ポイント (シリーズの 創作者等): 団体	2	#			A	○		
				\$6	読みの対応関係	A		当該フィールドの読みを格納するフィールド 880 との対応関係を記録する。注 1 を参照。	880-01
				\$a	優先名称	M			国際日本文化研究センター
				\$e	関連指示子	0			著者
				\$0	典拠レコード管理番号	M			00288541
856	オンライン資料へのアクセス (地図資料)	4	1 2			0	○	第 2 インディケータ: 関連 "1": 異版 "2": 関連資料	
				\$u	URI (Uniform Resource Identifier : 統一資源識別子)	A	○		https://darc.gsj.jp/archives/detail?cls=geoliss&pkey=300031599
				\$z	アクセスに関する注記	0	○		産総研地質調査総合センター 地質文献データベース (GEOLIS)
				\$3	資料の特定	A			索引図
866	所蔵情報	#	0			0	○	(S) でのみ使用	
				\$a	所蔵順序表示	0			1 回 (2004 年 7 月 1 日)-20 回 (2008 年 7 月 1 日)
				\$z	欠号情報/所蔵に関する注記	0	○		欠: 18 回
880	代替文字種表現 (片仮名読み形・ローマ字読み形)	X	X			A	○	第 1 インディケータ・第 2 インディケータ 対応するフィールドのインディケータと同値とする。読みの表現については、注 1 を参照。	
				\$6	読みの対応関係	M		対応するフィールドを指示する。	245-01/\$1
				X	対応するフィールドと同じ			対応するフィールドのサブフィールドと同じ。 (フィールド 700/710/800/810 の \$e を除く)	

注1) 読みの表現方法について

読みの表現方法は、Appendix D: Multiscript Records の Model A に準拠する。

正規フィールドに対応する片仮名読み形・ローマ字読み形をフィールド 880 (代替文字種表現 (片仮名読み形・ローマ字読み形)) に保持する。正規フィールドと読み形フィールドの対応関係は、サブフィールド\$6 に下記のとおり値を格納することにより表現する。

フィールド名	\$6 の値
正規フィールド	読みフィールド番号-オカレンス番号
読みフィールド(片仮名読み形またはハングル読み形)	正規フィールド番号-オカレンス番号/\$1
読みフィールド(ローマ字読み形)	正規フィールド番号-オカレンス番号/(B

※オカレンス番号とは、読みを持つ正規フィールドの出現順を示す 2 桁の数字である。

※ “/” は Appendix A で規定されている区切り記号。“\$1” は [Script identification code](#) で “Chinese, Japanese, Korean” を意味するコード値、“(B” は Script identification code で “Latin” を意味するコード値。

例 1) 245 00 \$6 880-01 \$a ばらいろの童話集□/ \$c アンドリュー・ラング□編著□;□
川端康成,□野上彰□編訳
700 1# \$a Lang,□Andrew, \$d 1844-1912 \$0 000446814
700 1# \$6 880-04 \$a 川端,□康成, \$d 1899-1972 \$0 00028570
700 1# \$6 880-05 \$a 野上,□彰, \$d 1909-1967 \$0 00056080
880 00 \$6 245-01/\$1 \$a 바라이로△노△도우washu□/
880 00 \$6 245-01/(B \$a Barairo△no△dowashu□/
880 1# \$6 700-04/\$1 \$a カワバタ,□ヤスナリ, \$d 1899-1972 \$0 00028570
880 1# \$6 700-04/(B \$a Kawabata,□Yasunari, \$d 1899-1972 \$0 00028570
880 1# \$6 700-05/\$1 \$a ノガミ,□アキラ, \$d 1909-1967 \$0 00056080
880 1# \$6 700-05/(B \$a Nogami,□Akira, \$d 1909-1967 \$0 00056080

例 2) 245 00 \$6 880-01 \$a 大韓民國의△性格과△그△世界的意義
880 00 \$6 245-01/\$1 \$a 대한△민국의△성격과△그△세계적△의의

9. データ例示

<凡例>

- ・ JAPAN/MARC MARC21 フォーマットの書誌レコード例を下表に示す。
- ・ 実際の JAPAN/MARC MARC21 フォーマットでは、データフィールドにはインディケータ（表中では「ind.」という）、サブフィールドコード、および値が格納されているが、便宜上フィールドコードとともに示す。
- ・ レコードラベル、インディケータ、および固定長フィールド中の半角スペースは「#」で示す。可変長フィールド中の半角スペースは特に記号で示さない。
- ・ サブフィールド区分文字は「\$」、フィールド区分文字は「¥」、レコード区分文字は「@」で示す。ただし「\$1」はサブフィールド中の値である。

<その1> 図書

レコードラベル	02272cam#a2200457zi#4500	
ディレクトリ	0010010000000300060001000500170001600700030003300800410003601500180007702 00033000950400032001280410018001600840016001780840018001940900014002122450 21100226264011600437300001800553336002900571337002700600338002300627490005 20065050000730070250000600077554600260083574000430086173000660090470000580 09707000045010288800100010738800062011738800144012358800093013798800070014 72880005101542880005201593880004401645880007101689880005401760 ¥	
データフィールド		
フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		031205673 ¥
003		JTNDL ¥
005		20210416142847.0 ¥
007		ta ¥
008		210119s2014####ja#####g#####jpn## ¥
015	##	\$a 23499565 \$2 jnb ¥
020	##	\$a 978-4-901780-62-9 : \$c 2700 円 ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/2018 ¥
041	1#	\$a jpn \$a ita \$h ita ¥
084	##	\$a KD338 \$2 kktb ¥
084	##	\$a 766.1 \$2 njb/10 ¥
090	##	\$a KD338-M29 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a 罰せられた放蕩者、あるいはドン・ジョヴァンニ / \$c W.A. モーツァルト 作曲 ; ロレンツォ・ダ・ポンテ 台本 ; 河原廣之 日本語・編集・校閲・注釈 ¥

264	#1	\$6 880-02 \$a [箕面] : \$b ユニバーサルアートミュージック ; \$a [箕面] : \$b おペラ読本出版, \$c 2014.3 ¥
300	##	\$a 54 p ; \$c 30 cm ¥
336	##	\$a テキスト \$2 ncrcontent ¥
337	##	\$a 機器不用 \$2 ncrmedia ¥
338	##	\$a 冊子 \$2 nrcarrier ¥
490	0#	\$6 880-03 \$a おペラ読本対訳シリーズ ; \$v 14 ¥
500	##	\$a 初演: ノスティツ伯国立劇場 (プラハ) 1787 年 10 月 29 日 ¥
500	##	\$a 原タイトル: Il dissoluto punito ossia Don Giovanni ¥
546	##	\$a イタリア語併記 ¥
740	0#	\$a Il dissoluto punito ossia Don Giovanni ¥
730	0#	\$6 880-04 \$a ドン・ジョバンニ (リブレット) \$0 031320903 ¥
700	1#	\$a Da Ponte, Lorenzo, \$d 1749-1838 \$e 脚本作者 \$0 00437103 ¥
700	1#	\$6 880-05 \$a 河原, 広之 \$e 訳者 \$0 00142906 ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a バッセラレタ ホウトウシャ、アルイワ ドン・ジョヴァンニ ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Basserareta hotosha、aruiwa don・jovanni ¥
880	#1	\$6 264-02/\$1 \$a [ミノオ] : \$b ユニバーサル アート ミュージック ; \$a [ミノオ] : \$b オペラ ドクホン シュツパン, \$c 2014.3 ¥
880	#1	\$6 264-02/(B \$a [Mino] : \$b Yunibasaru ato myujikku ; \$a [Mino] : \$b Opera dokuhon shuppan, \$c 2014.3 ¥
880	0#	\$6 490-03/\$1 \$a オペラ ドクホン タイヤク シリーズ ; \$v 14 ¥
880	0#	\$6 490-03/(B \$a Opera dokuhon taiyaku shirizu ; \$v 14 ¥
880	1#	\$6 700-05/\$1 \$a カワハラ, ヒロユキ \$0 00142906 ¥
880	1#	\$6 700-05/(B \$a Kawahara, Hiroyuki \$0 00142906 ¥
880	0#	\$6 730-04/\$1 \$a ドン・ジョバンニ (リブレット) \$0 031320903 ¥
880	0#	\$6 730-04/(B \$a Don・jobanni (Riburetto) \$0 031320903 ¥ @

<その2>電子資料

レコードラベル	01363nmm#a2200325zi#4500
ディレクトリ	00100100000000300060001000500170001600700150003300800410004801500180008904 00032001070840016001390900016001552450092001712640068002633000025003313360 02900356337003300385338005000418347003900468347001400507538005300521700004 50057488001100061988000800072988000780080988000590088788000520094688000390 0998 ¥
データフィールド	

フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		030802817 ¥
003		JTNDL ¥
005		20210121172040.0 ¥
007		co# n un ¥
008		210104s2020####ja#####g###d#####jpn## ¥
015	##	\$a 23474547 \$2 jnb ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/2018 ¥
084	##	\$a YH233 \$2 kktb ¥
090	##	\$a YH233-M2441 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a 絵で見る鉄で作られた物. \$n 第3巻 (生活用品2) / \$c 加藤忠一 著 ¥
264	#1	\$6 880-02 \$a [相模原] : \$b ギャラリーパスタタイム, \$c 2020.12 ¥
300	##	\$a CD-ROM 1枚 ; \$c 12 cm ¥
336	##	\$a テキスト \$2 ncrcontent ¥
337	##	\$a コンピュータ \$2 ncrmedia ¥
338	##	\$a コンピュータ・ディスク \$2 ncrcarrier ¥
347	##	\$a テキスト・ファイル \$2 ncrft ¥
347	##	\$b JPEG \$b SWF ¥
538	##	\$a Adobe Flash Player のインストールが必要 ¥
700	1#	\$6 880-03 \$a 加藤, 忠一 \$e 著者 \$0 01099605 ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a エ デ ミル テツ デ ツクラレタ モノ. \$n ダイ3カン (セイカツ ヨウヒン2) ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a E de miru tetsu de tsukurareta mono. \$n Dai3kan (Seikatsu yohin 2) ¥
880	#1	\$6 264-02/\$1 \$a [サガミハラ] : \$b ギャラリー パスタタイム, \$c 2020.12 ¥
880	#1	\$6 264-02/(B \$a [Sagamihara] : \$b Gyarari pasutaimu, \$c 2020.12 ¥
880	1#	\$6 700-03/\$1 \$a カトウ, チュウイチ \$0 01099605 ¥
880	1#	\$6 700-03/(B \$a Kato, Chuichi \$0 01099605 ¥@

<その3>地図資料

レコードラベル	01659nem#a2200433zi#4500
ディレクトリ	00100100000000300060001000500170001600700090003300800410004201500180008303 40053001010400032001540840016001860840019002020900021002210980017002422450 03100259255013100290264005200421300004100473336002300514337002700537338002 60056449000540059050000430064450000250068765100470071271000550075988000310

	08148800025008458800038008708800030009088800053009388800039009918800059010 30880004801089880004801137880004001185 ¥
--	--

データフィールド

フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		032843638 ¥
003		JTNDL ¥
005		20230610143522.0 ¥
007		aj# a ¥
008		230609s2023####ja# bh# ###f # jpn## ¥
015	##	\$a 23843783 \$2 jnb ¥
034	1#	\$a a \$b 25000\$d E1412900 \$e E1413825 \$f N0424020 \$g N0423440 ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/2018 ¥
084	##	\$a YG1-Z \$2 kktb ¥
084	##	\$a 291.17 \$2 njb/10 ¥
090	##	\$a YG1-Z-2.5-21-5-c ¥
098	##	\$a NK-54-15-5-3 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a 苫小牧. \$n [2023] ¥
255	##	\$a 1:25,000 ; \$b ユニバーサル横メルカトル図法\$c (E 141° 29' 0" -E 141° 38' 25" /N 42° 40' 20" -N 42° 34' 40") ¥
264	#1	\$6 880-02 \$a [つくば] : \$b 国土地理院, \$c 2023.6 ¥
300	##	\$a 地図 1 枚 : \$b 色刷 ; \$c 46 × 58 cm ¥
336	##	\$a 地図 \$2 ncrcontent ¥
337	##	\$a 機器不用 \$2 ncrmedia ¥
338	##	\$a シート \$2 nrcarrier ¥
490	0#	\$6 880-03 \$a 2 万 5 千分 1 地形図 ; \$v 苫小牧 5 号-3 ¥
500	##	\$a 平成 25 年 2 万 5 千分 1 地形図図式 ¥
500	##	\$a 令和 5 年 2 月調製 ¥
651	#7	\$6 880-04 \$a 北海道 \$x 地図 \$0 00646670 \$2 ndlsh ¥
710	2#	\$6 880-05 \$a 国土地理院 \$e 地図製作者 \$0 00263543 ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a トマコマイ ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Tomakomai ¥
880	#1	\$6 264-02/\$1 \$b コクド チリイン ¥
880	#1	\$6 264-02/(B \$b Kokudo chirin ¥
880	0#	\$6 490-03/\$1 \$a 2 マン 5 センブンノ 1 チケイズ ¥

880	0#	\$6 490-03/(B \$a 2man5senbunno1 chikeizu ¥
880	#7	\$6 651-04/\$1 \$a ホッカイドウ \$x チズ \$0 00646670 \$2 ndlsh ¥
880	#7	\$6 651-04/(B \$a Hokkaido \$x Chizu \$0 00646670 \$2 ndlsh ¥
880	2#	\$6 710-05/\$1 \$a コクド チリイン \$0 00263543 ¥
880	2#	\$6 710-05/(B \$a Kokudo Chiriin \$0 00263543 ¥@

<その4> 楽譜・録音資料

レコードラベル	01867njm#a2200421zi#4500
ディレクトリ	00100100000000300060001000500170001600700150003300800410004801500180008902 00012001070280031001190400032001500840016001820900017001982450304002152640 05200519300002100571336002300592337003000615338004700645344002400692344001 80071634400250073434700420075934700130080149000390081450000540085350000290 09075180091009365180026010275050068010537000062011218800089011838800055012 72880006401327880005401391 ¥

データフィールド

フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		030634238 ¥
003		JTNDL ¥
005		20210121135416.0 ¥
007		sd# ¥
008		210105s2020###ja# ugq und## ¥
015	##	\$a 23474213 \$2 jnb ¥
020	##	\$c 1600 円 ¥
028	00	\$a SICC-40015 \$b SONY CLASSICAL ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/2018 ¥
084	##	\$a YMC11 \$2 kktb ¥
090	##	\$a YMC11-M27253 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a 交響曲第 5 番 = \$b Symphony no. 5 / \$c チャイコフスキー ; クラウディオ・アバド 指揮 ; ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 [演奏]. \$t 大序曲「1812 年」 / \$r チャイコフスキー ; クラウディオ・アバド 指揮 ; シカゴ交響楽団 [演奏] ¥
264	#1	\$6 880-02 \$a [東京] : \$b Sony Music Labels, \$c 2020.11 ¥
300	##	\$a CD 1 枚 ; \$c 12 cm ¥
336	##	\$a 演奏 \$2 ncrcontent ¥
337	##	\$a オーディオ \$2 ncrmedia ¥

338	##	\$a オーディオ・ディスク \$2 nrcrcarrier ¥
344	##	\$a デジタル \$2 ncrtr ¥
344	##	\$b 光学 \$2 ncrmm ¥
344	##	\$g ステレオ \$2 nrcrpsc ¥
347	##	\$a オーディオ・ファイル \$2 ncrft ¥
347	##	\$b CD audio ¥
490	0#	\$6 880-03 \$a Best classics 100 極 ; \$v 15 ¥
500	##	\$a 第 2 曲の演奏者の情報源は容器による ¥
500	##	\$a 所要時間: 60 分 32 秒 ¥
518	##	\$a 収録: 1994 年 2 月 Philharmonie, Berlin, Germany, 1990 年 2 月 Orchestra Hall, Chicago ¥
518	##	\$a 一部ライブ収録 ¥
505	0#	\$a (1)交響曲第 5 番ホ短調 op.64(2)大序曲「1812 年」op.49 ¥
700	1#	\$a Tchaikovsky, Peter Ilich, \$d 1840-1893 \$e 作曲者 \$0 00435632 ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a コウキョウキョク ダイ 5 パン. \$t ダイジヨキョク 1812 ネン ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Kokyokyoku dai5ban. \$t Daijokyoku 1812nen ¥
880	#1	\$6 264-02/\$1 \$a [トウキョウ] : \$b Sony Music Labels, \$c 2020.11 ¥
880	#1	\$6 264-02/(B \$a [Tokyo] : \$b Sony Music Labels, \$c 2020.11 ¥@

<その 5 >映像資料・静止画資料

レコードラベル	02112ngm#a2200481zi#4500	
ディレクトリ	00100100000000300060001000500170001600700100003300800410004301500180008402 80019001020400032001210840016001530900016001692450238001852640086004233000 04100509336003200550337002400582338003800606344002400644344001800668344002 80068634700360071434700230075050000280077351101920080151800450099353800170 10385380025010555380054010805380065011345380008011995380025012075380033012 32538006501265505003001330505002101360880004501381880003501426880010101461 880006801562 ¥	
データフィールド		
フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		030672697 ¥
003		JTNDL ¥

005		20210121141113.0 ¥
007		vd# s ¥
008		210112s2020###ja# g#####q###vuund## ¥
015	##	\$a 23474229 \$2 jnb ¥
028	00	\$a GNXF-2605 \$b --- ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/2018 ¥
084	##	\$a YL331 \$2 kktb ¥
090	##	\$a YL331-M4182 ¥
245	00	\$6 880-01 \$a ドクター・ドリトル = \$b Dolittle / \$c ダン・グレゴール, ダグ・マンド, トーマス・シェパード 脚本 ; スティーヴン・ギャガン 監督・脚本 ; ロバート・ダウニーJr. [ほか] cast ¥
264	#1	\$6 880-02 \$a [東京] : \$b NBC ユニバーサル・エンターテイメント, \$c 2020.11 ¥
300	##	\$a Blu-ray Disc 1 枚, DVD 1 枚 ; \$c 12 cm ¥
336	##	\$a 二次元動画 \$2 ncrcontent ¥
337	##	\$a ビデオ \$2 ncrmedia ¥
338	##	\$a ビデオディスク \$2 ncrcarrier ¥
344	##	\$a デジタル \$2 ncrtr ¥
344	##	\$b 光学 \$2 ncrmm ¥
344	##	\$g サラウンド \$2 ncrpc ¥
347	##	\$a ビデオ・ファイル \$2 ncrft ¥
347	##	\$b Blu-ray \$b DVD-video ¥
500	##	\$a 所要時間: 約 101 分 ¥
511	0#	\$a CAST:アントニオ・バンデラス/ハリー・コレット/マイケル・シーン 声の出演藤原啓治/大塚明夫/林卓/大塚芳忠/エマ・トンプソン/石田ゆり子 ¥
518	##	\$a 2020 年アメリカ・イギリス作品 ¥
538	##	\$a Blu-ray Disc ¥
538	##	\$a カラー, ビスタ ¥
538	##	\$a 音声: 英 (ドルビーアトモス), 日 (5.1) ¥
538	##	\$a 字幕: 英 (聴覚障がい者対応), 日, 日 (吹替用) ¥
538	##	\$a DVD ¥
538	##	\$a カラー, ビスタ ¥
538	##	\$a 音声: 英 (5.1), 日 (5.1) ¥
538	##	\$a 字幕: 英 (聴覚障がい者対応), 日, 日 (吹替用) ¥
505	0#	\$a DISC1(Blu-ray Disc)本編 ¥
505	0#	\$a DISC2(DVD)本編 ¥

880	00	\$6 245-01/\$1 \$a ドクター ・ ドリトル ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Dokuta ・ doritoru ¥
880	#1	\$6 264-02/\$1 \$a [トウキョウ] : \$b NBC ユニバーサル ・ エンターテイメント, \$c 2020.11 ¥
880	#1	\$6 264-02/(B \$a [Tokyo] : \$b NBC yunibasaru ・ entateimento, \$c 2020.11 ¥@

<その6> 逐次刊行物

レコードラベル	02352cas#a2200421zi#4500	
ディレクトリ	00100100000000300060001000500170001600700030003300800410003601500180007702 20028000950400032001230840015001550900012001702220061001822450140002432460 07700383246003400460246004600494264013300540300001700673310001100690336002 90070133700270073033800230075736200320078071000770081278000740088986600320 09638800200009958800148011958800057013438800039014008800179014398800138016 18880010601756880006801862 ¥	
データフィールド		
フィールド	ind.	サブフィールドコードおよび値
001		030318373 ¥
003		JTNDL ¥
005		20210122114036.0 ¥
007		ta ¥
008		210114c20209999ja#ar#p##### ###d0jpn## ¥
015	##	\$a 01053398 \$2 jnb ¥
022	0#	\$a 2435-6344 \$l 2435-6344 \$2 9 ¥
040	##	\$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/2018 ¥
084	##	\$a ZR26 \$2 kktb ¥
090	##	\$a Z18-742 ¥
222	#0	\$a Shizuokaken Suisan, Kaiyo Gijutsu Kenkyujo kenkyu hokoku ¥
245	00	\$6 880-01 \$a 静岡県水産・海洋技術研究所研究報告 = \$b Bulletin of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery and Ocean ¥
246	21	\$a Bulletin of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery and Ocean ¥
246	23	\$a 静岡水技研研報 ¥
246	23	\$a Bull. Shizuoka Pref. Res. Inst. Fish. Oc. ¥
264	#1	\$6 880-03 \$a 焼津 : \$b 静岡県水産・海洋技術研究所 = Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery and Ocean, \$c 2020- ¥

300	##	\$a 冊 ; \$c 30 cm ¥
310	##	\$a 年刊 ¥
336	##	\$a テキスト \$2 ncrcontent ¥
337	##	\$a 機器不用 \$2 ncrmedia ¥
338	##	\$a 冊子 \$2 nrcarrier ¥
362	0#	\$a 第 53 号 (令和 2 年 12 月)- ¥
710	2#	\$6 880-04 \$a 静岡県水産海洋技術研究所 \$e 責任刊行者 \$0 001348524 ¥
780	00	\$t 静岡県水産技術研究所研究報告 = \$w 000009357970 \$x 1883-0382 ¥
866	#0	\$a 第 53 号 (令和 2 年 12 月)- ¥
880	00	\$6 245-01/\$1 \$a シズオカケン スイサン カイヨウ ギジュツ ケンキュウジヨ ケンキュウ ホウコク = \$b Bulletin of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery and Ocean ¥
880	00	\$6 245-01/(B \$a Shizuokaken Suisan, Kaiyo Gijutsu Kenkyujo kenkyu hokoku = \$b Bulletin of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery and Ocean ¥
880	23	\$6 246-02/\$1 \$a シズオカ スイギケン ケンポウ ¥
880	23	\$6 246-02/(B \$a Shizuoka suigiken kenpo ¥
880	#1	\$6 264-03/\$1 \$a ヤイズ : \$b シズオカケン スイサン カイヨウ ギジュツ ケンキュウジヨ = Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery and Ocean, \$c 2020- ¥
880	#1	\$6 264-03/(B \$a Yaizu : \$b Shizuokaken suisan, kaiyo gijutsu kenkyujo = Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery and Ocean, \$c 2020- ¥
880	2#	\$6 710-04/\$1 \$a シズオカケン スイサン カイヨウ ギジュツ ケンキュウジヨ \$0 001348524 ¥
880	2#	\$6 710-04/(B \$a Shizuokaken suisan kaiyo gijutsu kenkyujo \$0 001348524 ¥@

10. データ要素説明

内容

レコードラベル (Leader)	67
●00-04 : 書誌レコード長	67
●05 : レコード・ステータス	67
●06 : レコード種別	68
●07 : 書誌レベル	68
●08 : 制御種別コード	68
●09 : 文字コード	68
●10 : インディケータの長さ	68
●11 : サブフィールド識別子の長さ	69
●12-16 : データのベースアドレス	69
●17 : 符号化レベル	69
●18 : 記述目録形式	69
●19 : 複数巻単行資料レコードレベル	69
●20 : データフィールド長領域の長さ	69
●21 : 先頭文字位置領域の長さ	70
●22 : 適用者指定項目の長さ	70
●23 : 未定義項目	70
00X : レコード管理ブロック	71
001 レコード管理番号	72
003 レコード管理番号識別子	73
005 レコード最終更新年月日	74
007 物理的属性コード化情報	75
008 一般コード化情報	87
0XX : 番号・コードブロック	103
015 全国書誌番号	104
020 国際標準図書番号 (ISBN)	106
022 国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)	109
024 その他の標準識別子	111
028 出版者番号	112
034 数値データ : コード化情報 (地図資料)	114
035 他 MARC 番号等	117
040 レコード作成機関	119
041 言語コード	121

044	出版・製作国コード	123
045	内容年（地図資料）	124
084	分類記号	126
090	請求記号	128
098	地図各種番号（地図資料）	129
20X-24X	：タイトルブロック	131
210	略タイトル	132
222	キー・タイトル	133
245	タイトル、責任表示	135
246	並列タイトル、その他のタイトル	144
25X-28X	：版表示、出版表示等ブロック	148
250	版表示	149
255	数値データ（地図資料）	152
256	電子的内容（電子資料）（不使用）	156
260	出版・頒布等に関する事項（不使用）	158
264	出版表示等	162
3XX	：形態等ブロック	167
300	キャリアに関する情報：数量、大きさ等	168
310	刊行頻度	173
321	刊行頻度の変化	176
336	表現種別	177
337	キャリアに関する情報：機器種別	180
338	キャリアに関する情報：キャリア種別	183
340	キャリアに関する情報：媒体の特性等	187
344	キャリアに関する情報：録音の特性（非図書資料）	193
346	キャリアに関する情報：ビデオの特性（映像資料）	196
347	キャリアに関する情報：デジタル・ファイルの特性（非図書資料）	199
362	順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記	201
4XX	：シリーズブロック	203
490	シリーズ表示	204
5XX	：注記ブロック	208
500	一般注記	209
504	書誌注記	212
505	内容細目等	213
510	雑誌記事索引注記	217
511	出演者注記（録音資料・映像資料）	219

516	電子的内容に関する注記（電子資料）（不使用）	220
518	日付および場所に関する注記（録音資料・映像資料）	221
520	要約等	222
521	対象利用者	223
530	別の媒体に関する注記	224
534	原資料等に関する注記	225
536	科学研究費助成事業課題番号（科研費課題番号）	227
538	システム要件に関する注記（非図書資料）	228
546	言語注記	230
550	出版表示等に関する注記	232
555	総目次・総索引注記	234
561	所有・管理履歴	235
563	装丁に関する注記	236
580	リンクに関する注記	237
586	賞（映像資料）	238
588	識別の基盤に関する注記	239
6XX	: アクセス・ポイントブロック（件名）	240
600	典拠形アクセス・ポイント（件名）：個人、家族	241
610	典拠形アクセス・ポイント（件名）：団体	246
630	典拠形アクセス・ポイント：統一タイトル件名	249
650	典拠形アクセス・ポイント：普通件名	252
651	典拠形アクセス・ポイント（件名）：場所	255
653	非統制形アクセス・ポイント（件名）	258
655	典拠形アクセス・ポイント：ジャンル・形式用語	259
70X-75X	: アクセス・ポイントブロック（創作者等）	261
700	典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：個人、家族	262
710	典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：団体	269
720	非統制形アクセス・ポイント（創作者等）	274
730	典拠形アクセス・ポイント：著作	276
740	非統制形アクセス・ポイント（タイトル）	278
76X-78X	: 資料との関連リンクブロック	280
760	上位のシリーズ	281
762	サブシリーズ	283
765	原言語版	285
767	他言語版	287
770	付属	289

772	本体.....	291
775	異版.....	293
776	他媒体版.....	295
780	先行.....	297
785	後続.....	300
787	その他の関連.....	303
80X-83X	: アクセス・ポイントブロック (シリーズの創作者等)	306
800	典拠形アクセス・ポイント (シリーズの創作者等) : 個人、家族.....	307
810	典拠形アクセス・ポイント (シリーズの創作者等) : 団体.....	314
84X-88X	: 所蔵、代替文字種表現等ブロック.....	319
856	オンライン資料へのアクセス (地図資料)	320
866	所蔵情報.....	322
880	代替文字種表現 (片仮名読み形・ローマ字読み形)	323
更新履歴	325

レコードラベル (Leader)

レコードラベル (Leader) は 24 桁からなり、各データ要素はその位置によって定義される。

データ要素名称	文字数	文字位置
書誌レコード長	5	00-04
レコード・ステータス	1	05
レコード種別	1	06
書誌レベル	1	07
制御種別コード	1	08
文字コード	1	09
インディケータの長さ	1	10
サブフィールド識別子の長さ	1	11
データのベースアドレス	5	12-16
符号化レベル	1	17
記述目録形式	1	18
複数巻単行資料レコードレベル	1	19
データフィールド長領域の長さ	1	20
先頭文字位置領域の長さ	1	21
適用者指定項目の長さ	1	22
未定義項目	1	23

●00-04 : 書誌レコード長

- ・書誌データの長さ(バイト数)を 5 桁の 10 進数で表示する。5 桁に満たない場合は、“00525”のように 0 埋めしている。書誌データの長さ (バイト数) とは、具体的には「レコードラベル (Leader) の長さ (24Byte) + ディレクトリの長さ + フィールド区分文字 (1Byte) + データフィールド群の長さ + レコード区分文字 (1Byte)」である。

●05 : レコード・ステータス

- c 訂正
- d 削除
- n 新規

- ・書誌データの状態を表すアルファベット 1 文字のコードを記録する。

●06：レコード種別

a	文字資料
c	楽譜
e	地図資料
g	映像資料
i	録音資料（音楽録音資料を除く）
j	音楽録音資料
k	静止画資料
m	電子資料
t	文字資料（書写資料）

- ・書誌データの種別を表すアルファベット 1 文字のコードを記録する。文字資料で書写資料以外の場合は「a」を記録する。一枚ものの地図や楽譜の場合は「c」や「e」を、冊子体の地図や楽譜の場合は「a」を記録する。

●07：書誌レベル

i	更新資料（2021 年 1 月以降使用）
m	単行資料
s	逐次刊行資料

- ・書誌データの種別を表すアルファベット 1 文字のコードを記録する。
- ・単行資料は「m」を、更新資料（加除式資料）は「i」を記録する。
- ・逐次刊行資料では常に「s」を記録する。
- ・【2020 年 12 月までに作成したデータ】単行資料、更新資料（加除式資料）は、常に「m」を記録する。

●08：制御種別コード

#	特定される種別なし
---	-----------

- ・常に「#」を記録する。

●09：文字コード

a	UCS／ユニコード
---	-----------

- ・常に「a」を記録する。

●10：インディケータの長さ

- ・常に「2」を記録する。

●11：サブフィールド識別子の長さ

- ・常に「2」を記録する。

●12-16：データのベースアドレス

- ・データフィールド群の先頭位置を表す。書誌データの先頭からのバイト数を10進数5桁で表示する。5桁に満たない場合は、「00337」のように0埋めしている。

●17：符号化レベル

#	フルレベル（2011年12月以降は不使用）
3	簡略レベル（2011年12月以降は不使用）
4	主要部のみ（2011年12月以降は不使用）
z	非適用

- ・書誌データの詳細度を表すアルファベット1文字のコードとして、常に「z」を記録する。
- ・【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、「#」、「3」、「4」を記録している場合がある。

●18：記述目録形式

#	非ISBD（2011年12月以降は不使用）
i	ISBD（区切り記号を含む）
u	不明（2011年12月以降は不使用）

- ・書誌データの記述目録形式を表すアルファベット1文字のコードとして、常に「i」を記録する。
- ・【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、「#」、「u」を記録している場合がある。

●19：複数巻単行資料レコードレベル

#	適用しない
a	包括的記述（2021年1月以降使用）

- ・更新資料（加除式資料）および逐次刊行資料は、常に「#」を記録する。
- ・単行資料については、複数巻単行資料でかつ包括的記述を選択する場合は「a」を、それ以外の場合は「#」を記録する。
- ・【2020年12月までに作成したデータ】常に「#」を記録する。

●20：データフィールド長領域の長さ

- ・常に「4」を記録する。

●21 : 先頭文字位置領域の長さ

- ・常に「5」を記録する。

●22 : 適用者指定項目の長さ

- ・常に「0」を記録する。

●23 : 未定義項目

- ・常に「0」を記録する。

例 1) 01340cam#a2200349zi#4500

00X : レコード管理ブロック

このブロックには、書誌レコード管理番号および書誌データを処理する際に必要な、その他のコード化情報を記録する。

■フィールド一覧

- [001](#) [レコード管理番号](#)
- [003](#) [レコード管理番号識別子](#)
- [005](#) [レコード最終更新年月日](#)
- [007](#) [物理的属性コード化情報](#)
- [008](#) [一般コード化情報](#)

上記以外のフィールドは、不使用。

001 レコード管理番号

■インディケータ

なし

フィールド必須

フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドには9桁または12桁からなる書誌レコード管理番号を記録する。
フィールド末尾には区切り記号なし。

例1) 001 012345678

例2) 2011年11月までに作成したデータ
001 000009373972

003 レコード管理番号識別子

■インディケータ

なし

フィールド必須

フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

常に「JTNDL」(MARC 21 [MARC Code List for Organizations](#) で国立国会図書館を表すコード) を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

例 1) 003 JTNDL

005 レコード最終更新年月日

■インディケータ

なし

フィールド必須

フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドにはレコード最終更新日時（「yyyymmddhhmmss.f」形式。yyyy：西暦年
mm：月 dd：日 hh：時 mm：分 ss：秒 f：秒の小数第一位）を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

例 1) 最終更新日が 2021 年 3 月 10 日 13 時 40 分 34 秒

005 20210310134034.0

007 物理的属性コード化情報

■インディケータ

なし

フィールド NDL 運用上必須
フィールド NDL 運用上繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドには 10 の資料群 ([文字資料](#) (2 桁)、[地図資料](#) (8 桁)、[楽譜](#) (2 桁)、[録音資料](#) (14 桁)、[映像資料](#) (9 桁)、[映像資料\(静止画\)](#) (9 桁)、[静止画資料](#) (6 桁)、[電子資料](#) (14 桁)、[点字資料](#) (10 桁)、[マイクロ資料](#) (13 桁)) ごとに規定されたコード化情報を記録する。

以下の各項に記載されたコードは、説明中に別途指示がない限り記録する値を示す。記録する可能性のない値は記載しない。

フィールド末尾には区切り記号なし。

■文字資料

●007/00 : 資料カテゴリー

t 文字資料

・常に「t」を記録する。

●007/01 : 特定資料種別

a 普通活字

b 大活字

u 特定しない (2011 年 12 月以降は不使用)

z その他

例 1) 007 ta

■地図資料

●007/00：資料カテゴリー

a 地図

- ・常に「a」を記録する。

●007/01：特定資料種別

d 地図帳

j 地図

●007/02：未定義

未定義

- ・常に「#」を記録する。

●007/03：色彩

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

●007/04：材質

a 紙

u 不明（2021年1月以降使用）

- ・【2020年12月までに作成したデータ】常に「a」（紙）を記録する。

●007/05：複製方法

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

●007/06：製造・複製の詳細情報

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

●007/07：極性

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

例 2) 007 aj#|a|||

■楽譜

- 007/00：資料カテゴリー

q 楽譜

- ・常に「q」を記録する。

- 007/01：特定資料種別

u 特定しない

- ・常に「u」を記録する。

例 3) 007 qu

■録音資料

- 007/00：資料カテゴリー

s 録音資料

- ・常に「s」を記録する。

- 007/01：特定資料種別

d 録音ディスク

s 録音カセット

t 録音リール

z その他

- ・「d」「s」「t」のいずれにも該当しない場合は、「z」を記録する。

- 007/02：未定義

未定義

- ・常に「#」を記録する。

- 007/03：再生速度

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

- 007/04：録音チャンネル数

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

- 007/05：音溝の幅（アナログ・ディスク）

| コード不使用
・常に「|」を記録する。

●007/06：大きさ

 | コード不使用
・常に「|」を記録する。

●007/07：テープの幅

 | コード不使用
・常に「|」を記録する。

●007/08：テープの構成

 | コード不使用
・常に「|」を記録する。

●007/09：記録媒体の種別

 | コード不使用
・常に「|」を記録する。

●007/10：材料の種別

 | コード不使用
・常に「|」を記録する。

●007/11：カッティングの種別

 | コード不使用
・常に「|」を記録する。

●007/12：再生方法の特性

 | コード不使用
・常に「|」を記録する。

●007/13：音の記録方式

 | コード不使用
・常に「|」を記録する。

例 4) 007 ss#| | | | | | | | | |

■映像資料

●007/00：資料カテゴリー

v 映像資料

- ・常に「v」を記録する。

●007/01：特定資料種別

d ビデオディスク

f ビデオカセット

z その他

- ・「d」「f」のいずれにも該当しない場合は、「z」を記録する。

●007/02：未定義

未定義

- ・常に「#」を記録する。

●007/03：色彩

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

●007/04：録画特性

a ベータ（1/2 インチ，ビデオカセット）

b VHS（1/2 インチ，ビデオカセット）

c U マチック（3/4 インチ，ビデオカセット）

g レーザーディスク

s Blu-ray disc

v DVD

z その他

- ・「a」「b」「c」「g」「s」「v」のいずれにも該当しない場合は、「z」を記録する。

●007/05：音声の形態

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

●007/06：音声用の媒体

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●007/07：大きさ

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●007/08：録音チャンネル数

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

例 5) 007 vd#|s| | | |

■映像資料（静止画）

●007/00：資料カテゴリー

g 映像資料（静止画）

・常に「g」を記録する。

●007/01：特定資料種別

c フィルムストリップ（カートリッジ）（2011年12月以降使用）

d シートフィルム（2011年12月以降使用）

o フィルムストリップ（ロール）（2011年12月以降使用）

s スライド

t トランスペアレンシー（2011年12月以降使用）

z その他

・「c」「d」「o」「s」「t」のいずれにも該当しない場合は、「z」を記録する。

・【2011年11月までに作成したデータ】常に「s」を記録する。

●007/02：未定義

未定義

・常に「#」を記録する。

●007/03：色彩

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●007/04：ベース（支持体）

- | コード不使用
- ・常に「|」を記録する。

●007/05：音声の形態

- | コード不使用
- ・常に「|」を記録する。

●007/06：音声用の媒体

- | コード不使用
- ・常に「|」を記録する。

●007/07：大きさ

- | コード不使用
- ・常に「|」を記録する。

●007/08：副次的材料

- | コード不使用
- ・常に「|」を記録する。

例 6) 007 gs#|||||

■静止画資料

●007/00：資料カテゴリー

- k 静止画資料
- ・常に「k」を記録する。

●007/01：特定資料種別

- a かるた等（2011年12月以降使用）
- h 写真
- i 静止画
- k ポスター
- l 設計図
- p 絵葉書
- o カード

- ・かるた、トランプ等は、「a」を記録する。
- ・ほかに該当する値のない静止画全般は、「i」を記録する。

●007/02：未定義

未定義

- ・常に「#」を記録する。

●007/03：色彩

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

●007/04：主要な基盤体の種類

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

●007/05：副次的な基盤体の種類

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

例 7) 007 ki#|||

■電子資料

●007/00：資料カテゴリー

c 電子資料

- ・常に「c」を記録する。

●007/01：特定資料種別

b IC カード、半導体メモリ (2011 年 12 月以降使用)

j 磁気ディスク

m 光磁気ディスク (2011 年 12 月以降使用)

o 光学ディスク

r オンライン資料

z その他

- ・「b」「j」「m」「o」「r」のいずれにも該当しない場合は、「z」を記録する。

●007/02：未定義

未定義

- ・常に「#」を記録する。

- 007/03 : 色彩
| コード不使用
・常に「|」を記録する。

- 007/04 : 大きさ
n 適用しない
・常に「n」を記録する。

- 007/05 : 音声の有無
| コード不使用
・常に「|」を記録する。

- 007/06-08 : 画像のビット数
||| コード不使用
・常に「|||」を記録する。

- 007/09 : ファイル形式
| コード不使用
・常に「|」を記録する。

- 007/10 : 品質保証対象
u 不明
・常に「u」を記録する。

- 007/11 : デジタル化資料の由来情報
n 適用しない
・常に「n」を記録する。

- 007/12 : 圧縮レベル
| コード不使用
・常に「|」を記録する。

- 007/13 : 再変換レベル
| コード不使用
・常に「|」を記録する。

例 8) 007 co#|n||||un||

■点字資料

- 007/00：資料カテゴリー

f 点字資料

- ・常に「f」を記録する。

- 007/01：特定資料種別

b 点字資料

- ・常に「b」を記録する。

- 007/02：未定義

未定義

- ・常に「#」を記録する。

- 007/03-04：記述対象属性

|| コード不使用

- ・常に「||」を記録する。

- 007/05：縮約レベル

| コード不使用

- ・常に「|」を記録する。

- 007/06-08：点字音楽フォーマット

||| コード不使用

- ・常に「|||」を記録する。

- 007/09：物理的特性

n 適用しない（2011年12月以降不使用）

| コード不使用

例 9) 007 fb#|||||||

■マイクロ資料

- 007/00：資料カテゴリー

h マイクロ資料

・常に「h」を記録する。

●007/01：特定資料種別

d マイクロフィルム

e マイクロフィッシュ

g マイクロオペーク

z その他

・「d」「e」「g」のいずれにも該当しない場合は、「z」を記録する。

●007/02：未定義

未定義

・常に「#」を記録する。

●007/03：極性

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●007/04：大きさ

【マイクロフィルム】

a 8 mm.

d 16 mm.

f 35 mm.

g 70 mm.

h 105 mm.

【マイクロフィッシュ・マイクロオペーク等】

m 4 x 6 in. or 11 x 15 cm.

【その他】

z その他

●007/05：縮率の範囲

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●007/06-08：縮率

||| コード不使用

・常に「|||」を記録する。

●007/09：色彩

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●007/10：フィルム感光乳剤

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●007/11：世代

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●007/12：フィルム地

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

例 10) 007 he#|m| || || || || ||

008 一般コード化情報

■インディケータ

なし

フィールド必須 フィールド繰り返し不可

■サブフィールドコード

なし

このフィールドは 40 桁からなり、1～18 桁目および 36～40 桁目（008/00-17、008/35-39）には、全資料群に共通するコード化情報を記録する。

19～35 桁目（008/18-34）には、6 つの資料群（図書、地図資料、楽譜・録音資料、映像資料・静止画資料、電子資料、逐次刊行資料）ごとに規定されたコード化情報を記録する。

以下の各項に記載されたコードは、説明中に別途指示がない限り記録する値を示す。記録する可能性のない値は記載しない。

■共通：008/00-17、35-39

●008/00-05：レコード新規作成年月日（共通）

- ・レコード新規作成年月日（「yyymmdd」形式。yy：西暦下 2 桁 mm：月 dd：日）を記録する。

●008/06：刊行種別コード（共通）

- c 逐次刊行資料、更新資料：刊行中（西暦年 2 は「9999」となる）（更新資料は 2023 年 4 月以降使用）
- d 逐次刊行資料、更新資料：刊行終了（更新資料は 2023 年 4 月以降使用）
- m 複数の日付
- n 日付不明（西暦年 1、2 とも「uuuu」となる）
- q おおよその日付の範囲（単一の日付が、ある期間内に含まれると推測できる場合、その期間の範囲を西暦年 1、2 で示す）（単行資料で 2023 年 4 月以降使用）

s 単一の日付（西暦年 2 は「#####」となる）

u 逐次刊行資料、更新資料：刊行状況不明（西暦年 2 は「uuuu」となる）

- ・ 008/07-10（西暦年 1）および 008/11-14（西暦年 2）に記録する日付の種類を示す。
- ・ 逐次刊行資料、および更新資料（加除式資料）の場合は、同時に、刊行状況をも示す（更新資料（加除式資料）は 2023 年 4 月以降に作成したデータに限る）。
- ・ 単行資料の場合は、「m」「n」「q」または「s」を記録する（「q」は 2023 年 4 月以降に作成したデータに限る）。
- ・ 【2021 年 1 月から 2023 年 3 月までに作成したデータ】更新資料（加除式資料）は、常に「u」を記録する。
- ・ 【2020 年 12 月までに作成したデータ】更新資料（加除式資料）は、常に「m」を記録する。

●008/07-10：西暦年 1（共通）

●008/11-14：西暦年 2（共通）

- ・ 出版日付（264\$c または 260\$c）に対応した 4 桁の西暦年を記録する。出版日付の一部が不明な場合には、不足する桁に「u」を記録する（例 3、5）。
- ・ 使用可能文字はアラビア数字（0～9）のほかに次のとおり。

u 一部または全部が不明の場合

適用外（008/06 が「s」の場合の 008/11-14 にのみ使用）

- ・ 単巻資料の場合および複数巻単行資料で分析的記述を選択した場合は、西暦年 1 に記録し、西暦年 2 は「#####」となる（008/06 は「s」）（例 1）。
- ・ 複数巻単行資料で包括的記述を選択した場合は、西暦年 1 に最初に刊行された年を、西暦年 2 に最後に刊行された年を記録する（008/06 は「m」）（例 2）。ただし、最初に刊行された年と最後に刊行された年が同一の場合は、西暦年 1 に記し、西暦年 2 は「#####」となる（008/06 は「s」）。
- ・ 単行資料のうち、単一の日付がある期間内に含まれると推測できる場合は、008/06 に「q」を使用し、西暦年 1 に推定される最も古い年を、西暦年 2 に推定される最も新しい年を記録する（2023 年 4 月以降に作成したデータに限る）（例 4、5）。
- ・ 単行資料で出版日付が不明の場合は、西暦年 1 と西暦年 2 に「uuuu」を記録する（008/06 は「n」）（例 6）。
- ・ 逐次刊行資料および更新資料（加除式資料）の場合は、西暦年 1 に最初に刊行された年を記録する（008/06 は「c」「d」または「u」）（例 7～9）。008/06 が「c」の場合は、西暦年 2 に「9999」を記録する（例 7）。008/06 が「d」の場合は、西暦年 2 に最後に刊行された年を記録する（例 8）。008/06 が「u」の場合は、西暦年 2 に「uuuu」を記録する（例 9）。

例 1) 単巻資料の場合または複数巻単行資料で分析的記述を選択した場合

008/06 s
008/07-10 2011
008/11-14 #####
264 #1 \$c 2011.9

例 2) 複数巻単行資料で包括的記述を選択した場合

008/06 m
008/07-10 1998
008/11-14 1999
264 #1 \$c 1998-1999

例 3) 単行資料で出版年が一部不明の場合

008/06 s
008/07-10 19uu
008/11-14 #####
264 #1 \$c [1900 年代]

例 4) 単行資料で単一の日付である出版年の範囲が推測できる場合

008/06 q
008/07-10 1990
008/11-14 2000
264 #1 \$c [1990 から 2000 の間]

例 5) 単行資料で単一の日付である出版年の範囲が推測できる場合

008/06 q
008/07-10 199u
008/11-14 201u
264 #1 \$c [1990 年代から 2010 年代の間]

例 6) 008/06 n

008/07-10 uuuu
008/11-14 uuuu
264 #1 \$c [出版日付不明]

例 7) 逐次刊行資料、更新資料（刊行中）

008/06 c
008/07-10 1998
008/11-14 9999
264 #1 \$c 1998-

例 8) 逐次刊行資料、更新資料 (刊行終了)

008/06 d
008/07-10 1998
008/11-14 2011
264 #1 \$c 1998-2011

例 9) 逐次刊行資料、更新資料 (刊行状況不明)

008/06 u
008/07-10 1998
008/11-14 uuuu
264 #1 \$c 1998-

- ・【2023年3月までに作成したデータ】単一の日付が、ある期間内に含まれると推測できる場合に、上記以外の形で記録している場合がある (例 10)。

例 10) 単行資料で出版年が一部不明の場合

008/06 s
008/07-10 uuuu
008/11-14 #####
264 #1 \$c [1990 から 2000 の間]

- ・【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、出版年が不明のときに「u」ではなく「0」を使用している場合や、おおよその出版年代を推定した場合に、上記以外の形で記録している場合がある (例 11～14)。

例 11) 008/06 s
008/07-10 0000
008/11-14 #####
260##\$c [出版年不明]

例 12) 008/06 s

008/07-10 1940
008/11-14 #####
260##\$c [昭和--]

例 13) 008/06 s
008/07-10 1920
008/11-14 #####
260##\$c [大正--]

例 14) 008/06 s
008/07-10 1900
008/11-14 #####
260##\$c [明治--]

●008/15-17：出版国コード（共通）

- ・ 出版地（264\$a または 260\$a）に対応した出版国コードを記録する。
- ・ コードは、MARC 21 [MARC Code List for Countries](#) から 2 桁のものを選択し、3 桁目はスペースとする。ただし、以下については 3 桁のコードを使用する。

xxc カナダ
xxk グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国（英国）
xxu アメリカ合衆国（米国）

- ・ 出版地が複数あり、対応するコードが複数となる場合、008/15-17 には主たる出版地に対応したコードを記録し、フィールド 044（出版・製作国コード）に対応するすべての国のコードを記録する（例 15）。ただし、主たる出版地のみを記録する場合は 008/15-17 のみ使用し、044 は使用しない。

例 15) 出版国が日本と韓国であり、主要な国が日本である場合

008/15-17 ja#
044 ## \$a ja \$a ko

●008/35-37：言語コード（共通）

- ・ 本文の言語のコードを記録する。
- ・ コードは、MARC 21 [MARC Code List for Languages](#) を使用する。
- ・ 本文の言語が 2 以上の場合、008/35-37 には主要な言語に対応したコードを記録し、フィールド 041（言語コード）に対応するすべての言語のコードを記録する（例 16）。（041 は、複数のコードを記録する場合以外は使用しない。）

例 16) 日本語・ロシア語併記の場合

008/35-37 jpn

041 0# \$a jpn \$a rus

●008/38：改変レコードコード（共通）

- ・レコードに何らかの改変があるかどうかを、1桁のコードで記録する。

改変なし

x 文字の欠落あり（レコード中にゲタ記号（=）が存在する場合）

●008/39：目録作成機関（共通）

- ・最初にレコードを作成した機関の種別を、1桁のコードで記録する。
- ・具体的な機関コードは、フィールド 040（レコード作成機関）に記録する。

全国書誌作成機関

- ・国立国会図書館が作成するレコードについては、常に「#」を記録する。

■資料群別：008/18-34

008/18-34 は、資料群ごとに規定する。資料群ごとの詳細は、「[図書：008/18-34](#)」、「[地図資料：008/18-34](#)」、「[楽譜・録音資料：008/18-34](#)」、「[映像資料・静止画資料：008/18-34](#)」、「[電子資料：008/18-34](#)」、「[逐次刊行資料：008/18-34](#)」をそれぞれ参照すること。

■図書：008/18-34

●008/18-21：挿図等（図書）

|||| コード不使用

- ・常に「||||」を記録する。

●008/22：対象利用者コード（図書）

指定なし、または不明

g 一般

j 児童書

- ・【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、一般または児童書であっても「#」を記録している場合がある。

●008/23：物理的属性（図書）

- ・図書の物理的属性を記録する。

指定なし、または不明

- a マイクロフィルム
- b マイクロフィッシュ
- c マイクロオペーク
- d 大活字図書
- f 点字図書

・大活字・点字でない印刷資料は「#」を記録する。

●008/24-27：資料形式（図書）

|||| コード不使用

・常に「||||」を記録する。

●008/28：政府刊行物（図書）

- # 民間出版物
- f 中央官庁
- l 地方公共団体
- z その他（2011年12月以降原則として不使用）
- | コード不使用（2011年12月以降原則として不使用）

●008/29：会議録（図書）

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/30：記念論文集（図書）

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/31：索引（図書）

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/32：未定義（図書）

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/33：文学形式（図書）

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/34：伝記（図書）

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

■地図資料：008/18-34

●008/18-21：高低差の表現（地図資料）

|||| コード不使用

・常に「||||」を記録する。

●008/22-23：投影図法（地図資料）

・255\$bに記録している投影図法をコード化して記録する場合は、[MARC 21 Bibliographic: 008-Maps](#)のコード値に従って記録する。コード値には、「bh 横メルカトル図法」などがある。

・以前のデータとの調整上、UNIMARC でのみ規定されている以下のコードも使用している。

cd	円錐図法
cf	ドリール図法
cg	万国図図法(変更多円錐図法)
ch	ティソー指示楕円図法
di	多面体図法

●008/24：未定義（地図資料）

未定義

・常に「#」を記録する。

●008/25：地図タイプ（地図資料）

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/26-27：未定義（地図資料）

未定義

・常に「##」を記録する。

●008/28：政府刊行物（地図資料）

民間出版物
f 中央官庁
l 地方公共団体
z その他（2011年12月以降原則として不使用）
| コード不使用（2011年12月以降原則として不使用）

●008/29：物理的属性（地図資料）

指定なし、または不明（2011年12月以降原則として不使用）
| コード不使用

●008/30：未定義（地図資料）

未定義
・常に「#」を記録する。

●008/31：索引（地図資料）

| コード不使用
・常に「|」を記録する。

●008/32：未定義（地図資料）

未定義
・常に「#」を記録する。

●008/33-34：フォーマット特性（地図資料）

指定なし（2011年12月以降原則として不使用）
|| コード不使用

■楽譜・録音資料：008/18-34

●008/18-19：音楽タイプ（楽譜・録音資料）

|| コード不使用
・常に「||」を記録する。

●008/20：音楽形態（楽譜・録音資料）

| コード不使用
・常に「|」を記録する。

●008/21：音楽のパート（楽譜・録音資料）

u 不明

・常に「u」を記録する。

●008/22：対象利用者コード（楽譜・録音資料）

指定なし、または不明

g 一般

j 児童書

・【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、一般または児童書であっても「#」を記録している場合がある。

●008/23：物理的属性（楽譜・録音資料）

q 録音資料（2011年12月以降使用）

r 印刷資料（2011年12月以降使用）

指定なし、または不明（2011年12月以降原則として不使用）

●008/24-29：関連事項（楽譜・録音資料）

||||| コード不使用

・常に「|||||」を記録する。

●008/30-31：本文の文学形式（楽譜・録音資料）

楽譜・録音資料（2011年12月以降原則として不使用）

|| コード不使用（2011年12月以降使用）

●008/32：未定義（楽譜・録音資料）

未定義（2011年12月以降原則として不使用）

| コード不使用（2011年12月以降使用）

●008/33：転調・編曲（楽譜・録音資料）

u 不明（2011年12月以降原則として不使用）

| コード不使用（2011年12月以降使用）

●008/34：未定義（楽譜・録音資料）

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

■映像資料・静止画資料：008/18-34

●008/18-20：再生時間（映像資料・静止画資料）

||| コード不使用

・常に「|||」を記録する。

●008/21：未定義（映像資料・静止画資料）

未定義

・常に「#」を記録する。

●008/22：対象利用者コード（映像資料・静止画資料）

指定なし、または不明

g 一般

j 児童書

・【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、一般または児童書であっても「#」を記録している場合がある。

●008/23-27：未定義（映像資料・静止画資料）

未定義

・常に「#####」を記録する。

●008/28：政府刊行物（映像資料・静止画資料）

民間出版物

f 中央官庁

l 地方公共団体

z その他（2011年12月以降原則として不使用）

| コード不使用（2011年12月以降原則として不使用）

●008/29：物理的属性（映像資料・静止画資料）

指定なし、または不明

q 映像資料（2011年12月以降使用）

s 電子資料（2011年12月以降原則として不使用）

●008/30-32：未定義（映像資料・静止画資料）

未定義

・常に「###」を記録する。

●008/33：資料内容種別（映像資料・静止画資料）

- ・映像資料・静止画資料の資料内容種別を記録する。

i	静止画
l	設計図
o	カード（2011年12月以降使用）
s	スライド
v	映像資料（2011年12月以降使用）
	コード不使用

- ・設計図またはカードでない静止画資料は「i」を記録する。

●008/34：動画技術（映像資料・静止画資料）

u	不明
---	----

- ・常に「u」を記録する。

■電子資料：008/18-34

●008/18-21：未定義（電子資料）

#####	未定義
-------	-----

- ・常に「#####」を記録する。

●008/22：対象利用者コード（電子資料）

#	指定なし、または不明
g	一般
j	児童書

- ・【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、一般または児童書であっても「#」を記録している場合がある。

●008/23：物理的属性（電子資料）

#	指定なし、または不明
---	------------

- ・常に「#」を記録する。

●008/24-25：未定義（電子資料）

##	未定義
----	-----

- ・常に「##」を記録する。

●008/26：電子的内容（電子資料）

a	数値データ
---	-------

b	コンピュータ・プログラム
c	画像データ
d	文書データ
f	フォント・データ (2011年12月以降使用)
g	ゲーム・ソフトウェア (2011年12月以降使用)
h	録音データ (2011年12月以降使用)
i	インタラクティブ・マルチメディア (2011年12月以降使用)
m	複合体
z	その他

●008/27 : 未定義 (電子資料)

未定義

・常に「#」を記録する。

●008/28 : 政府刊行物 (電子資料)

民間出版物

f 中央官庁

l 地方公共団体

z その他 (2011年12月以降原則として不使用)

| コード不使用 (2011年12月以降原則として不使用)

●008/29-34 : 未定義 (電子資料)

未定義

・常に「#####」を記録する。

■逐次刊行資料 : 008/18-34

●008/18 : 刊行頻度 (逐次刊行資料)

a 年刊

b 隔月刊

c 週2回刊

d 日刊

e 隔週刊

f 年2回刊

g 隔年刊

h 3年1回刊

i 週3回刊

j	旬刊
m	月刊
q	季刊
s	月2回刊
t	年3回刊
u	不明
w	週刊
z	隔日刊 その他
#	不定期刊

●008/19：刊行の規則性（逐次刊行資料）

r	定期
u	不明
x	完全に不定期
	コード不使用

●008/20：未定義（逐次刊行資料）

未定義

・常に「#」を記録する。

●008/21：逐次刊行物種別コード（逐次刊行資料）

n	新聞
p	逐次刊行物（新聞以外の逐次刊行資料に使用する）
	コード不使用

●008/22：原資料の物理的属性（逐次刊行資料）

その他

・常に「#」を記録する。

●008/23：物理的属性（逐次刊行資料）

・逐次刊行資料の物理的属性を記録する。

#	指定なし、または不明
a	マイクロフィルム
b	マイクロフィッシュ
c	マイクロオペーク
d	大活字

f 点字
o オンライン資料
s 電子資料

・大活字・点字でない印刷資料は「#」を記録する。

●008/24：継続刊行レベルの資料形式（逐次刊行資料）

指定なし

・常に「#」を記録する。

●008/25-27：構成レベルの資料形式（逐次刊行資料）

指定なし、または不明

i### 総目次・総索引あり

●008/28：政府刊行物（逐次刊行資料）

民間出版物

f 中央官庁

l 地方公共団体

z その他（2011年12月以降原則として不使用）

| コード不使用（2011年12月以降原則として不使用）

●008/29：会議録（逐次刊行資料）

| コード不使用

・常に「|」を記録する。

●008/30-32：未定義（逐次刊行資料）

未定義

・常に「####」を記録する。

●008/33：原綴タイトルの使用文字種（逐次刊行資料）

a ローマ字

b 符号付きローマ字

c キリル文字

d 仮名、日本漢字

e 中国漢字

f アラビア文字

g ギリシャ文字

h	ヘブライ文字
i	タイ文字
j	デーヴァナーガリー文字
k	ハングル
l	タミル文字
z	その他
	コード不使用

●008/34：資料との関連リンクフィールドの有無（逐次刊行資料）

0	先行・後継あり
	先行・後継なし

例 17)

図書

文字資料	008 100709s2010#####ja# g# f jpn##
点字資料	008 880512s1987#####ja# gf f jpn##
マイクロフィッシュ	008 980617s1980#####ja# gb # jpn##

地図資料	008 040805s2001#####ja# bh# ##f # # jpn##
------	---

楽譜	008 111205s2011#####ja# ugr jpn##
----	---

録音資料	008 111205s2011#####ja# ugq und##
------	---

映像資料・静止画資料

映像資料（静止画）	008 030221s2002#####ja# #g#####suund##
静止画資料	008 090528s1926#####ja# #g#####iujpn##
映像資料	008 100630s2010#####ja# #g#####q###vuund##

電子資料	008 070607s2007#####ja#####g###c#####jpn##
------	--

逐次刊行資料

文字資料	008 070517c20069999ja#ar#p##### ### jpn##
電子資料	008 100528c20109999ja#ar#p#s##### ### jpn##
マイクロフィルムの新聞	008 030129u19uuuuuuxuuu#n#a##### ### jpn##

0XX : 番号・コードブロック

このブロックには、標準番号、分類記号、コード、書誌データに関連のあるその他のデータ要素を記録する。

■フィールド一覧

- [015 全国書誌番号](#)
- [020 国際標準図書番号 \(ISBN\)](#)
- [022 国際標準逐次刊行物番号 \(ISSN\)](#)
- [024 その他の標準識別子](#)
- [028 出版者番号](#)
- [034 数値データ：コード化情報 \(地図資料\)](#)
- [035 他 MARC 番号等](#)
- [040 レコード作成機関](#)
- [041 言語コード](#)
- [044 出版・製作国コード](#)
- [045 内容年 \(地図資料\)](#)
- [084 分類記号](#)
- [090 請求記号](#)
- [098 地図各種番号 \(地図資料\)](#)

上記以外のフィールドは、不使用。

015 全国書誌番号

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドNDL運用上必須				
フィールドNDL運用上繰り返し不可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR条項
\$a	全国書誌番号	必須	不可	#2.34
\$2	全国書誌作成機関	必須	不可	

このフィールドには全国書誌番号を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：全国書誌番号

- ・全国書誌番号（8桁）を記録する。全国書誌番号は次頁に示すような番号体系となっている。

●\$2：全国書誌作成機関

- ・常に「jnb」（MARC 21 [National Bibliography Number Source Codes](#) で「日本全国書誌」を表すコード）を記録する。

例 1) 015 ## \$a 20529932 \$2 jnb

例 2) 015 ## \$a 01027800 \$2 jnb

■単行資料の全国書誌番号の構成

40XXXXXX～41XXXXXX	1868年～1912年（明治期）
-------------------	------------------

42XXXXXX～43XXXXXX	1912年～1926年（大正期）
44XXXXXX 46XXXXXX～47XXXXXX	1926年（昭和元年）～1949年3月
45XXXXXX	児童書遡及版
48XXXXXX～68XXXXXX	1948年～1968年の遡及入力 上位2桁は西暦年下2桁に一致
69XXXXXX～75XXXXXX 69000001～69027786 70000001～70028768 71000001～71020461 72000001～72013465 73000001～73023311 74000001～74013004 75000001～75030840 75040000～75051161 75060000～75088231	1969年～1976年の遡及入力 主題分野別に割当 科学技術 経済・産業 社会・労働・教育 政治・法律・行政・議会・法令資料 歴史・地理 学術一般、哲学・宗教 言語・文学 芸術 娯楽・家庭書・その他
76000001～76002164	1976年の児童書のみ
77000001～99131674	1977年～1999年のカレント入力 上位2桁は西暦年下2桁に一致
20000001～29999999	2000年以降のカレント入力 2で始まる一連番号

■逐次刊行資料の全国書誌番号の構成

00000001～00999999	2002年までの和逐次刊行資料に対して付与
10XXXXXX	2002年までの国内刊行洋逐次刊行資料に対して付与
01XXXXXX	2003年以降のすべての逐次刊行資料に対して一連番号として付与

020 国際標準図書番号 (ISBN)

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	ISBN	あれば必須	不可	#2.34
\$c	入手条件・定価	あれば必須	不可	#2.35
\$z	取り消されたまたは無効な ISBN 等	あれば必須	可	#2.34

このフィールドには、「日本図書コード」のうち ISBN13 桁（ハイフンを入れて 17 桁、以下同様）または 10 桁（同 13 桁、以下同様）、または日本以外の国で付与された ISBN13 桁または 10 桁および入手条件・定価を記録する。「日本図書コード」の分類コードおよび価格コードは含めない。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2006年3月までに作成したデータ】資料に表記されている ISBN が 13 桁のみであっても、10 桁に変換した ISBN を 020\$a へ、13 桁の ISBN を 020\$z へ記録している。

【2006年4月から12月までに作成したデータ】資料に表記されている ISBN が 13 桁のみであっても、チェックデジット等の誤りがない限り 10 桁と 13 桁の ISBN を 020\$a へ記録している。

●\$a : ISBN

- ・ ISBN を記録する。
- ・ 複数巻単行資料全体に ISBN があり、かつ包括的記述を選択した場合のセット ISBN や逐次刊行資料の複製資料全体に付与されたセット ISBN は、末尾に「□ (セット)」と付加してここに記録する。
- ・ 付属資料に ISBN が付与されている場合には末尾に「□ (付属資料)」と付加して記録す

る（例 1）。

例 1) 020 ## \$a 4-87022-465-8□(付属資料)

・末尾の区切り記号

①\$c が続く → コロン “□:”

②\$z が続くか、\$a がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

●\$c : 入手条件・定価

・本体価格、税込価格等を記録する。

・末尾の区切り記号なし。

例 2) ISBN と本体価格を記録する場合

020 ## \$a 978-4-333-02332-5□: \$c 1300 円

例 3) ISBN がなく、本体価格のみ記録する場合

020 ## \$c 648 円

例 4) 税込価格を記録する場合

020 ## \$c 300 円□(税込)

●\$z : 取り消されたまたは無効な ISBN 等

・チェックデジット等の誤りのある ISBN、無効な ISBN、取り消された ISBN 等を記録する（例 5）。

例 5) 無効な ISBN を記録する場合

020 ## \$a 978-4-87646-255-1 \$z 978-4-88646-255-1□: \$c 1800 円□(税込)

・複数巻単行資料で分析的記述を選択した場合のセット ISBN およびシリーズの ISBN は、末尾に「□（セット）」と付加してここに記録する（例 6）。

例 6) 複数巻単行資料で分析的記述を選択した場合のセット ISBN を記録する例

020 ## \$a 978-4-284-30176-3 \$z 978-4-284-30175-6□(セット)

・複数巻単行資料で包括的記述を選択した場合で、\$a に記録したセット ISBN 以外に個別の ISBN があるとき、ここに記録する。

- ・ 逐次刊行資料の複製資料に配本単位等で付与されたセット ISBN は、末尾に「□ (セット □ : □対象の巻次または年月次) 」と付加してここに記録する。
- ・ **【2020年12月までに作成したデータ】** 単行資料について、複数巻単行資料で、かつ分析的記述を選択した場合のセット ISBN は、末尾に「□ (set)」と付加してここに記録する。
- ・ **【2011年11月までに作成したデータ】** 複数巻単行資料について、分析的記述を選択した場合のセット ISBN が、020\$a に記録されている場合がある。
- ・ 末尾の区切り記号
 - ①別の\$zが続くか\$zがフィールド末尾 → 区切り記号なし。
 - ②\$cが続く → コロン “□ : ”

022 国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)

■第1インディケータ：国際レベル

- # ISSN 国際センターに送付しない
0 ISSN 国際センターに送付する

■第2インディケータ：未定義

- # 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	ISSN	あれば必須	不可	#2.34
\$l	ISSN-L	あれば必須	不可	
\$m	取り消された ISSN-L	あれば必須	可	
\$y	誤った ISSN	あれば必須	可	#2.34
\$z	取り消された ISSN	あれば必須	可	#2.34
\$2	ISSN センターコード	あれば必須	不可	

このフィールドには、ISSN センターが当該資料に付与した ISSN、ISSN-L および管轄する ISSN センターコードを記録する。

2 以上の ISSN がある場合は、フィールドを繰り返して記録する。

シリーズに固有の ISSN を記録する場合は、当フィールドではなく 490\$x に記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールド末尾に区切り記号なし。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によってはシリーズ名等に対する ISSN を 022\$a に記録している場合がある。

●\$a : ISSN

- ・正規の ISSN を記録する (例 1)。
- ・単行資料の付属資料に ISSN が付与されている場合には末尾に「□ (付属資料)」と附加して記録する。

例 1) 022 ## \$a 1234-1234

●\$l : ISSN-L

- ・ ISSN-L を記録する (例 2)。

例 2) 022 ## \$a 1234-1234 \$l 1234-4321

●\$m : 取り消された ISSN-L

- ・ 取り消された ISSN-L を記録する (例 3)。

例 3) 022 0# \$a 1560-1560 \$l 1234-1231 \$m 1560-1560 \$2 9

●\$y : 誤った ISSN

- ・ 資料に誤った ISSN が表示されている場合、ここに誤った ISSN を記録する (例 4)。

例 4) 022 ## \$a 0145-0808 \$y 0145-0809

●\$z : 取り消された ISSN

- ・ 取り消された ISSN を記録する (例 5)。

例 5) 022 0# \$a 0145-0808 \$z 0361-7106 \$2 9

●\$2 : ISSN センターコード

- ・ ISSN 国際センター送付データとなる ISSN (第 1 インディケータが「0」) で、ISSN 日本センターが管轄する ISSN については、「9」(List of the Country and ISSN Centre codes で日本センターを表すコード値) を記録する (例 6)。

例 6) 022 0# \$a 1234-1234 \$l 5678-5678 \$2 9

024 その他の標準識別子

■第1インディケータ：標準番号の種類

2 国際標準楽譜番号 (ISMN)

■第2インディケータ：番号の相違

情報なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	標準番号・コード	必須	不可	#2.34
\$z	取り消されたまたは無効な標準番号等	あれば必須	可	#2.34

このフィールドは、2021年1月以降、図書および非図書単行資料の楽譜で使用する。

「979-0」で始まる13桁（ハイフンを入れて17桁）、または「M」で始まる10桁の国際標準楽譜番号 (ISMN) を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：標準番号・コード

- ISMN を記録する。末尾に「□ ()」の形で情報を付加する場合がある。

例 1) 024 2# \$a 979-0-2600-0043-8

例 2) 024 2# \$a M230671187

●\$z：取り消されたまたは無効な標準番号等

- 誤りのある場合などにその ISMN を記録する。

028 出版者番号

■第1インディケータ：出版者番号種別

- 0 発売番号
- 1 原盤番号（2011年12月以降原則として不使用）
- 2 プレート番号（2011年12月以降原則として不使用）
- 5 その他の出版者番号、または番号なし

■第2インディケータ：注記への記録有無

- 0 記録なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	出版者番号	必須	不可	#2.34
\$b	レーベル名	NDL 運用上 あれば必須	不可	#2.34

このフィールドは、録音資料、映像資料および電子資料にのみ使用し、記述対象資料に付与された各種番号およびレーベル名を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：出版者番号

- ・録音資料、映像資料および電子資料の発売番号等を記録する。また、発売番号のほかに、シリーズに対する発売番号も記録する場合がある。
- ・複数の番号を記録する場合は、フィールドを繰り返して記録する。その際、028\$bは1番目のフィールドのみに記録する（例1）。

例1) 028 00 \$a COCQ-84394 \$b デンオン

028 00 \$a COCQ-84395

028 00 \$a COCQ-84396

- ・ 発売番号等がなく、レーベル名がある場合、028\$a にハイフン 3 つ “---” を記録する (例 2)。

例 2) 028 50 \$a --- \$b Yumehenro Music

- ・ 不正確な番号の場合には値の後ろに “□ (エラーコード)” と付加する (例 3)。

例 3) 028 00 \$a TJDVD-001 \$b スキージャーナル
028 00 \$a TJDVD-002□(エラーコード)

●\$b : レーベル名

- ・ 録音資料のレーベル名を記録する。
- ・ 電子資料は 2024 年 8 月以降、レーベル名を記録する (例 4)。
- ・ 発売番号等があり、レーベル名がない場合は、028\$b にハイフン 3 つ “---” を記録する (例 5)。

例 4) 028 50 \$a EGCS-00207 \$b Nameless

例 5) 028 00 \$a TCAD-243 \$b ---

- ・ 【2020 年 12 月までに作成したデータ】映像資料のレーベル名をも記録している。
- ・ 【2011 年 11 月までに作成したデータ】発売番号等があり、レーベル名がない場合は、出版者名を記録している (例 6)。

例 6) 028 00 \$a TCAD-239 \$b 宝塚クリエイティブアーツ

034 数値データ：コード化情報（地図資料）

■第1インディケータ：縮尺タイプ

- 0 縮尺決定不能・縮尺非適用・縮尺不定
- 1 単一の縮尺
- 3 縮尺レンジ

■第2インディケータ：デジタル地図資料のためのリング種別

- # 非適用

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	縮尺種別	必須	不可	#5.23
\$b	水平縮尺	あれば必須	可	#5.23
\$c	垂直縮尺	あれば必須	可	#5.23
\$d	最西経度	あれば必須	不可	#4.18
\$e	最東経度	あれば必須	不可	#4.18
\$f	最北緯度	あれば必須	不可	#4.18
\$g	最南緯度	あれば必須	不可	#4.18

このフィールドは、地図資料の縮尺についてのみ使用し、フィールド 255 (数値データ (地図資料)) をコード化した情報を記録する。フィールド 255 を繰り返す場合は、それぞれに対応するフィールド 034 を、フィールドを繰り返して記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：縮尺種別

・縮尺の種別として以下のいずれかの値を記録する。

- a 距離縮尺
- b 角度による縮尺
- z その他の縮尺種別

- ・フィールド 255 において特定の縮尺または経緯度の値を示すデータが存在しない場合は、フィールド 034 には\$aのみ存在する（例 1）。ただし、255\$aの値が「縮尺複数」の場合を除く（例 4）。

例 1) 034 0# \$a a

255 ## \$a 縮尺決定不能

●\$b：水平縮尺

- ・水平方向の縮尺表示の分母にあたる情報を記録する（例 2～4）。

例 2) 水平方向の縮尺が一つ存在する場合

034 1# \$a a \$b 25000

255 ## \$a 1:25,000

例 3) 水平方向の縮尺が二つ存在する場合（三つ存在する場合も同様）

034 1# \$a a \$b 25000

034 1# \$a a \$b 50000

255 ## \$a 1:25,000

255 ## \$a 1:50,000

例 4) 水平方向の縮尺が四つ以上存在する場合（\$bを繰り返して各縮尺を記録する）

034 1# \$a a \$b 10000 \$b 25000 \$b 50000 \$b 75000

255 ## \$a 縮尺複数

●\$c：垂直縮尺

- ・資料の性質は問わず垂直方向の縮尺表示の分母にあたる情報を記録する（例 5）。

例 5) 水平方向と垂直方向とで縮尺の異なる断面図の場合

034 1# \$a a \$b 10000 \$c 100

255 ## \$a 1:10,000,□垂直 1:100

●\$d：最西経度

●\$e：最東経度

●\$f：最北緯度

●\$g：最南緯度

- ・経緯度を記録する場合は、8桁に正規化した形式（「hdddmmss」形式。h：経緯度の識別値 ddd：度 mm：分 ss：秒）で記録する（例6）。\$d、\$e、\$f、\$gはセットで記録する。
- ・経緯度の識別値は、以下の省略形のいずれかを記録する。

N	北緯
S	南緯
E	東経
W	西経

例6) 034 1# \$a a \$b 25000 \$d E1351450 \$e E1352949 \$f N0344011 \$g N0343011
 255 ## \$a 1:25,000□; \$b ユニバーサル横メルカトル図法 \$c (E△135° 14′ 50″
 -E△135° 29′ 49.9″ /N△34° 40′ 11.7″ -N△34° 30′ 11.8″)

035 他 MARC 番号等

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	他 MARC 番号等	必須	不可	
\$z	無効な他 MARC 番号等	あれば必須	可	

このフィールドには、国立国会図書館以外で付与された MARC 番号とその MARC 名を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：他 MARC 番号等

- ・国立国会図書館以外で付与された MARC 番号等を記録する。
- ・MARC を付与した機関のコードは、MARC 21 [MARC Code List for Organizations](#) を使用し、MARC 番号の前に丸がっこで囲み記録する。
- ・複数の番号を記録する場合は、フィールドを繰り返して記録する。

例) トーハン MARC 番号の場合

035 ## \$a (JP-ToTOH)34033688

●\$z：無効な他 MARC 番号等

- ・無効な他 MARC 番号、キャンセルされた他 MARC 番号を記録する。
- ・MARC を付与した機関のコードは、MARC 21 [MARC Code List for Organizations](#) を使用し、無効な他 MARC 番号等の前に丸がっこで囲み記録する。

- 035\$z を記録する場合には、同一フィールドの 035\$a には有効な他 MARC 番号を記録する。

040 レコード作成機関

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド必須 フィールド繰り返し不可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	レコード作成機関	あれば必須	不可	
\$b	目録用言語	あれば必須	不可	
\$c	レコード変換機関	必須	不可	
\$e	目録規則	任意	可	

このフィールドにはレコード作成機関、目録用言語、レコード変換機関、目録規則をコード化した情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：レコード作成機関

・常に「JTNDL」(MARC 21 [MARC Code List for Organizations](#) で国立国会図書館を表すコード) を記録する。

●\$b：目録用言語

・「jpn」(MARC 21 [MARC Code List for Languages](#) で日本語を表すコード) を記録する。
・【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、「eng」を記録していることがある。

●\$c：レコード変換機関

・常に「JTNDL」(MARC 21 [MARC Code List for Organizations](#) で国立国会図書館を表

すコード) を記録する。

●\$e : 目録規則

- ・データ作成時に準拠した目録規則として、以下のコード値を記録する。準拠規則の変遷については「2. 収録範囲と内容」の「JAPAN/MARC の構成と準拠規則一覧」を参照のこと。

ncr/2018	日本目録規則 2018 年版
ncr/1987	日本目録規則 1987 年版改訂版
ncr/1977	日本目録規則新版予備版
ncr	日本目録規則 1942 年版、1952 年版、1965 年版
ndlserial	国立国会図書館逐次刊行物目録規則

例 1) 040 ## \$a JTNDL \$b jpn \$c JTNDL \$e ncr/2018

例 2) 2011 年 11 月までに作成したデータ

040 ## \$a JTNDL \$b eng \$c JTNDL \$e ncr/1977

041 言語コード

■第1インディケータ：翻訳指示

- 0 翻訳資料以外
- 1 翻訳資料（資料全体または大半が翻訳されたもの）

■第2インディケータ：コードの種類

- # MARC 言語コード (MARC 21 [MARC Code List for Languages](#)) を使用

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	本文の言語	必須	可	#5.3
\$h	原文の言語	あれば必須	可	#5.3 #42.4

このフィールドには、2以上の本文の言語または原文の言語がある場合に、本文の言語および原文の言語のコードを記録する。言語コードは MARC 21 [MARC Code List for Languages](#) のうち3桁のコードを使用する。

翻訳資料を除き、本文の言語が一つの場合には当フィールドを使用せず、008/35-37にのみコードを記録する。

直訳、重訳、抄訳にかかわらず翻訳資料とみなすが、以下のものは翻訳資料とはみなさない。

- ・ 古文の現代語訳
- ・ 漢文の読み下し文
- ・ 語学用学習テキスト
- ・ 翻案・対訳書
- ・ 編纂されたもの
- ・ 墨字の言語を同一言語の点字に点訳した資料
- ・ 楽譜
- ・ 雑誌の一論文の翻訳
- ・ 他言語からの翻訳であるが、原稿からの翻訳で、原語の出版物が存在しないもの

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、041\$hにデータを記録していないことがある。

●\$a : 本文の言語

- ・本文の言語が 2 以上の場合に、対応するすべての言語のコードを同一フィールド内にサブフィールドを繰り返して記録する。
- ・記録の順序は原則として主要な言語の順とし、主要な言語が無い場合はコードのアルファベット順とする。1 番目の言語コードと 008/35-37 のコードは一致する（例 1）。
- ・翻訳資料の場合、翻訳の言語を記録し、原文の言語を 041\$h に記録する。

例 1) 日本語・ロシア語併記の場合

```
008/35-37  jpn  
041 0# $a jpn $a rus
```

●\$h : 原文の言語

- ・翻訳資料の場合、原文の言語のコードを記録する（例 2、3）。

例 2) 原文の言語はフランス語で日本語へ翻訳したものの場合

```
008/35-37  jpn  
041 1# $a jpn $h fre
```

例 3) ロシア語からの翻訳資料であり、かつ原文も併記されている場合

```
008/35-37  jpn  
041 1# $a jpn $a rus $h rus
```

044 出版・製作国コード

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドNDL運用上あれば必須			
フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード	要求度	繰り返し	NCR条項
\$a	MARC 国名コード	必須	可

このフィールドには、出版国・製作国が2以上ある場合、出版・製作された国を示すコードを記録する。国が一つの場合には当フィールドを使用せず、008/15-17にのみコードを記録する。

コードはMARC 21 [MARC Code List for Countries](#) から2桁のものを選択し、記録する。ただし、以下については3桁のコードを使用する。また、以下の国に属する州名等のコード(3桁)は使用しない。

xxc カナダ

xxk グレートブリテンおよび北部アイルランド連合王国(英国)

xxu アメリカ合衆国(米国)

コードは、書誌レコード作成時における国名コードを記録している。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、サブフィールド末尾に区切り記号なし。

●\$a : MARC 国名コード

・国が2以上の場合に、対応するすべての国のコードを記録する。1番目の国名コードと008/15-17のコードは一致する。

例1) 008/15-17 ja#

044 ## \$a ja \$a ko

045 内容年（地図資料）

■第1インディケータ：内容年種別

- 0 単一の日付
- 1 複数の日付
- 2 期間

■第2インディケータ：未定義

- # 未定義

フィールド任意			
フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード	要求度	繰り返し	NCR 条項
\$b	西暦年（定型）	あれば必須 可	

このフィールドは、地図資料についてのみ使用する。

複製資料等において当該資料の原資料が刊行または製作された年、または、ある時代を復元した地図資料において復元を意図した年を4桁に正規化して記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、サブフィールド末尾に区切り記号なし。

●\$b：西暦年（定型）

- ・紀元前/後を示すコード（1桁）の後に西暦年4桁を記録する。

- c 紀元前
- d 紀元後

例 1) 原資料が 1883 年刊行、複製資料が 1991 年刊行の場合

008/07-10 1991

045 0# \$b d1883

264 #1 \$a 東京□: \$b 日本地図センター, \$c 1991

500 ## \$a 参謀本部明治 16 年 7 月測量(国土地理院所蔵)の複製

例 2) 1989 年刊行の複製資料に 1805 年製作と 1943 年刊行の原資料が含まれる場合

008/07-10 1989

045 1# \$b d1805 \$b d1943

264 #1 \$a 東京□: \$b 国書刊行会, \$c 1989.8

505 00 \$t [延宝年中長岡城下図] \$g (延宝年間製作,△文化二年模写の複製). \$t 長岡
市地図 \$g (1:10000□目黒書店昭和 18 年刊の複製)

例 3) 寛文 13 年から嘉永元年にかけて刊行または製作された資料の複製の場合

045 2# \$b d1673 \$b d1848

084 分類記号

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	分類記号	必須	可	
\$2	分類法	必須	不可	

このフィールドには、「国立国会図書館分類表」（以下 NDLC）による分類記号および「日本十進分類法」（以下 NDC）による分類記号を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールド末尾に区切り記号なし。

●\$a：分類記号

- ・ NDLC 分類記号および NDC 分類記号を記録する。
- ・ 同一分類法の分類記号を重出する場合には、同一フィールド内でサブフィールドを繰り返して記録する。
- ・ 異なる分類法の分類記号を記録する場合には、フィールドを繰り返して記録する。

例 1) NDLC と NDC 新訂 10 版による分類記号を記録する場合

084 ## \$a AZ-391 \$2 kktb

084 ## \$a 318.5 \$2 njb/10

例 2) 同一分類法の分類記号を複数記録する場合

084 ## \$a E2 \$a EG281 \$2 kktb

●\$2：分類法

- ・分類法を示すコードを記録する。コードは [MARC 21 Classification Scheme Source Codes](#) を以下のとおり拡張して適用する。

kktb	NDLC
njb/10	NDC 新訂 10 版

- ・【2017年3月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によって、以下のコードを記録している。適用する分類法の変遷については「2. 収録範囲と内容」の「JAPAN/MARCの構成と準拠規則一覧」を参照のこと。

njb/09	NDC 新訂 9 版
njb/08	NDC 新訂 8 版
njb/06	NDC 新訂 6 版
njb/06T	NDC6 版大正期・昭和前期版
njb/06M	NDC6 版明治期版
njb	NDC (版次不明)

090 請求記号

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド必須			
フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード	要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	請求記号	必須	不可 #42.7

このフィールドには、国立国会図書館の請求記号を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：請求記号

- ・国立国会図書館の請求記号を記録する。国立国会図書館の請求記号には「国立国会図書館分類表」によるもの（例 1、2）のほかに「日本十進分類法 新訂 6 版」（例 3）、「国立国会図書館和漢書図書記号法」（例 4）によるもの等もある。
- ・請求記号には、アルファベット、数字、片仮名、漢字、およびピリオド、ハイフン、丸括弧などが使用されている。

例 1) 090 ## \$a HA1-J13

例 2) 090 ## \$a Z41-B88

例 3) 090 ## \$a 025.22-Ta165t

例 4) 090 ## \$a 特 62-531

098 地図各種番号（地図資料）

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し不可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	UTM 区画番号	あれば必須	可	
\$b	全国地方公共団体コード	あれば必須	可	
\$d	各国国内海図番号	あれば必須	可	
\$e	国際海図番号	あれば必須	可	

このフィールドは、地図資料にのみ使用し、地図資料の各種番号を記録する。不正確な番号の場合には値の後ろに“□（エラーコード）”と付加する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：UTM 区画番号

- ・主に地形図・地勢図に表示されている、UTM 座標系に則った UTM 区画番号を記録する（例 1）。

例 1) 098 ## \$a NI-53-27-12-4 \$a NI-53-28-9-3

●\$b：全国地方公共団体コード

- ・総務省が設定している全国地方公共団体コードのうち、都道府県コード 2 桁、市区町村コード 3 桁の計 5 桁のコードを記録する（例 2）。

例 2) 098 ## \$b 11203 \$b11223

245 00 \$6 880-01 \$a 川口市 2(西部)・蕨市. \$n 201103

●\$d : 各国国内海図番号

- ・各国の国内海図番号を記録する (例 3)。

例 3) 098 ## d W123

●\$e : 国際海図番号

- ・国際水路機関 (IHO) の決議に基づく海図の国際的な共通番号である、国際海図番号を記録する (例 4)。

例 4) 098 ## \$d W123 \$e INT5314

20X-24X : タイトルブロック

このブロックには、『日本目録規則 2018 年版』(NCR) で規定されるエレメントのうち、タイトル、責任表示 (NCR の#2.1、#2.2) を記録する。また、非統制形アクセス・ポイント (タイトル) (同#21.2) を記録することがある。

■フィールド一覧

[210 略タイトル](#)

[222 キー・タイトル](#)

[245 タイトル、責任表示](#)

[246 並列タイトル、その他のタイトル](#)

上記以外のフィールドは、不使用。

210 略タイトル

■第1インディケータ：222からの記録有無

1 記録あり

■第2インディケータ：種類

キー・タイトル略語形

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	略タイトル	必須	不可	#2.1.8
\$b	略タイトルの識別情報	あれば必須	不可	

このフィールドは逐次刊行資料にのみ使用し、フィールド 222 (キー・タイトル) のキー・タイトルが略語形を持つ場合に、略語形とその識別情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：略タイトル

・本タイトルがラテン文字、キリル文字またはギリシャ文字を使用する言語の場合に、キー・タイトルの略語形を記録する。略語形は ISO 4 に従う。

●\$b：略タイトルの識別情報

・本タイトルがラテン文字、キリル文字またはギリシャ文字を使用する言語で、キー・タイトル識別情報がある場合に、識別情報を丸がっこ“()”で囲み記録する。

例 1) 210 1# \$a Intern.△med. \$b (Tokyo)

222 #0 \$a Internal△medicine \$b (Tokyo)

222 キー・タイトル

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：排列無視文字数

0 排列無視文字なし

1～9 排列無視文字数

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	キー・タイトル	必須	不可	#2.1.7
\$b	キー・タイトル識別情報	あれば必須	不可	

このフィールドは逐次刊行資料にのみ使用し、ISSN 付与にともなう、キー・タイトルおよびキー・タイトル識別情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：キー・タイトル

- ・キー・タイトルはフィールド 245 (タイトル、責任表示) に対応する本タイトル読みをヘボン式ローマ字で記録する。本タイトルがラテン文字を使用する言語の場合はそのまま記録する。キリル文字またはギリシャ文字を使用する言語の場合はラテン文字に翻字して記録する。

●\$b：キー・タイトル識別情報

- ・同じキー・タイトルをもつ資料がすでに存在する場合、区別するための情報 (識別情報) を丸がっこ“()”で囲み記録する。

例 1) 222 #0 \$a Internal△medicine \$b (Tokyo)

例 2) 222 #4 \$a The△annual△seismological△bulletin△of△Japan

245 タイトル、責任表示

■第1インディケータ：1XXへの記録有無

0 記録なし

■第2インディケータ：排列無視文字数

0 排列無視文字なし

フィールド必須 フィールド繰り返し不可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	本タイトル	必須	不可	#2.1.1
\$b	並列タイトル、タイトル関連情報等	あれば必須	不可	#2.1.2 #2.1.3 #2.1.4
\$c	本タイトルに関係する責任表示	あれば必須	不可	#2.2
\$h	資料種別（2021年1月以降、新規作成書誌データでは使用しない）			
\$n	巻次または部編番号	あれば必須	可	#2.1.1.2.8
\$p	部編等のタイトル	あれば必須	可	#2.1.1.2.8
\$r	2番目以降の個別のタイトルの責任表示	任意	可	#2.2.1.2.2
\$t	2番目以降の個別のタイトル等	任意	可	#2.1.1.2.10
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには本タイトルと責任表示等を記録する。また、単行資料においては巻次、回次、年次等も記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している。（末尾が「!」「?」の場合を除く。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録している。）

単行資料について、総合タイトルがなく、資料の内容をなす個別のタイトル等が複数表示

されている場合には、以下のように記録する。詳細はそれぞれのサブフィールドの項を参照のこと。

- ①責任表示がすべての個別のタイトルに共通しており、かつ異なる並列タイトル、タイトル関連情報も巻次もない場合には、1番目の個別のタイトルを 245\$a、2番目以降の個別のタイトルを 245\$b に記録する。
- ②責任表示がすべての個別のタイトルに共通しており、かつ異なる並列タイトルやタイトル関連情報、巻次がある場合には、1番目の個別のタイトルを 245\$a、並列タイトルとタイトル関連情報を 245\$b、巻次を 245\$n、責任表示を 245\$c に記録する。2番目以降の個別のタイトルと並列タイトル、タイトル関連情報、巻次は 245\$t、責任表示は 245\$r に記録する。
- ③責任表示が異なる場合、1番目の個別のタイトルを 245\$a、並列タイトルとタイトル関連情報を 245\$b、巻次を 245\$n、責任表示を 245\$c に記録する。2番目以降の個別のタイトルと並列タイトル、タイトル関連情報、巻次は 245\$t、責任表示は 245\$r に記録する（例 1）。

例 1) 245 00 \$6 880-01 \$a 枕草子□/\$c 清少納言□[原作]□;□大沼津代志□文□;□河伯りょう□イラスト.\$t 更級日記□/\$r 菅原孝標女□[原作]□;□大沼津代志□文□;□河伯りょう□イラスト

●\$a : 本タイトル

・本タイトルまたは1番目の個別のタイトルを記録する。

・末尾の区切り記号

①\$a がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”（ただし、「!」「?」の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）

②\$b（2番目以降の個別のタイトル）が続く → セミコロン“□;”

③\$b（並列タイトル）が続く → 等号“□=”

④\$b（タイトル関連情報）が続く → コロン“□:”

⑤\$cが続く → スラッシュ“□/”

⑥\$nまたは\$pが続く → ピリオド“.”（ただし、「!」「?」の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）

⑦【2020年12月までに作成したデータ】\$hが続く → 区切り記号なし。

⑧\$t（総合タイトルがなく、責任表示が異なり、かつ1番目の個別のタイトルの責任表示が作者不詳等のため記録しない場合）が続く → ピリオド“.”（ただし、「!」「?」の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）（単行

資料の場合のみ)

●\$b : 並列タイトル、タイトル関連情報等

- ・ 2 番目以降の個別のタイトルや、並列タイトル、タイトル関連情報等を記録する。
- ・ 単行資料について、総合タイトルがなく、責任表示がすべての個別のタイトルに共通しており、かつ異なるタイトル関連情報も巻次もない場合には、1 番目の個別のタイトルを 245\$a、2 番目以降の個別のタイトルを 245\$b に記録する (例 2)。3 以上の個別のタイトルがある場合は、同一サブフィールド内に 2 番目以降の個別のタイトルをスペース、セミコロン、スペース “□ ; □” で連結して記録する。

例 2) 245 00 \$6 880-01 \$a にごりえ□; \$b たけくらべ□/ \$c 樋口一葉□著

- ・ 並列タイトルを本タイトルに続けて記録する (例 3)。
- ・ 本タイトルの並列タイトルと、本タイトルのタイトル関連情報をあわせて記録する場合、\$b に並列タイトル、スペース、コロン、スペース “□ : □”、タイトル関連情報の順で記録する (例 4)。

例 3) 245 00 \$6 880-01 \$a 経営管理□= \$b Management

例 4) 245 00 \$6 880-01 \$a 北の起業学□= \$b Management△technology□:□成長 4 社の軌跡□/ \$c 浜田康行,□佐藤孝一□著

- ・ 並列タイトルが複数ある場合は、並列タイトル同士をスペース、等号、スペース “□=□” で連結して記録する (例 5)。

例 5) 245 00 \$6 880-01 \$a 国際文化研究□= \$b Intercultural△studies□=□Etudes△interculturelles□=□Internationale△Kulturforschungen□/ \$c 龍谷大学国際文化学会□編

- ・ 並列タイトルは 246\$a にも記録する。フィールド 246 (並列タイトル、その他のタイトル) を参照のこと。
- ・ タイトル関連情報を本タイトルに続けて記録する (例 6)。
- ・ タイトル関連情報が複数ある場合は、スペース、コロン、スペース “□ : □” で連結して記録する (例 7)。
- ・ 【2020 年 12 月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、スペース “□”

で連結して記録しているものもある。

例 6) 245 00 \$6 880-01 \$a インド料理ダイエット・レシピ集□: \$b 簡単!スパイス cooking □/ \$c ロイチョウドゥーリ・ジョイ,□ロイチョウドゥーリ・邦子□著

例 7) 245 00 \$6 880-01 \$a 江戸きらら□: \$b 隠密廻り同心・磯貝真六□:□時代小説□/ \$c 佐藤高市□著

・並列タイトル関連情報、本タイトルに関係する並列責任表示は逐次刊行資料についてのみ記録する。逐次刊行資料で、並列タイトル関連情報を記録する場合、並列タイトルが存在するときは、245\$b にタイトル関連情報、スペース、等号、スペース “□=□”、並列タイトル、スペース、コロン、スペース “□: □” 並列タイトル関連情報の順で記録する (例 8)。並列タイトルが存在しないときは、245\$b にタイトル関連情報、スペース、等号、スペース “□=□” 並列タイトル関連情報の順で記録する (例 9)。本タイトルに関係する責任表示と本タイトルに関係する並列責任表示の双方を記録する場合は、245\$c に本タイトルに関係する責任表示、スペース、等号、スペース “□=□”、並列タイトル、スペース、スラッシュ、スペース “□/□” 本タイトルに関係する並列責任表示の順で記録する (例 10)。

例 8) 逐次刊行資料で、並列タイトル、タイトル関連情報、並列タイトル関連情報を記録する場合

245 00 \$6 880-01 \$a India△news□: \$b monthly△bulletin△of△the△Embassy △of△India,△Tokyo□=□インド新聞□:□月刊ニュースレポート

例 9) 逐次刊行資料で、タイトル関連情報と並列タイトル関連情報を記録する場合

245 00 \$6 880-01 \$a Caritas□: \$b bulletin△of△Caritas△Junior△College□= □研究紀要

例 10) 逐次刊行資料で、本タイトルに関係する並列責任表示を記録する場合

245 00 \$6 880-01 \$a 業務年報□/ \$c [青森県畑作園芸試験場]□=□Annual△ report △ for △ the △ year □ / □ Aomori △ Field △ Crops △ and △ Horticultural△Research△Center

例 11) 逐次刊行資料で、並列タイトル関連情報と本タイトルに関係する並列責任表示を記録する場合

245 00 \$6 880-01 \$a 上武大学教育研究センター年報□: \$b 大学の質の向上を目

指して□/ \$c 上武大学教育研究センター□編□=□Annual△report□:□
aim△at△improvement△of△quality△of△the△university□/□Jobu△
University△ Education△and△Research△Center

・末尾の区切り記号

①\$b がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”（ただし、「!」「?」の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）

②\$c が続く → スラッシュ“□/”

③\$n または\$p または\$t が続く → ピリオド“.”（ただし、「!」「?」の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）

●\$c：本タイトルに関する責任表示

- ・本タイトルに関する責任表示を記録する。
- ・名称と役割を示す語句をあわせて記録する場合は、スペース“□”で連結する。同一の役割のもとに名称が複数ある場合は、コンマ、スペース“，□”で連結する。役割が異なる名称が複数ある場合は、スペース、セミコロン、スペース“□;□”で連結する（例12）。

例12) 245 00 \$6 880-01 \$a ばらいろの童話集□/ \$c アンドリュー・ラング□編著□;□
川端康成,□野上彰□編訳

・末尾の区切り記号

①\$c がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”（ただし、「!」「?」の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）

②\$t が続く → ピリオド“.”（ただし、「!」「?」の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）（単行資料の場合のみ）

●\$h：資料種別

- ・2021年1月以降の新規作成書誌データでは使用しない。
- ・【2020年12月までに作成したデータ】以下のように記録している。
- ・資料種別を角がっこ“[]”で囲み記録する。ただし印刷された文字資料には使用しない。
- ・資料種別は本タイトルまたは1番目の個別のタイトルに続けて記録する（例13）。逐次刊行資料で部編番号または部編名がある場合は、その後に続けて記録する（例14）。記録する際は次の用語を使用する。

- ・ [写本]
- ・ [楽譜]
- ・ [静止画資料]
- ・ [マイクロ資料]
- ・ [稿本]
- ・ [録音資料]
- ・ [電子資料]
- ・ [地図資料]
- ・ [映像資料]
- ・ [点字資料]

例 13) 録音資料の場合

245 00 \$6 880-01 \$a 犬神家の一族 \$h [録音資料]□: \$b 市川崑監督作品□:□
original△soundtrack□/ \$c 谷川賢作,□大野雄二□音楽.

例 14) 逐次刊行資料で、部編番号、部編名があるマイクロ資料の場合

245 00 \$6 880-01 \$a 京都学芸大学紀要. \$n A, \$p 文科 \$h [マイクロ資料].

- ・ 単行資料について、総合タイトルがなく、責任表示がすべての個別のタイトルに共通しており、かつ異なるタイトル関連情報も巻次もなく、資料種別を記録する必要がある場合、1 番目の個別のタイトルを 245\$a、資料種別を 245\$h、2 番目以降の個別のタイトルを 245\$b に記録する (例 15)。

例 15) 245 00 \$6 880-01 \$a 海に見える街 \$h [楽譜]□; \$b 人生のメリーゴーランド□:
□リコーダー4重奏□/ \$c 久石譲□作曲□; □岩村雄太□編曲.

・ 末尾の区切り記号

- ① \$h がフィールド末尾 → ピリオド “.”
- ② \$b (2 番目以降の個別タイトル) が続く → セミコロン “□;”
- ③ \$b (並列タイトル) が続く → 等号 “□=”
- ④ \$b (タイトル関連情報) が続く → コロン “□:”
- ⑤ \$c が続く → スラッシュ “□/”
- ⑥ \$n が続く → ピリオド “.” (単行資料の場合のみ)

● \$n : 巻次または部編番号

- ・ 単行資料の巻次および部編名を記録する。245\$p は、単行資料では使用しない。
- ・ 逐次刊行資料では、本タイトルに続けて 245\$n に部編番号、245\$p に部編名を記録する。
- ・ 巻次と部編名を共に記録する場合は、巻次と部編名が同格なら「巻次□ (部編名)」の形で部編名をスペース “□” で連結し、丸がっこ “()” で囲み記録する (例 16)。巻次と部編名が階層構造にある場合は、スペース “□” で連結して記録する (例 17)。

例 16) 単行資料で、巻次と部編名が同格の場合

245 00 \$6 880-01 \$a 楽しく実験・工作小学生の自由研究□: \$b 身近なものでお
もしろ実験をやってみよう! \$n 低学年編□(1・2・3年)□/ \$c 成美堂出版
編集部□編

例 17) 単行資料で、巻次と部編名が階層構造にある場合

245 00 \$6 880-01 \$a 世界古典文学全集. \$n 第 30 巻□A

・末尾の区切り記号

①\$**n** がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.” (ただし、「!」「?’の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。)

②\$c が続く → スラッシュ“□/”

③\$t が続く → ピリオド“.” (ただし、「!」「?’の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。)(単行資料の場合のみ)

④\$p が続く → コンマ“,” (逐次刊行資料の場合のみ)

⑤別の\$n が続く → ピリオド“.” (ただし、「!」「?’の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。)(逐次刊行資料の場合のみ)

⑥\$b (並列タイトル) が続く → 等号“□=” (逐次刊行資料の場合のみ)

⑦\$b (タイトル関連情報) が続く → コロン“□:” (逐次刊行資料の場合のみ)

⑧\$h が続く → 区切り記号なし (逐次刊行資料の場合のみ)

●\$**p** : 部編等のタイトル (逐次刊行資料のみ)

・逐次刊行資料の部編名を記録する (例 18)。単行資料の巻次および部編名は 245\$n に記録し、245\$p は使用しない。

例 18) 245 00 \$6 880-01 \$a 千葉大学教育学部研究紀要. \$n 2, \$p 人文・社会科学編□/
\$c 千葉大学教育学部□編

・末尾の区切り記号

①\$p がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.” (ただし、「!」「?’の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。)

②\$b (並列タイトル) が続く → 等号“□=”

③\$b (タイトル関連情報) が続く → コロン“□:”

④\$c が続く → スラッシュ“□/”

⑤\$n または別の\$p が続く → ピリオド“.” (ただし、「!」「?’の直後となる場合

は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。)

⑥\$h が続く → 区切り記号なし。

●\$r : 2 番目以降の個別のタイトルの責任表示 (単行資料のみ)

- ・単行資料について、総合タイトルがなく、資料の内容をなす個別のタイトル等が複数表示されている場合に、個別のタイトルの責任表示を記録する。
- ・責任表示がすべての個別のタイトルに共通しており、かつ異なるタイトル関連情報や巻次がある場合、2 番目以降の個別のタイトルの責任表示を記録する。
- ・責任表示が個別のタイトルごとに異なる場合、2 番目以降の個別のタイトルの責任表示を記録する。

・末尾の区切り記号

①\$r がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】 → ピリオド “.” (ただし、「!」「?’の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。)

②\$t (3 番目以降の本タイトル、タイトル関連情報および巻次) が続く → ピリオド “.” (ただし、「!」「?’の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。)

●\$t : 2 番目以降の個別のタイトル等 (単行資料のみ)

- ・単行資料について、総合タイトルがなく、資料の内容をなす個別のタイトル等が複数表示されている場合に、個別のタイトル、並列タイトル、タイトル関連情報および巻次を記録する。
- ・責任表示がすべての個別のタイトルに共通しており、かつ異なる並列タイトル、タイトル関連情報や巻次がある場合、2 番目以降の個別のタイトルと並列タイトル、タイトル関連情報、巻次を本タイトル、スペース、等号、スペース “□=□” 並列タイトル、スペース、コロン、スペース “□:□” タイトル関連情報、ピリオド、スペース “. □” 巻次の順で区切り記号で連結して記録する。
- ・責任表示が個別のタイトルごとに異なる場合、2 番目以降の個別のタイトルと並列タイトル、タイトル関連情報、巻次を区切り記号で連結して記録する。

・末尾の区切り記号

①\$t がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】 → ピリオド “.” (ただし、「!」「?’の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。)

②\$r が続く → スラッシュ “□/”

●\$6：読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし。

246 並列タイトル、その他のタイトル

■第1インディケータ：注記／740への記録有無

- 0 注記への記録あり・740への記録なし
- 2 注記への記録なし・740への記録なし
- 3 注記への記録なし・740への記録あり（2011年12月から作成するデータでは原則として使用しない）

■第2インディケータ：タイトルの種類

- # \$iにタイトルの種類を記録
- 0 部分タイトル（逐次刊行資料でのみ使用）
- 1 並列タイトル
- 3 参照タイトル、別タイトル、その他のタイトル
- 4 表紙のタイトル（逐次刊行資料でのみ使用）
- 7 ランニングタイトル（逐次刊行資料でのみ使用）
- 8 背表紙のタイトル（逐次刊行資料でのみ使用）

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	並列タイトル、その他のタイトル	必須	不可	#2.1.2 #2.1.6 #2.1.9
\$b	並列タイトル関連情報、その他のタイトル関連情報	あれば必須	不可	#2.1.4
\$g	その他の情報（その他のタイトル）	あれば必須	NDL 運用 上不可	
\$i	説明句	あれば必須	不可	
\$n	並列タイトル、その他のタイトル部編 番号	あれば必須	可	
\$p	並列タイトル、その他のタイトル部編 名	あれば必須	可	
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには、並列タイトル等を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：並列タイトル、その他のタイトル

- ・単行資料では並列タイトル、その他のタイトルを記録する（例 1～3）。ただし、その他のタイトルのうち、資料に関する関連として記録するタイトルは、フィールド 740（非統制形アクセス・ポイント（タイトル））に記録し、フィールド 246 には記録しない。
- ・【2020 年 12 月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、部分タイトル、複数巻単行資料の各巻のタイトルを記録している場合や、並列タイトルをフィールド 500（一般注記）に記録している場合がある。

例 1) 245 00 \$6 880-01 \$a 知の現場□=\$b The△fields△of△knowledge□/\$c 知的生産
の技術研究会□編□;□久恒啓一□監修

246 21 \$a The△fields△of△knowledge

例 2) 245 00 \$6 880-01 \$a 青い思想

246 23 \$6 880-02 \$a 青い思想□(こころ)

例 3) 245 00 \$6 880-01 \$a 青少年のインターネット利用環境実態調査報告書. \$n 平成
30 年度

246 23 \$6 880-02 \$a 青少年のインターネット利用環境実態調査

- ・逐次刊行資料では並列タイトル、後続タイトル、キー・タイトル展開形、その他のタイトルを記録する。ただし、その他のタイトルのうち、資料に関する関連として記録するタイトルは、フィールド 740（非統制形アクセス・ポイント（タイトル））に記録し、フィールド 246 には記録しない。

- ・本タイトルに関係する並列責任表示がある場合、同一サブフィールド内にスペース、スラッシュ、スペース “□/□” で連結して記録する（例 4）。その他のタイトルに関係する責任表示も同様とする。

例 4) 246 21 \$a Bulletin□/□Research△Institute△of△Christian△Culture

- ・末尾の区切り記号

- ① \$n または \$p が続く → ピリオド “.”
- ② \$b (タイトル関連情報) が続く → コロン “□:”
- ③ \$g が続くか、\$a がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

- \$b : 並列タイトル関連情報、その他のタイトル関連情報 (逐次刊行資料のみ)
- ・ 逐次刊行資料の 246\$a に記録したタイトルのタイトル関連情報を記録する (例 5、6)。
- ・ 末尾の区切り記号なし。

例 5) 246 21 \$a Family△Court△probation□: \$b bulletin△of△the△Research△and△
Training△Institute△for△Family△Court△Probation△Officers

例 6) 246 21 \$a Annual△report□: \$b Canadian△record△of△performance△for△
sheep □ / □ Agriculture △ Canada, △ Food △ Production △ and △
Marketing△Branch,△Livestock△Division

- \$g : その他の情報 (その他のタイトル) (逐次刊行資料のみ)
- ・ 逐次刊行資料の後続タイトル、その他のタイトルに関する情報を付加する場合は、丸がっこ “()” で囲み記録する。
- ・ 末尾の区切り記号なし。

例 7) 246 23 \$6 880-02 \$a 英知大学人文科学研究室紀要 \$g (1 巻-10 巻)

- \$i : 説明句
- ・ 逐次刊行資料の後続タイトル、キー・タイトル展開形を 246\$a に記録する場合に、「後続タイトル:」、「キー・タイトル展開形:」とそれぞれ記録する (例 8~9)。

例 8) 245 00 \$6 880-01 \$a 萩博物館研究報告
246 0# \$6 880-02 \$i 後続タイトル: \$a 萩博物館調査研究報告 \$g (4 号-)

例 9) 222 #0 \$a CHAT△technical△report
246 0# \$6 880-02 \$i キー・タイトル展開形: \$a Center△for△Human△Activity
△Theory△technical△reports

- ・ 地図資料のその他のタイトルを記録する場合に、タイトルの種類に「:」を加えて記録する。(例 10)

例 10) 245 00 \$6 880- 01 \$a 愛媛の道路

246 0# \$6 880- 02 \$i 図のタイトル: \$a 愛媛県道路概要図

・ 末尾の区切り記号なし。

●\$n：並列タイトル、その他のタイトル部編番号（逐次刊行資料のみ）

・ 逐次刊行資料の 246\$a に記録したタイトルの部編番号を記録する。（例 11）

例 11) 246 21 \$a Memoirs△of△the△College△of△Education. \$n 1, \$p Educational△
science

・ 末尾の区切り記号

①別の\$nが続く → ピリオド “.”

②\$pが続く → コンマ “,”

③\$b（タイトル関連情報）が続く → コロン “□ :”

④\$nがフィールド末尾 → 区切り記号なし。

●\$p：並列タイトル、その他のタイトル部編名（逐次刊行資料のみ）

・ 逐次刊行資料の 246\$a に記録したタイトルの部編名を記録する。

・ 末尾の区切り記号

①\$nまたは別の\$pが続く → ピリオド “.”

②\$b（タイトル関連情報）が続く → コロン “□ :”

③\$pがフィールド末尾 → 区切り記号なし。

●\$6：読みの対応関係

・ 「**5. 読みの表現方法**」を参照のこと。

・ 末尾の区切り記号なし。

25X-28X : 版表示、出版表示等ブロック

このブロックには、『日本目録規則 2018 年版』(NCR) で規定されるエレメントのうち、版表示 (NCR の#2.3)、地図資料の数値データ (同#4.18.1、#5.23、#5.24)、出版表示等 (同#2.5~#2.7、#2.9) を記録する。

■フィールド一覧

[250 版表示](#)

[255 数値データ \(地図資料\)](#)

[256 電子的内容 \(電子資料\) \(不使用\)](#)

[260 出版・頒布等に関する事項 \(不使用\)](#)

[264 出版表示等](#)

上記以外のフィールドは、不使用。また、フィールド 256 および 260 は、2021 年 1 月以降の新規作成データでは不使用。

250 版表示

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	版次	必須	不可	#2.3.1 #2.3.5
\$b	版に関する責任表示等	あれば必須	不可	#2.3.3 #2.3.5 #2.3.7

このフィールドには、版表示を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録している。）。

●\$a：版次

・版次を記録する（例1）。

例1) 250 ## \$a 新装版

・複数の版次はフィールドを繰り返して記録する（例2）。

例2) 250 ## \$a 第3版

250 ## \$a 2015年版

- ・付加的版次がある場合は同一サブフィールド内にコンマ、スペース“，□”で連結して記録する（例3）。
- ・【2020年12月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、同一サブフィールド内にスペース“□”で連結して記録している場合もある。

例3) 250 ## \$a 第2版,□補訂2版

- ・末尾の区切り記号
 - ①\$b（版に関する責任表示等）が続く → スペース、スラッシュ“□/”
 - ②\$aがフィールド末尾 → 区切り記号なし。
- 【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”（ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）

●\$b：版に関する責任表示等

- ・版に関する責任表示を記録する。
- ・名称と役割を示す語句をあわせて記録する場合は、スペース“□”で連結する（例4）。

例4) 250 ## \$a 第3版□/\$b 清水誠□補訂

- ・版に関する責任表示がある場合の付加的版次は、\$aでなく、版に関する責任表示にコンマ、スペース“，□”で連結して\$bに記録する（例5）。

例5) 250 ## \$a 第3版□/\$b 清水誠□補訂,□普及版

- ・版に関する責任表示がない場合は、付加的版に関する責任表示のみを記録する（例6）。

例6) 250 ## \$a 第3版,□補訂2版□/\$b 船山泰範□補訂

- ・同一の役割のもとに名称が複数ある場合は、コンマ、スペース“，□”で連結する（例7）。

例7) 250 ## \$a 増補版□/\$b 酒井啓亘,□田中清久□著

- ・役割が異なる名称が複数ある場合は、スペース、セミコロン、スペース“□；□”で連結する（例8）。

例 8) 250 ## \$a 普及版□/\$b セルゲイ・クズネツォーフ□監訳□;□長勢了治□訳

- ・【2020年12月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては一つの250\$a内に版次と責任表示を記録している場合もある（例9）。

例 9) 250 ## \$a 修訂第2版□鎌田正,□米山寅太郎□修訂

- ・末尾の区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”（ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）

255 数値データ（地図資料）

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	縮尺	必須	不可	#5.23
\$b	投影法	あれば必須	不可	#5.24
\$c	経緯度	あれば必須	不可	#4.18.1

このフィールドは、地図資料についてのみ使用し、地図資料の数値データ（縮尺、投影法、経緯度）を記録する。

フィールド 255 を繰り返す場合は、それぞれに対応するフィールド 034（数値データ：コード化情報（地図資料））を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールドの末尾にはピリオド“.”を付している。

●\$a：縮尺

・縮尺を記録する。3桁ごとに桁区切りのコンマを入れて記録する。縮率を記録する際のコンマ“:”の前後にはスペースは置かない（例1）。

例1) 255 ## \$a 1:5,000

【2020年12月までに作成したデータ】3桁ごとの桁区切りのコンマは記録していない（例9）。

- ・二つまたは三つの縮尺を記録する場合は、フィールド 255 を繰り返して記録する (例 2)。

例 2) 255 ## \$a 1:18,000

255 ## \$a 1:30,000

- ・四つ以上の縮尺がある場合は「縮尺複数」と記録する (例 3)。

例 3) 255 ## \$a 縮尺複数

- ・資料に縮尺表示がなく、縮尺の決定または概算ができない場合は、「縮尺決定不能」と記録する (例 4)。

例 4) 255 ## \$a 縮尺決定不能

- ・比例形式の縮尺を正規化した数値を 034\$b または 034\$c に記録する。

- ・縮尺の付加的情報を記録する場合は、縮尺の後ろに丸がっこで囲んで記録する (例 5)。

例 5) 255 ## \$a 1:100,000□(1△cm につき 1△km)

- ・末尾の区切り記号

①\$a がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”

②\$b が続く → セミコロン“□;”

③\$c が続く → 区切り記号なし。

- \$b : 投影法

- ・投影法を記録する (例 6)。

例 6) 255 ## \$a 1:5,000□; \$b メルカトル図法

- ・縮尺が二つまたは三つで、フィールド 255 を繰り返して記録する際に、投影法が共通の場合は、最初の 255 にのみ投影法を記録する (例 7)。

例 7) 255 ## \$a 1:6,000□; \$b メルカトル図法

255 ## \$a 1:10,000

・ 投影法をコード化したものを 008/22-23 投影図法（地図資料）に記録する。

・ 末尾の区切り記号

①\$b がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】 → ピリオド “.”（ピリオドが連続する場合は一つのみ記録する。）

②\$c が続く → 区切り記号なし。

●\$c : 経緯度

・ 経緯度を記録する。

・ 地図資料の最西端（経度）、最東端（経度）、最北端（緯度）、最南端（緯度）の順序に経度・緯度ともに 60 進法（ただし、度については 360 度）により、度（°）、分（′）、秒（″）で記録する。経度は IERS 基準子午線またはグリニッジ子午線を本初子午線として使用する。それぞれの経緯度の冒頭に、西経は W（West の略）、東経は E（East の略）、北緯は N（North の略）、南緯は S（South の略）の識別値を記録し、W、E、N、S の後にはスペースを置く。

記録の形は（経度－経度／緯度－緯度）とする。それぞれ対になった経度と緯度とはスラッシュ “/” で区切る。スラッシュの前後にスペースは置かない。経度同士、緯度同士はハイフン “-” で区切る。ハイフンの前後にスペースは置かない。経緯度全体は丸がっこ “()” で囲み記録する。

・ 経緯度を 8 桁に正規化したものを 034\$d~\$g に記録する（例 8）。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】 W、E、N、S の後にスペースを置かず記録している（例 9）。

・ 末尾の区切り記号なし。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】 → ピリオド “.”

例 8) 008/22-23 bh

034 1# \$a a \$b 25000 \$d E1351450 \$e E1352949 \$f N0344011 \$g N0343011
255 ## \$a 1:25,000□; \$b ユニバーサル横メルカトル図法 \$c (E△135° 14′ 50″
-E△135° 29′ 49.9″ /N△34° 40′ 11.7″ -N△34° 30′ 11.8″)

例 9) 2020 年 12 月までに作成したデータ

008/22-23 bh

034 1# \$a a \$b 25000 \$d E1401300 \$e E1402500 \$f N0385000 \$g N0383600
255 ## \$a 1:25000□; \$b ユニバーサル横メルカトル図法 \$c (E140° 13′ -

E140° 25' /N38° 50' -N38° 36').

256 電子的内容（電子資料）（不使用）

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可			
サブフィールドコード	要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	電子的内容	必須	不可

【2020年12月までに作成したデータで使用】

2021年1月から作成するデータでは使用しない。フィールド347（デジタル・ファイルの特性）を使用する。

このフィールドは、電子資料についてのみ使用し、電子的内容を記録する。

フィールド末尾にピリオド“.”を付している。

●\$a：電子的内容

- ・電子的内容を記録する。電子的内容は、一まとまりのデータや一つの特定の名称で識別されるプログラムを一単位とする。
- ・電子的内容を第1レベルもしくは第2レベルで記録する（例1）。具体的には以下に示す日本語または英語の用語を使用する。
- ・複数の用語を記録する場合、同一サブフィールド内にスペース“ ”で連結する（例2）。

第1レベル	第2レベル
データ Data	画像データ Image△data 数値データ Numeric△data 地図データ Map△data テキスト・データ Text△data フォント・データ Font△data

	録音データ Sound△data 点字データ Braille△data
プログラム Program	アプリケーション・プログラム Application△program システム・プログラム System△program ユーティリティ・プログラム Utility△program
データ及びプログラム Data△and△program	上記の用語の組み合わせ インタラクティブ・マルチメディア Interactive △ multimedia オンライン・サービス Online△service

例 1) 256 ## \$a アプリケーション・プログラム.

例 2) 256 ## \$a 画像データ□テキスト・データ.

260 出版・頒布等に関する事項（不使用）

■第1インディケータ：出版事項の順序

- # 非適用または最初の出版事項
- 2 中間の出版事項（逐次刊行資料でのみ使用）
- 3 最新または最後の出版事項（逐次刊行資料でのみ使用）

■第2インディケータ：未定義

- # 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し 逐次刊行資料：可 逐次刊行資料以外：NDL 運用上不可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	出版地・頒布地等	NDL 運用上 必須	可	
\$b	出版者・頒布者等	NDL 運用上 必須	可	
\$c	出版年月・頒布年月等	インディケ ータ###の場 合必須	可	
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

【2020年12月までに作成したデータで使用】

2021年1月から作成するデータでは使用しない。フィールド264（出版表示等）を使用する。

逐次刊行資料について、2020年12月までに作成したデータを2021年1月以降に更新する場合には、既存のフィールド260はフィールド264（出版表示等）に修正せず、追加する出版表示等のみフィールド264（出版表示等）を使用する。

このフィールドには、出版・頒布等に関する事項を記録する。

継続ものの出版者の変遷がある場合、逐次刊行資料ではフィールドを繰り返して記録している。逐次刊行資料以外ではフィールド260は繰り返さない。

出版者と頒布者を記録する場合、および逐次刊行資料で共同刊行者を記録する場合、同一フィールド内でサブフィールドを繰り返す。

他の記号が末尾になれば、フィールド末尾にピリオド“.”を付している。

●\$a：出版地・頒布地等

- ・260\$bに記録する出版者・頒布者、製作者・印刷者の所在地を記録する（例1、2）。複数ある場合は、主なもの・顕著なものを選択する。

例1) 260 ## \$6 880-02 \$a 東京□: \$b 音楽の世界社, \$c 2008.6.

例2) 260 ## \$6 880-02 \$a [出版地不明]□: \$b 「シュルレアリスムと美術-イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会, \$c 2007.

- ・出版地が町村の場合（例3）および識別上必要があるとき（例4）には、都道府県名（同一町村名があるときは郡名まで）を付記する。
- ・書誌データの作成年代によってはそれ以外の形もある（例5、6）。

例3) 260 ## \$a 大社町□(島根県)□:

例4) 260 ## \$a 府中□(広島県)□:

例5) 260 ## \$a 兵庫県日高町□:

例6) 260 ## \$a 滋賀県東浅井郡速水村□:

- ・出版地・出版者と頒布地・頒布者の双方を記録する場合は、260\$aと260\$bをセットで繰り返す（例7）。
- ・書誌データの作成年代によっては頒布地・頒布者をフィールド500（一般注記）に記録している場合がある。

例7) 260 ## \$6 880-02 \$a 八王子□: \$b アースメディア□; \$a 東京□: \$b 星雲社□(発売), \$c 2008.6.

- ・共同刊行の場合、2番目以降の出版者は注記する。ただし、逐次刊行資料の場合は、260\$aと260\$bをセットで繰り返してフィールド260に記録する（例8）。

例 8) 逐次刊行資料で共同刊行者を記録する場合

260 ## \$6 880-03 \$a [福岡]□: \$b 自然災害研究協議会西部地区部会□; \$a [福岡]
□: \$b 九州大学西部地区自然災害資料センター, \$c 2011-

- ・逐次刊行資料の出版者の変遷がある場合は、インディケータを区別し、フィールド 260 を繰り返して記録する (例 9)。

例 9) 260 ## \$6 880-02 \$a 横浜□: \$b 近代文化研究所, \$c 2008-

260 2# \$6 880-03 \$a 千葉□: \$b 文化財研究所.

260 3# \$6 880-04 \$a 東京□: \$b 平成女子大学文化研究会.

- ・末尾の区切り記号

①\$b が続く → スペース、コロン “□:”

②\$c が続く → コンマ “,”

③\$a がフィールド末尾 → ピリオド “.” (ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。)

- \$b : 出版者・頒布者等

- ・出版者・頒布者等を記録する。
- ・頒布者には“□(発売)”と付記する。
- ・出版者・頒布者が不明の場合、それに代わるものとして製作者等を記録することがある。その場合、“□(製作)”、“□(印刷)”と付記する (例 10)。

例 10) 260 ## \$6 880-02 \$a 東京□: \$b 朋文社□(印刷), \$c 2000.11.

- ・末尾の区切り記号

①\$a が続く → セミコロン “□;”

②別の\$b が続く → コロン “□:”

③\$c が続く → コンマ “,”

④\$b がフィールド末尾 → ピリオド “.” (ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。)

- \$c : 出版年月・頒布年月等

- ・出版・頒布年月、製作・印刷年月を西暦年で記録する。
- ・出版年月は、『日本目録規則 1987 年版改訂版』採用後は当該版初刷の出版年月を (例 10、11)、『日本目録規則 1987 年版改訂版』採用前は当該版最新の出版年月を記録する。

- ・ 出版年月以外の表示のみの時は表示されているものを記録する（例 12）。逐次刊行資料においては出版年のみを記録する。
- ・ 書誌データの作成年代によっては、元号を用いている場合（例 13）、単行資料について出版月を除いた出版年のみを記録している場合（例 13）もある。

例 11) 初刷の出版年が不明で、3刷の出版年を記録する場合

260 ## \$c 1976.6□(3刷)

例 12) 著作権表示年を記録する場合

260 ## \$c c1986.

例 13) 260 ## \$c 昭和 20.

- ・ 逐次刊行資料において、出版者の変遷があり、フィールド 260 を繰り返して記録する場合、インディケータ##のフィールド 260 にのみ 260\$c を記録する。
- ・ 単行資料の一括記入や加除式資料では最初の出版年月と最新の出版年月をハイフン“-”で連結して記録する（例 14～16）。逐次刊行資料では最初の出版年と最終の出版年をハイフン“-”で連結して記録する（例 17）。

例 14) 一括記入で最初の出版年月と最新の出版年月を記録する場合

260 ## \$c 1997.6-1998.5.

例 15) 一括記入で最初の出版年と最新の出版年が同一の場合

260 ## \$c 1997.6-8.

例 16) 加除式資料の場合

260 ## \$c 1998.2-

例 17) 逐次刊行資料の場合

260 ## \$c 2017-2018

- ・ 末尾の区切り記号 → ピリオド“.”(ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。)

●\$6：読みの対応関係

- ・ 「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・ 末尾の区切り記号なし。

264 出版表示等

■第1インディケータ：表示の順序

- # 非適用または最初の表示
- 2 中間の表示（逐次刊行資料でのみ使用）
- 3 最新または最後の表示（逐次刊行資料でのみ使用）

■第2インディケータ：実体の機能

- 1 出版
- 2 頒布
- 3 製作
- 4 著作権日付（単行資料でのみ使用）

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	出版地等	あれば必須	可	#2.5.1 #2.6.1 #2.7.1
\$b	出版者等	あれば必須	可	#2.5.3 #2.5.4 #2.6.3 #2.7.3
\$c	出版日付等	あれば必須	可	#2.5.5 #2.6.5 #2.7.5 #2.9
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには、出版表示等を記録する。

逐次刊行資料について、2020年12月までに作成したデータを2021年1月以降に更新する場合には、既存のフィールド260（出版・頒布等に関する事項）はフィールド264に修正

せず、追加する出版表示等のみフィールド 264 を使用する。

継続ものの出版者の変遷がある場合、逐次刊行資料ではフィールドを繰り返して記録する（例 9）。

図書、非図書資料のうち地図資料、電子資料およびその他の非図書資料、逐次刊行資料で共同刊行者の出版地・出版者を記録する場合、同一フィールド内でサブフィールドを繰り返す（例 7～8）。

1 番目のフィールドでは、\$a、\$b、\$c をセットで記録する。

フィールドを繰り返す場合、2 番目以降のフィールドではサブフィールド\$a と\$b にのみ、またはサブフィールド\$c にのみ記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：出版地等

- ・264\$b に記録する出版者、頒布者、製作者の所在地を記録する（例 1、2）。複数ある場合は、主なもの・顕著なものを選択する。

例 1) 264 #1 \$6 880-02 \$a 東京□: \$b 岩波書店, \$c 2003.5

例 2) 264 #1 \$6 880-02 \$a [出版地不明]□: \$b 「シュルレアリスムと美術-イメージとリアリティーをめぐって」展実行委員会, \$c 2007

- ・出版地が町村の場合（例 3）および識別上必要があるとき（例 4）には、都道府県名（同一町村名があるときは郡名まで）を付加する。

例 3) 264 #1 \$a 大社町□(島根県)□:

例 4) 264 #1 \$a 府中□(広島県)□:

- ・出版地・出版者と頒布地・頒布者の双方を記録する場合は、264 を繰り返す（例 5）。

例 5) 264 #1 \$6 880-02 \$a 八王子□: \$b アースメディア, \$c 2008.6
264 #2 \$6 880-03 \$a 東京□: \$b 星雲社

- ・末尾の区切り記号

①\$b が続く → コロン “□:”

●\$b : 出版者等

- ・ 出版者、頒布者、製作者を記録する。

例 6) 264 #3 \$a 東京□: \$b 朋文社

- ・ 出版地・出版者と頒布地・頒布者の双方を記録する場合は、264 を繰り返す (例 5)。
- ・ 図書、非図書資料のうち地図資料、電子資料およびその他の非図書資料について、共同刊行者等、複数の出版者がある場合に、おおむね 2 番目までの出版地・出版者を、264\$a と 264\$b をセットで繰り返して同一のフィールド 264 に記録する。264 に記録しなかった出版者は注記する (例 7)。

例 7) 図書で共同刊行者を注記に記録する場合

264 #1 \$6 880-02 \$a 東京□: \$b 建設広報協会□; \$a 東京□: \$b 運輸振興協会, \$c
2019.12
500## \$a 共同刊行 : □国土計画協会ほか

- ・ 共同刊行される逐次刊行資料の出版地・出版者は、264\$a と 264\$b をセットで繰り返して同一のフィールド 264 に記録する (例 8)。

例 8) 逐次刊行資料で共同刊行者を記録する場合

264 #1 \$6 880-03 \$a [福岡]□: \$b 自然災害研究協議会西部地区部会□; \$a [福岡]
□: \$b 九州大学西部地区自然災害資料センター, \$c 2011-

- ・ 逐次刊行資料の出版地・出版者の変遷がある場合は、インディケータを区別し、フィールド 264 を繰り返して記録する (例 9)。

例 9) 264 #1 \$6 880-02 \$a 横浜□: \$b 近代文化研究所, \$c 2008-

264 21 \$6 880-03 \$a 千葉□: \$b 文化財研究所

264 31 \$6 880-04 \$a 東京□: \$b 平成女子大学文化研究会

- ・ 末尾の区切り記号

①\$a が続く → セミコロン “□ ;”

②\$c が続く → コンマ “,”

③\$b がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

●\$c : 出版日付等

- ・初刷の出版日付を西暦年で記録する（例 10）。初刷の出版日付が不明の場合は、当該資料に表示されている出版日付を、刷次を付加して記録する（例 11）。逐次刊行資料においては出版年のみを記録する。

例 10) 264 #1 \$c 2000.11

例 11) 初刷の出版日付が不明で、3刷の出版日付を記録する場合
264 #1 \$c 1976.6□(3刷)

- ・出版日付が表示されていないときは、頒布日付または製作日付を記録する（例 12）。逐次刊行資料において、出版日付が表示されていない場合は、頒布日付や製作日付から出版日付を推定する（例 13）。

例 12) 264 #1 \$a 東京□: \$b 講談社, \$c [2000]
264 #2 \$c 2000.11

例 13) 264 #1 \$c [2019]-

- ・図書において、出版日付が表示されておらず、頒布日付も製作日付もないときは、著作権日付を記録し、著作権日付から推定した出版日付を補記する（例 14）。

例 14) 264 #1 \$c [1986]
264 #4 \$c c1986

- ・逐次刊行資料において、出版者の変遷があり、フィールド 264 を繰り返して記録する場合、インディケータ#1のフィールド 264 にのみ 264\$c を記録する。
- ・包括的記述を作成する複数巻単行資料や加除式資料では最初の出版年月と最新の出版年月をハイフン“-”で連結して記録する（例 15～17）。逐次刊行資料では最初の出版年と最終の出版年をハイフン“-”で連結して記録する（例 18）。

例 15) 最初の出版年月と最新の出版年月を記録する場合
264 #1 \$c 1997.6-1998.5

例 16) 最初の出版年と最新の出版年が同一の場合
264 #1 \$c 1997.6-8

例 17) 加除式資料の場合

264 #1 \$c 1998.2-

例 18) 逐次刊行資料の場合

264 #1 \$c 2017-2018

・末尾の区切り記号なし。

●\$6 : 読みの対応関係

・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

・末尾の区切り記号なし。

3XX：形態等ブロック

このブロックには、『日本目録規則 2018年版』（NCR）で規定されるエレメントのうち、キャリアに関する情報（NCRの#2.14～#2.33）、逐次刊行資料における刊行頻度（同#2.13、#2.41.11.2.2）、逐次刊行資料の順序表示（同#2.4）および逐次刊行資料における休・廃刊注記（同#2.41.4.2.7、#2.42.3）を記録する。さらに、表現種別（同#5.1）を記録する。

■フィールド一覧

- [300](#) [キャリアに関する情報：数量、大きさ等](#)
- [310](#) [刊行頻度](#)
- [321](#) [刊行頻度の変化](#)
- [336](#) [表現種別](#)
- [337](#) [キャリアに関する情報：機器種別](#)
- [338](#) [キャリアに関する情報：キャリア種別](#)
- [340](#) [キャリアに関する情報：媒体の特性等](#)
- [344](#) [キャリアに関する情報：録音の特性（非図書資料）](#)
- [346](#) [キャリアに関する情報：ビデオの特性（映像資料）](#)
- [347](#) [キャリアに関する情報：デジタル・ファイルの特性（非図書資料）](#)
- [362](#) [順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記](#)

上記以外のフィールドは、不使用。

300 キャリアに関する情報：数量、大きさ等

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド必須				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	数量	必須	可	#2.17
\$b	形態の詳細	あれば必須	不可	#2.22 #5.17
\$c	大きさ	必須	可	#2.18
\$e	付属資料	あれば必須	不可	#2.17 #2.18 #43.1 #43.3

このフィールドには、キャリアに関する情報のうち、数量、大きさ等を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にはピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：数量

- 記述対象資料のキャリアの種類を示す語と資料のユニット数（冊・枚等）を「キャリアの種類を示す語□ユニット数」の形で記録する（例1）。ただし、冊子の場合、キャリアの種類を示す語は記録せず、資料の構成単位のユニット数（例えばページ、丁等）を記録する。資料のユニット数または構成単位のユニット数の単位を示す助数詞には、「冊」、「軸」、「枚」、「ページ」、「丁」、「欄」などを用いる。

【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、挿図、肖像、

地図、表等を続けて記録している場合がある。

例 1) キャリアの種類を示す語を記録する場合

300 ## \$a トランスペアレンシー□1 枚□; \$c 21□×□30△cm

300 ## \$a Blu-ray△Disc□1 枚□; \$c 12△cm

- ページ付が複数ある場合は同一サブフィールド内でコンマ、スペース “, □” で連結して記録する (例 2)。

例 2) ページ付が複数ある場合

300 ## \$a 774,□21△p□; \$c 23△cm

- ページ付がない場合は、「1 冊□ (ページ付なし)」と記録する (例 3)。

例 3) ページ付がない場合

300 ## \$a 1 冊□(ページ付なし)□; \$c 23□×□31△cm

- 図書について、複数の冊子に連続したページ付がある場合は、下位ユニットとして、全体のページ数等を記録する (例 4)。

例 4) 複数の冊子に連続したページ付がある場合

300 ## \$a 3 冊□(800△p)□; \$c 23△cm

- 図書について、複数の冊子にそれぞれ独立したページ付がある場合は、下位ユニットとして各冊のページ数等を記録する (例 5)。

例 5) 複数の冊子にそれぞれ独立したページ付がある場合

300 ## \$a 2 冊□(329;□412△p)□; \$c 19△cm

- 末尾の区切り記号

①\$b が続く → コロン “□ :”

②\$c が続く → セミコロン “□ ;”

【2020 年 12 月までに作成したデータ】

③\$e が続く → プラス “□ +”

④\$a がフィールド末尾 → ピリオド “.” (ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。)

●\$b：形態の詳細

- ・地図資料の制作手段を記録する（例 6、8）。用語は、NCR2018「表 2.22.0.2 制作手段の種類を示す用語」から選択する（フィールド 340（キャリアに関する情報：媒体の特性等）のサブフィールド\$d（制作手段）の「（参考）NCR2018「表 2.22.0.2 制作手段の種類を示す用語」に基づく用語一覧」を参照のこと）。NCR2018 表 2.22.0.2 に適切な用語がない場合は、制作手段の種類を示す簡略な用語として、「謄写版」等を記録する。

例 6) 300 ## \$a 地図□5 枚□;\$b 青焼き□;\$c 52□×□73△cm

- ・地図資料のレイアウトおよび色彩を示す簡略な用語として「色刷」「両面刷」「両面色刷」等を記録する（例 7、8）。

例 7) 300 ## \$a 地図□1 枚□:\$b 色刷□;\$c 77□×□109△cm

例 8) 300 ## \$a 地図□1 枚□:\$b 写真製版,□色刷□;\$c 85□×□60△cm□(折りたたみ△30△cm)

- ・【2020 年 12 月までに作成したデータ】マイクロ資料の極性（例 9）や、録音資料の録音の方式および再生速度（例 10）等を記録している。

例 9) 【2020 年 12 月までに作成したデータ】マイクロ資料の極性を記録する場合

300 ## \$a マイクロフィッシュ□4511 枚□:\$b ネガ□;\$c 11×15cm□+\$e 索引表□(2 冊□;□26×36cm)

例 10) 【2020 年 12 月までに作成したデータ】録音ディスクの録音の方式および再生速度を記録する場合

300 ## \$a 録音ディスク□1 枚□:\$b アナログ,□78rpm□;\$c 25cm.

- ・末尾の区切り記号

①\$c が続く → セミコロン “□;”

【2020 年 12 月までに作成したデータ】

②\$e が続く → プラス “□+”

③\$b がフィールド末尾 → ピリオド “.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）

●\$c : 大きさ

- ・記述対象資料の大きさを記録する。
- ・資料の大きさの単位は原則としてセンチメートル“cm”を使用する。小数点以下は、原則として大きさが 10cm 未満のときのみ記録する。マイクロ資料等では、ミリメートル“mm”の単位を用いている場合もある。

例 11) 資料の背の高さを記録する場合

300 ## \$a 310△p□; \$c 30△cm

例 12) 資料の直径を記録する場合

300 ## \$a CD-ROM□1 枚□; \$c 12△cm□+ \$e 41△p□(21△cm)

- ・単行資料について、容器の大きさを記録する場合は、当サブフィールドではなくフィールド 500（一般注記）へ記録する（例 13）。逐次刊行資料について、容器の大きさを記録する場合は、当サブフィールドに記述対象資料の大きさ、コンマ、スペース“,” “ ” 容器の大きさの順で記録する（例 14）。

例 13) 単行資料で容器の大きさを記録する場合

300 ## \$a 150△p□; \$c 30△cm

500 ## \$a 箱入□(35△cm)

例 14) 逐次刊行資料で容器の大きさを記録する場合

300 ## \$a CD-ROM□1 枚□; \$c 12△cm,□ホルダー入□(19△cm)

- ・末尾の区切り記号

①\$e が続く → プラス“□+”

②\$c がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）

●\$e : 付属資料

- ・記述対象資料本体と分離する付属資料がある場合、付属資料のキャリアの種類を示す語、ユニット数、大きさ等を区切り記号で連結して記録する。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド 500（一般注記）に記録している場合がある。

- ・付属資料のタイトルは、当フィールドではなくフィールド 500（一般注記）に記録する。

例 15) 付属資料のユニット数のみを記録する場合

300 ## \$a 282△p□; \$c 20△cm□+ \$e 4△p

例 16) 付属資料のキャリアの種類を示す語、ユニット数および大きさを記録する場合

300 ## \$a 176△p□; \$c 30△cm□+ \$e DVD-Video□1 枚□(12△cm)

例 17) 複数の付属資料を記録する場合

300 ## \$a 1 冊□(ページ付なし)□; \$c 22□×□22△cm□+ \$e タングラム□1 セット□+□1 枚

・ 末尾の区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.” (ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。)

310 刊行頻度

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し不可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	刊行頻度	必須	不可	#2.13

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、刊行頻度を示す用語を記録する。
フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：刊行頻度

- ・現在の刊行頻度を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.13.3 刊行頻度を示す用語」から選択する（例 1）。刊行頻度が不明の場合、当フィールドには何も記録しない（例 2）。
- ・刊行頻度およびその規則性をコード化した情報を、008/18（一般コード化情報（逐次刊行資料）刊行頻度）および 008/19（一般コード化情報（逐次刊行資料）刊行の規則性）に記録する。

(参考) NCR2018「表 2.13.3 刊行頻度を示す用語」に基づく用語一覧

008/18 刊行頻度 (逐次刊行 資料)	008/19 刊行の規則性 (逐次刊行 資料)	用語
a	r	年刊
b		隔月刊
c		週 2 回刊
d		日刊
e		隔週刊
f		年 2 回刊
g		隔年刊
h		3 年 1 回刊
i		週 3 回刊
j		旬刊
m		月刊
q		季刊
s		月 2 回刊
t		年 3 回刊
w		週刊
z		隔日刊 月 n 回刊 ※ 週 n 回刊 ※ 年 n 回刊 ※ n 月 1 回刊 ※ n 週 1 回刊 ※ n 年 1 回刊 ※ 記録しない場合もあり
#	x	不定期刊
		記録しない
u	u	記録しない

※ 「n」はアラビア数字

例 1) 008/18 m
008/19 r
310 ## \$a 月刊

例 2) 008/18 u
008/19 u
(フィールド 310 は記録しない。)

321 刊行頻度の変化

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	刊行頻度の変化	必須	不可	#2.41.11.2.2

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、刊行頻度の変化を記録する。

【2020年12月までに作成したデータ】刊行頻度の変化はフィールド500（一般注記）に記録していることがある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：刊行頻度の変化

- ・刊行頻度が変わった場合は、常に「刊行頻度の変更あり」と記録する（例1）。

例1) 321 ## \$a 刊行頻度の変更あり

336 表現種別

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

NDL 運用上フィールド必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	表現種別	必須	NDL 運用 上不可	#5.1
\$2	情報源	必須	不可	

このフィールドには、表現種別を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：表現種別

- ・記述対象資料の内容を表現する基本的な形式を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 5.1.3 表現種別の用語」の中から選択する（例 1）。

（参考）NCR2018「表 5.1.3 表現種別の用語」に基づく用語一覧

用語
テキスト
テキスト□(触知)
楽譜
楽譜□(触知)
運動譜
運動譜□(触知)
地図

地図□(触知)
地図動画
三次元地図
三次元地図□(触知)
地図データセット
静止画
静止画□(触知)
二次元動画
三次元動画
三次元資料
三次元資料□(触知)
話声
演奏
音声
コンピュータ・データセット
コンピュータ・プログラム
その他
不明

例 1) 印刷文字資料などの場合

336 ## \$a テキスト \$2 ncrcontent

- ・複数の用語を記録する場合は、フィールドを繰り返す（例 2、3）。ただし、記述対象が複数の媒体からなる場合に、それぞれの表現種別の用語が同一のときは、フィールドを繰り返さない（例 4）。

例 2) 楽譜（冊子体）の場合

336 ## \$a テキスト \$2 ncrcontent

336 ## \$a 楽譜 \$2 ncrcontent

例 3) テキスト・データを主とする電子資料に映像資料が付属する場合

336 ## \$a テキスト \$2 ncrcontent

336 ## \$a 二次元動画 \$2 ncrcontent

例 4) レコードと CD からなる記述対象資料の内容がいずれも音楽作品の場合（336 を繰

り返さない)

336 ## \$a 演奏 \$2 ncrcontent

- ・記述対象資料が印刷文字資料の場合、付属資料の表現種別として「不明」を記録する（例 5）。ただし、付属資料の種類によっては、何も記録しないことがある（例 6）。

例 5) 印刷文字資料の付属資料が DVD の場合

336 ## \$a テキスト \$2 ncrcontent

336 ## \$a 不明 \$2 ncrcontent

例 6) 印刷文字資料の付属資料が写真の場合（写真に対応する表現種別「静止画」は記録しない）

336 ## \$a テキスト \$2 ncrcontent

●\$2：情報源

- ・常に「ncrcontent」を記録する。「ncrcontent」は、\$a に記録する用語が NCR2018 表 5.1.3 の用語であることを示す、[MARC 21 Genre/Form Code and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。

337 キャリアに関する情報：機器種別

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

NDL 運用上フィールド必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	機器種別	必須	NDL 運用 上不可	#2.15
\$2	情報源	必須	不可	

このフィールドには、機器種別を記録する。機器種別は、常にキャリア種別（フィールド 338）と組み合わせて記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：機器種別

- ・記述対象資料の内容を利用（表示、再生、実行など）するために必要な機器の種類を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.15.0.2 機器種別の用語」の中から選択する（例 1）。

（参考）NCR2018「表 2.15.0.2 機器種別の用語」に基づく用語一覧

用語
映写
オーディオ
顕微鏡
コンピュータ
ビデオ

マイクロ
立体視
機器不用
その他
不明

例 1) 印刷文字資料などの場合

337 ## \$a 機器不用 \$2 ncrmedia

338 ## \$a 冊子 \$2 nrcarrier

- ・複数の用語を記録する場合は、フィールドを繰り返す（例 2、3）。ただし、記述対象が複数の媒体からなる場合に、それぞれの機器種別の用語が同一のときは、フィールドを繰り返さない（例 4）。

例 2) 印刷文字資料に CD-ROM が付属する場合

337 ## \$a 機器不用 \$2 ncrmedia

337 ## \$a コンピュータ \$2 ncrmedia

338 ## \$a 冊子 \$2 nrcarrier

338 ## \$a コンピュータ・ディスク \$2 nrcarrier

例 3) 電子資料に録音 CD が付属する場合

337 ## \$a コンピュータ \$2 ncrmedia

337 ## \$a オーディオ \$2 ncrmedia

338 ## \$a コンピュータ・ディスク \$2 nrcarrier

338 ## \$a オーディオ・ディスク \$2 nrcarrier

例 4) 本体、付属資料がともに電子資料の場合（機器種別「コンピュータ」が同一のため 337 は繰り返さない）

337 ## \$a コンピュータ \$2 ncrmedia

338 ## \$a コンピュータ・ディスク \$2 nrcarrier

338 ## \$a コンピュータ・チップ・カートリッジ \$2 nrcarrier

- ・付属資料の種類によっては、付属資料の機器種別は記録しないことがある（例 5、6）。

例 5) 印刷文字資料の付属資料が写真の場合（写真に対応する機器種別「機器不用」は記録しない）

337 ## \$a 機器不用 \$2 ncrmedia

338 ## \$a 冊子 \$2 nrcarrier

例 6) ビデオディスクの付属資料が写真の場合 (写真に対応する機器種別「機器不用」は記録しない)

337 ## \$a ビデオ \$2 ncrmedia

338 ## \$a ビデオディスク \$2 nrcarrier

●\$2 : 情報源

- ・常に「ncrmedia」を記録する。「ncrmedia」は、\$a に記録する用語が NCR2018 表 2.15.0.2 の用語であることを示す、[MARC 21 Genre/Form Code and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。

338 キャリアに関する情報：キャリア種別

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

NDL 運用上フィールド必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	キャリア種別	必須	NDL 運用 上不可	#2.16
\$2	情報源	必須	不可	

このフィールドには、キャリア種別を記録する。キャリア種別は、常に機器種別（フィールド 337）と組み合わせて記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：キャリア種別

- ・記述対象資料の内容を記録した媒体およびその形状を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.16.0.2 キャリア種別の用語」の中から選択する（例 1）。

（参考）NCR2018「表 2.16.0.2 キャリア種別の用語」に基づく用語一覧

用語
機器種別「映写」
トランスペアレンシー
スライド
フィルム・カセット
フィルム・カートリッジ
フィルムストリップ

フィルムストリップ・カートリッジ
フィルムスリップ
フィルム・リール
フィルム・ロール
機器種別「オーディオ」
オーディオカセット
オーディオ・カートリッジ
オーディオ・シリンダー
オーディオ・ディスク
オーディオテープ・リール
オーディオ・ロール
サウンドトラック・リール
機器種別「顕微鏡」
顕微鏡スライド
機器種別「コンピュータ」
コンピュータ・カード
コンピュータ・チップ・カートリッジ
コンピュータ・ディスク
コンピュータ・ディスク・カートリッジ
コンピュータ・テープ・カセット
コンピュータ・テープ・カートリッジ
コンピュータ・テープ・リール
オンライン資料
機器種別「ビデオ」
ビデオカセット
ビデオ・カートリッジ
ビデオディスク
ビデオテープ・リール
機器種別「マイクロ」
アパーチュア・カード
マイクロオペーク
マイクロフィッシュ
マイクロフィッシュ・カセット
マイクロフィルム・カセット
マイクロフィルム・カートリッジ

マイクロフィルム・スリップ
マイクロフィルム・リール
マイクロフィルム・ロール
機器種別「立体視」
立体視カード
立体視ディスク
機器種別「機器不用」
オブジェクト
カード
冊子
シート
フリップチャート
巻物
上記以外
その他
不明

例 1) 印刷文字資料などの場合

337 ## \$a 機器不用 \$2 ncrmedia

338 ## \$a 冊子 \$2 nrcarrier

- ・複数の用語を記録する場合は、フィールド 337（機器種別）との対応関係の順で、フィールドを繰り返す（例 2、3）。ただし、記述対象が複数の媒体からなる場合に、それぞれのキャリア種別の用語が同一のときは、フィールドを繰り返さない（例 4）。

例 2) 印刷文字資料に CD-ROM が付属する場合

337 ## \$a 機器不用 \$2 ncrmedia

337 ## \$a コンピュータ \$2 ncrmedia

338 ## \$a 冊子 \$2 nrcarrier

338 ## \$a コンピュータ・ディスク \$2 nrcarrier

例 3) 電子資料に録音 CD が付属する場合

337 ## \$a コンピュータ \$2 ncrmedia

337 ## \$a オーディオ \$2 ncrmedia

338 ## \$a コンピュータ・ディスク \$2 nrcarrier

338 ## \$a オーディオ・ディスク \$2 nrcarrier

例 4) 本体、付属資料がともにビデオディスクの場合 (機器種別「ビデオ」、キャリア種別「ビデオディスク」が同一のため 337、338 は繰り返さない)

337 ## \$a ビデオ \$2 ncrmedia

338 ## \$a ビデオディスク \$2 nrcarrier

・付属資料の機器種別によっては、付属資料のキャリア種別は記録しないことがある (例 5)。

例 5) 本体 (冊子)、付属資料 (カード) がともに機器種別「機器不用」の場合 (付属資料に対応する機器種別「機器不用」、キャリア種別「カード」は記録しない)

337 ## \$a 機器不用 \$2 ncrmedia

338 ## \$a 冊子 \$2 nrcarrier

●\$2 : 情報源

・常に「nrcarrier」を記録する。「nrcarrier」は、\$a に記録する用語が NCR2018 表 2.16.0.2 の用語であることを示す、[MARC 21 Genre/Form Code and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。

340 キャリアに関する情報：媒体の特性等

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	基底材	あれば必須	可	#2.19
\$d	制作手段	あれば必須	可	#2.22
\$e	マウント	あれば必須	可	#2.21
\$n	フォント・サイズ	あれば必須	可	#2.26
\$o	極性	あれば必須	可	#2.27
\$2	情報源	あれば必須	不可	

このフィールドには、媒体の特性等を記録する。

サブフィールドが異なるときは、サブフィールドごとにフィールドを繰り返す。ただし、\$2は、対応するサブフィールドと同一のフィールドに記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：基底材

- ・記述対象資料の基底となる物理的な材料を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表2.19.0.2 材料の種類を示す用語」の中から選択する。

【2020年12月までに作成したデータ】基底材にあたる情報はフィールド500（一般注記）に記録している。

(参考) NCR2018「表 2.19.0.2 材料の種類を示す用語」に基づく用語一覧

用語
アクリル絵具
アセテート
厚紙
油絵具
アルミニウム
石
イラスト・ボード
インク
紙
ガラス
皮
革
木
キャンバス
金属
グワッシュ
合成物質
ゴム
ジアセテート
ジアゾ
シェラック
磁製
磁粉
硝酸エステル
水彩絵具
炭
墨
石墨
セーフティ・ベース※
染料
象牙
チョーク
テンペラ

陶製
トリアセテート
泥
布
パステル
ハードボード
ハロゲン化銀
ビニール
プラスター
プラスチック
ブリストル紙
ベシキュラ
ベラム
ポリエステル
羊皮紙
ラッカー
蠟
和紙

※映画フィルム、写真フィルム、マイクロフィルム、マイクロフィッシュの基底材が、ジアセテート、硝酸エステル、トリアセテート、ポリエステルのいずれであるのか不明な場合に用いる。

- ・ 図書について、基底材が紙以外の場合に、必要があれば記録する（例 1）。

例 1) 340 ## \$a 布 \$2 ncrmat

- ・ 逐次刊行資料および非図書資料のマイクロフィルムについて、基底材が PET ベース（ポリエステル）以外の場合に記録する（例 2）。

例 2) 340 ## \$a 硝酸エステル \$2 ncrmat

- ・ 非図書資料の紙資料について、西洋紙以外の場合に記録する（例 3）。

例 3) 340 ## \$a 和紙 \$2 ncrmat

- ・録音資料のアナログレコードについて、ビニール以外の場合に記録する（例 4）。

例 4) 340 ## \$a シェラック \$2 ncrmat

- ・NCR2018 表 2.19.0.2 に適切な用語がない場合は、基底材の種類を示す簡略な用語を定めて記録する。この場合は、\$2 は記録しない（例 5）。

例 5) 340 ## \$a 竹皮

●\$d：制作手段

- ・記述対象資料を制作するときに使用された手段を示す用語を記録する（例 6）。用語は、NCR2018「表 2.22.0.2 制作手段の種類を示す用語」の中から選択する。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】制作手段にあたる情報はフィールド 500（一般注記）に記録している。

（参考）NCR2018「表 2.22.0.2 制作手段の種類を示す用語」に基づく用語一覧

用語
青写真
青焼き
印刷
エッチング
エングレーヴィング
エンボス
銀板写真
グラビア印刷
コロタイプ
写真製版
焼成
白焼き
スウェル・ペーパー
スタンピング
点字
電子複写
熱成形
銘刻

木版
リトグラフィ

例 6) 340 ## \$d 青焼き \$2 ncrpm

- NCR2018 表 2.22.0.2 に適切な用語がない場合は、制作手段の種類を示す簡略な用語を定めて記録する。この場合は、\$2 は記録しない (例 7、8)。

例 7) 340 ## \$d 謄写版

例 8) 340 ## \$d UV 点字印刷

- \$e : マウント (非図書資料のうち、静止画資料のみ)
- 記述対象資料の基底材が接着される、土台、枠または裏張りに使う材料を示す用語を記録する (例 9)。用語は、NCR2018「表 2.19.0.2 材料の種類を示す用語」の中から選択する。

例 9) 340 ## \$e 木 \$2 ncrmat

- NCR2018 表 2.19.0.2 に適切な用語がない場合は、マウントの種類を示す簡略な用語を定めて記録する。この場合は、\$2 は記録しない (例 10)。

例 10) 340 ## \$e 竹皮

- \$n : フォント・サイズ
- 記述対象資料の文字や記号の大きさを示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.26.0.2 フォント・サイズの種類を示す用語」から「大活字」を選択する (例 11)。

例 11) 340 ## \$n 大活字 \$2 ncrfs

- 点字資料について、通常のフォントよりも大きいと判断した場合に「大点字」と記録する。NCR2018 の表 2.26.0.2 によらない用語のため、\$2 は記録しない (例 12)。

例 12) 340 ## \$n 大点字

- \$o : 極性 (非図書資料のうち、マイクロ資料のみ)

- ・記述対象資料の画像における色彩および色調と、複製されたものの色彩および色調との関係を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.27.0.2 極性の種類を示す用語」から「ネガ」または「極性混合」を選択する（例 13）。

【2020年12月までに作成したデータ】極性はフィールド300（キャリアに関する情報：数量、大きさ等）の\$b（形態の詳細）に記録している。

例 13) 340 ## \$o ネガ \$2 ncrpo

●\$2：情報源

- ・\$a または \$e の用語に対しては「ncrmat」を、\$d の用語に対しては「ncrpm」を、\$n の用語に対しては「ncrfs」を、\$o の用語に対しては「ncrpo」を記録する。「ncrmat」「ncrpm」「ncrfs」「ncrpo」はそれぞれ、NCR2018 表 2.19.0.2、表 2.22.0.2、表 2.26.0.2、表 2.27.0.2 の用語であることを示す、[MARC 21 Genre/Form Code and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。
- ・用語が NCR2018 の表によるものでない場合は、\$2 は記録しない。

344 キャリアに関する情報：録音の特性（非図書資料）

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	録音の方式	あれば必須	可	#2.29.1
\$b	録音の手段	あれば必須	可	#2.29.2
\$c	再生速度	あれば必須	可	#2.29.3
\$f	テープのトラック構成	あれば必須	可	#2.29.6
\$g	再生チャンネル	あれば必須	可	#2.29.7
\$2	情報源	あれば必須	不可	

このフィールドは、非図書資料のうち、録音資料、映像資料、録音を主な内容とする電子資料について使用し、録音に関する技術的仕様を記録する。

サブフィールドが異なるときは、サブフィールドごとにフィールドを繰り返す。ただし、\$2は、対応するサブフィールドと同一のフィールドに記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：録音の方式

- ・音声の符号化方式を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.29.1 録音の方式を示す用語」の中から選択する（例1）。

【2020年12月までに作成したデータ】録音の方式はフィールド300（キャリアに関する情報：数量、大きさ等）の\$b（形態の詳細）に記録している。

(参考) NCR2018「表 2.29.1 録音の方式を示す用語」に基づく用語一覧

用語
アナログ
デジタル

例 1) 344 ## \$a アナログ \$2 ncrtr

- ・ NCR2018 表 2.29.1 に適切な用語がない場合は、録音の方式を示す簡略な用語を定めて記録する。この場合は、\$2 は記録しない。
- \$b : 録音の手段
- ・ 録音の固定に用いた手段の種類を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.29.2 録音の手段の種類を示す用語」の中から選択する (例 2)。

(参考) NCR2018「表 2.29.2 録音の手段の種類を示す用語」に基づく用語一覧

用語
光学
磁気
光磁気

例 2) 344 ## \$b 光学 \$2 ncrmm

- ・ NCR2018 表 2.29.2 に適切な用語がない場合は、録音の手段を示す簡略な用語を定めて記録する。この場合は、\$2 は記録しない。
- \$c : 再生速度
- ・ 再生速度を記録する。アナログ・ディスクは 1 分当たりの回転数を「rpm」の単位で、オーディオテープ・リールは 1 秒当たりの回転数を「cm/s」または「ips」の単位で記録する (例 3)。
【2020 年 12 月までに作成したデータ】再生速度はフィールド 300 (キャリアに関する情報: 数量、大きさ等) の \$b (形態の詳細) に記録している。

例 3) 344 ## \$c 33 1/3 rpm

- ・ 再生速度の詳細は、フィールドを繰り返して記録する。

●\$f：テープのトラック構成

- ・記述対象資料がオーディオテープ・リールの場合に、テープのトラック数を記録する（例 4）。

例 4) 344 ## \$f 4 トラック

- ・テープのトラック構成の詳細は、フィールドを繰り返して記録する。

●\$g：再生チャンネル

- ・再生チャンネルの種類を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.29.7 再生チャンネルの種類を示す用語」の中から選択する（例 5）。

（参考）NCR2018「表 2.29.7 再生チャンネルの種類を示す用語」に基づく用語一覧

用語
モノラル
ステレオ
4 チャンネル
サラウンド

例 5) 344 ## \$g ステレオ \$2 ncrepc

- ・NCR2018 表 2.29.7 に適切な用語がない場合は、再生チャンネルの種類を示す簡略な用語を定めて記録する。この場合は、\$2 は記録しない。
- ・再生チャンネルの詳細は、フィールド 538（システム要件に関する注記）に記録する。

●\$2：情報源

- ・\$a の用語に対しては「ncrtr」を、\$b の用語に対しては「ncrrm」を、\$g の用語に対しては「ncrepc」を記録する。「ncrtr」「ncrrm」「ncrepc」はそれぞれ、NCR2018 表 2.29.1、表 2.29.2、表 2.29.7 の用語であることを示す、[MARC 21 Genre/Form Code and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。
- ・用語が NCR2018 の表によるものでない場合は、\$2 は記録しない。

346 キャリアに関する情報：ビデオの特性（映像資料）

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	ビデオ・フォーマット	あれば必須	可	#2.31.1
\$b	テレビ放送の標準方式	あれば必須	可	#2.31.2
\$2	情報源	あれば必須	不可	

このフィールドは、映像資料についてのみ使用し、ビデオ・フォーマットおよびテレビ放送の標準方式を記録する。

サブフィールドが異なるときは、サブフィールドごとにフィールドを繰り返す。ただし、\$2 は、対応するサブフィールドと同一のフィールドに記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：ビデオ・フォーマット

- ・アナログ・ビデオのフォーマットを示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.31.1 ビデオ・フォーマットの種類を示す用語」の中から選択する（例 1）。

(参考) NCR2018 「表 2.31.1 ビデオ・フォーマットの種類を示す用語」に基づく用語
一覧

用語
ベータカム
ベータカム SP
ベータマックス
CED
D-2
EIAJ
Hi8
LD
M-II
S-VHS
Type△C
U 規格
VHS
4 ヘッド VTR
8△mm

例 1) 346 ## \$a VHS \$2 ncrvf

- ・NCR2018 表 2.31.1 に適切な用語がない場合は、ビデオ・フォーマットの種類を示す簡略な用語を定めて記録する。この場合は、\$2 は記録しない (例 2)。

例 2) 346 ## \$a VHD

●\$b : テレビ放送の標準方式

- ・テレビ放送用のビデオ映像の放送方式を示す用語を記録する。用語は、NCR2018 「表 2.31.2 テレビ放送の標準方式の種類を示す用語」から「HDTV」、「PAL」または「SECAM」を選択する (例 3)。

例 3) 346 ## \$b PAL \$2 ncrbs

- ・NCR2018 表 2.31.2 に適切な用語がない場合は、テレビ放送の標準方式の種類を示す簡略な用語を定めて記録する。この場合は、\$2 は記録しない。

- ・テレビ放送の標準方式の詳細は、フィールドを繰り返して記録する。この場合、\$2 は記録しない。

- \$2 : 情報源

- ・\$a の用語に対しては「ncrvf」を、\$b の用語に対しては「ncrbs」を記録する。「ncrvf」「ncrbs」はそれぞれ、NCR2018 表 2.31.1、表 2.31.2 の用語であることを示す、[MARC 21 Genre/Form Code and Term Source Codes](#)に掲載されているコード値である。
- ・用語が NCR2018 の表によるものでない場合は、\$2 は記録しない。また、\$b にテレビ放送の標準方式の詳細を記録する場合も、\$2 は記録しない。

347 キャリアに関する情報：デジタル・ファイルの特性（非図書資料）

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	ファイル種別	あれば必須	可	#2.32.1
\$b	デジタル・コンテンツ・フォーマット	あれば必須	可	#2.32.2
\$2	情報源	あれば必須	不可	

このフィールドは、電子資料、録音資料および映像資料について使用し、ファイル種別およびデジタル・コンテンツ・フォーマットを記録する。

サブフィールドが異なるときは、サブフィールドごとにフィールドを繰り返す。ただし、\$2 は、\$a と同一のフィールドに記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：ファイル種別

・デジタル・コンテンツのファイル種別を示す用語を記録する。用語は、NCR2018「表 2.32.1 ファイル種別を示す用語」の中から選択する（例 1）。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】デジタル・コンテンツのファイル種別はフィールド 256（電子的内容（電子資料））に記録している。

（参考）NCR2018「表 2.32.1 ファイル種別を示す用語」に基づく用語一覧

用語
オーディオ・ファイル
画像ファイル

テキスト・ファイル
データ・ファイル
ビデオ・ファイル
プログラム・ファイル

例 1) 347 ## \$a テキスト・ファイル \$2 ncrft

- ・NCR2018 表 2.32.1 に適切な用語がない場合は、デジタル・コンテンツのファイル種別を示す簡略な用語を定めて記録する。この場合は、\$2 は記録しない。
- ・ファイル種別の詳細は、フィールドを繰り返して記録する。この場合、\$2 は記録しない。

●\$b : デジタル・コンテンツ・フォーマット

- ・デジタル・コンテンツのフォーマットに用いられているスキーマや標準を示す用語を記録する (例 2)。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】デジタル・コンテンツ・フォーマットはフィールド 300 (キャリアに関する情報: 数量、大きさ等) の \$b (形態の詳細) またはフィールド 516 (電子的内容に関する注記)、フィールド 538 (システム要件に関する注記) に記録している。

例 2) 347 ## \$b JPEG

- ・デジタル・コンテンツ・フォーマットの詳細は、フィールドを繰り返して記録する。

●\$2 : 情報源

- ・「ncrft」を記録する。「ncrft」は、NCR2018 表 2.32.1 の用語であることを示す、[MARC 21 Genre/Form Code and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。
- ・用語が NCR2018 の表によるものでない場合は、\$2 は記録しない。また、\$a にファイル種別の詳細を記録する場合も、\$2 は記録しない。

362 順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記

■第1インディケータ：順序表示、休・廃刊注記

- 0 順序表示（巻次・年月次）
- 1 休・廃刊注記

■第2インディケータ：未定義

- # 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記	必須	不可	#2.4 #2.41.4.2.7 #2.42.3

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、逐次刊行資料の順序表示および休・廃刊注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にはピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）。

●\$a：順序表示（巻次・年月次）／休・廃刊注記

- ・逐次刊行資料の順序表示（巻次・年月次）を記録する。年月次は、巻次に続けて丸がっこで囲み記録する（例1）。

例1) 362 0# \$a 13 巻 1 号□=□122 号□(1984 年 1 月)-36 巻 12 号□=□409 号□(2007 年 12 月)

- ・休・廃刊に関する事実が明らかなき場合は、休・廃刊注記を記録する（例2）。

例2) 362 1# \$a 以後廃刊

- ・キャリアに関するその他の情報の変化に関する注記を記録する（例 3）。

例 3) 362 1# \$a 以後電子資料

4XX : シリーズブロック

このブロックには、『日本目録規則 2018 年版』（NCR）で規定されるエレメントのうち、シリーズ表示（NCR の#2.10）を記録する。

■フィールド一覧

[490](#) [シリーズ表示](#)

490 シリーズ表示

■第1インディケータ：830への記録有無

0 記録なし

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	シリーズのタイトル等	必須	可	#2.10
\$v	シリーズ内番号等	あれば必須	可	#2.10
\$x	シリーズの ISSN 等	あれば必須	可	#2.10
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには、シリーズ表示を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：シリーズのタイトル等

- ・シリーズの本タイトル、シリーズの並列タイトル、シリーズのタイトル関連情報、シリーズに関係する責任表示を区切り記号で連結して記録する（例1）。

例1) 490 0# \$6 880-02 \$a 世界音楽全集

- ・サブシリーズがある場合は、シリーズ、ピリオド“.”、サブシリーズの順で、同一フィールド内でサブフィールドを繰り返して記録する（例2～4）。サブシリーズの本タイトル、サブシリーズの並列タイトル、サブシリーズのタイトル関連情報、サブシリーズに関係する責任表示は、区切り記号で連結して記録する。

例2) 490 0# \$6 880-03 \$a 児童図書館・文学の部屋. \$a ベイカー少年探偵団□=

\$a Baker△street△boys□; \$v 3

例 3) 490 0# \$6 880-03 \$a B.△B.△mook□; \$v 547. \$a スポーツシリーズ□;
\$v no.△421

例 4) 490 0# \$6 880-04 \$a NHK ラジオ学校放送. \$a 社会科 4 年

- ・逐次刊行資料のサブシリーズが巻次のみから成り、部編等のタイトルがない場合は、巻次をサブシリーズの本タイトルとして記録する。
- ・逐次刊行資料のサブシリーズが巻次と部編等のタイトルから成る場合は、巻次と部編等のタイトルの間をコンマ、スペース “ , □ ” で連結して記録する (例 5)。

例 5) 逐次刊行資料のサブシリーズが巻次と部編等のタイトルから成る場合
490 0# \$6 880-04 \$a 国際基督教大学学報. \$a 4,□B

- ・2 以上のシリーズに属している場合の 2 番目以降のシリーズの本タイトルは、フィールド 490 を繰り返して記録する (例 6)。

【2011 年 11 月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、2 番目以降のシリーズ表示をフィールド 500 (一般注記) に丸がっこで囲み記録している場合がある。

例 6) 490 0# \$6 880-03 \$a 国土技術政策総合研究所資料□= \$a Technical△note△of△
National△Institute△for△Land△and△Infrastructure△Management
□/□国土技術政策総合研究所□編, \$x 1346-7328□;
\$v 第 360 号

490 0# \$6 880-04 \$a 土木研究所資料□= \$a Technical△note△of△Public△
Works△Research△Institute□/□土木研究所□編□; \$v 第 4040 号

- ・シリーズの並列タイトルを記録する場合は、シリーズの本タイトル、スペース、等号 “□ = ”、シリーズの並列タイトルの順で、同一フィールド内でサブフィールドを繰り返して記録する (例 7)。

例 7) 490 0# \$6 880-03 \$a シークレット・セブン□= \$a The△secret△seven□; \$v 4

- ・シリーズの並列タイトルに続けてシリーズのタイトル関連情報、シリーズに関係する責任表示を記録する場合は、シリーズの並列タイトル、スペース、コロン、スペース “□:□”、シリーズのタイトル関連情報、スペース、スラッシュ、スペース “□/□”、シリーズに関係する責任表示の順で記録する (例 8)。

例 8) 490 0# \$6 880-03 \$a モノグラフシリーズ□= \$a A△series△of△monographs□:
□ international △ review △ of △ electric △ vehicle △ science △ and △
technology□/□Asian△Electric△Vehicle△Society

- ・シリーズの並列タイトルを記録しない場合に、シリーズのタイトル関連情報、シリーズに
関係する責任表示を記録するときは、シリーズの本タイトル、スペース、コロン、スペー
ス“□:□”、シリーズのタイトル関連情報、スペース、スラッシュ、スペース“□/□”、
シリーズに
関係する責任表示の順で記録する（例 9、10）。

【2011 年 11 月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、シリーズのタ
イト
ル関連情報をシリーズの本タイトルの後にスペース“□”で連結して記録している
場合もある。

例 9) シリーズの本タイトル、シリーズのタイトル関連情報、シリーズに
関係する責任表示を記録する場合

490 0# \$6 880-03 \$a 日本歴史叢書□:□新装版□/□日本歴史学会□編

例 10) シリーズの本タイトル、シリーズに
関係する責任表示を記録する場合

490 0# \$6 880-03 \$a 場面でわかる正しいことばづかいと敬語□/□田近洵一,□
宮腰賢□監修□; \$v 5

- ・末尾の区切り記号

- ①別の\$aが続く（サブシリーズの本タイトルを記録する） → ピリオド“.”
- ②別の\$aが続く（シリーズの並列タイトルを記録する） → 等号“□=”
- ③\$xが続く → コンマ“,”
- ④\$vが続く → セミコロン“□;”
- ⑤\$aがフィールド末尾 → 区切り記号なし。

- \$v：シリーズ内番号等

- ・シリーズ内番号（例 11）、サブシリーズ内番号を記録する。

例 11) 490 0# \$6 880-03 \$a 大和郡山市埋蔵文化財調査報告書□; \$v 第 18 集

- ・シリーズ内番号がシリーズの本タイトルに不可分な一部として含まれる場合は、その番号
をシリーズの本タイトルの一部として記録する。

・末尾の区切り記号

- ①\$a が続く (サブシリーズの本タイトルを記録する) → ピリオド “.”
- ②\$v がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

●\$x : シリーズの ISSN 等

- ・シリーズの ISSN (例 12)、サブシリーズの ISSN を記録する。

【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、シリーズに対する ISSN であってもフィールド 022 (国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)) に記録している場合がある。

例 12) 490 0# \$6 880-03 \$a 食べもの文化別冊, \$x 0388-9424

- ・シリーズ、サブシリーズのそれぞれに ISSN が付与されている場合は、シリーズの本タイトル、シリーズの ISSN、サブシリーズの本タイトル、サブシリーズの ISSN の順に、サブフィールドを繰り返して記録する (例 13)。

例 13) 490 0# \$6 880-03 \$a Lund△studies△in△geography, \$x 1400-1144□; \$v 101.
\$a Ser.△B,□Human△geography, \$x 0076-1478□; \$v 48

・末尾の区切り記号

- ①\$a が続く (サブシリーズの本タイトルを記録する) → ピリオド “.”
- ②\$v が続く → セミコロン “□;”
- ③\$x がフィールド末尾 → 区切り記号なし。

●\$6: 読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし。

5XX : 注記ブロック

このブロックには、『日本目録規則 2018 年版』(NCR) で規定されるエレメントのうち、体现形に関する注記 (NCR の#2.41)、キャリアに関する注記 (同#2.42) 等を記録する。

■フィールド一覧

- [500 一般注記](#)
- [504 書誌注記](#)
- [505 内容細目等](#)
- [510 雑誌記事索引注記](#)
- [511 出演者注記 \(録音資料・映像資料\)](#)
- [516 電子的内容に関する注記 \(電子資料\) \(不使用\)](#)
- [518 日付および場所に関する注記 \(録音資料・映像資料\)](#)
- [520 要約等](#)
- [521 対象利用者](#)
- [530 別の媒体に関する注記](#)
- [534 原資料等に関する注記](#)
- [536 科学研究費助成事業課題番号 \(科研費課題番号\)](#)
- [538 システム要件に関する注記 \(非図書資料\)](#)
- [546 言語注記](#)
- [550 出版表示等に関する注記](#)
- [555 総目次・総索引注記](#)
- [561 所有・管理履歴](#)
- [563 装丁に関する注記](#)
- [580 リンクに関する注記](#)
- [586 賞 \(映像資料\)](#)
- [588 識別の基盤に関する注記](#)

上記以外のフィールドは、不使用。また、フィールド 516 は、2021 年 1 月以降は不使用。

500 一般注記

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	一般注記	必須	不可	#2.41.1～ #2.41.7 等

このフィールドには、注記ブロック（フィールド 5XX）の他のフィールドに記録しない注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：一般注記

- ・一般注記を記録する。一般注記が複数ある場合は、特定のエレメントに関する注記以外のもの、特定のエレメントに関する注記の順にフィールドを繰り返して記録する。
- ・同一のエレメントに関する注記が複数ある場合は、コンマ、スペース“ ”、“□”で連結して記録する。ただし、この形式によらない場合もある。

例1) 500 ## \$a 複製および翻刻

例2) 500 ## \$a 会期・会場:□2007年4月21日-6月17日□宇都宮美術館ほか

例3) 500 ## \$a 背のタイトル:□シュルレアリスムと美術-イメージとリアリティーをめぐって

例 4) 500 ## \$a 画:□池田宗隆

- ・【2020年12月までに作成したデータ】並列タイトル・原タイトルでない外国語のタイトルおよび情報源によって異なるタイトルのうち、フィールド 245 (タイトル、責任表示)、490 (シリーズ表示) に記録しなかったタイトルはここに記録する。
- ・資料本体と分離する付属資料は、原則としてフィールド 300 (キャリアに関する情報: 数量、大きさ等) に記録するが、ここに記録している場合がある。
- ・付属資料のタイトル等を記録する際は、導入句「付属資料: □」の後に続けてここに記録する (例 6)。

例 6) 300 ## \$a 1 冊□(ページ付なし)□; \$c 26□×□26△cm□+ \$e 23△p
500 ## \$a 付属資料:□23△p□:□ミニ恐竜図鑑

- ・単行資料について原タイトルを記録する場合は、導入句「原タイトル: □」の後に続けて記録する (例 7)。抄訳等の情報は丸がっこで付加する (例 8)。原タイトルはフィールド 740 (非統制形アクセス・ポイント (タイトル)) にも記録する。

例 7) 500 ## \$a 原タイトル:□How△to△heal△a△broken△wing

例 8) 500 ## \$a 原タイトル:□The△violet△fairy△book□(抄訳)

- ・同じ媒体の別の版に関する情報を記録する (例 9)。

例 9) 500 ## \$a 初回限定 A 盤

- ・記述対象資料そのもののキャリアに関する情報を記録する。録音資料や映像資料のキャリアに関する情報は、形態等ブロック (3XX フィールド) またはフィールド 538 (システム要件に関する注記) に記録する。逐次刊行資料については、記述対象資料とは異なるキャリアに関する情報は、フィールド 530 (別の媒体に関する注記) に記録する。
- ・単行資料について、資料の容器および容器の大きさに関する注記はここに記録する (例 10、11)。

例 10) 500 ## \$a 箱入

例 11) 500 ## \$a 外箱入□(38△cm)

504 書誌注記

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	書誌注記	必須	不可	#5.16 #43.1

このフィールドには、付加的内容のうち書誌、年譜、年表等についての注記を記録する。
フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：書誌注記

- ・書誌注記を記録する。書誌注記が複数ある場合はフィールドを繰り返して記録する。

例1) 504 ## \$a 文献あり

504 ## \$a 年表あり

505 内容細目等

■第1インディケータ：固定表示文字列

0 内容

■第2インディケータ：内容のレベル

一括内容細目

0 分割内容細目

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	内容細目等	あれば必須	不可	#2.11 #43.3
\$g	その他の情報	あれば必須	可	
\$r	責任表示	あれば必須	可	
\$t	タイトル	あれば必須	可	

このフィールドには、内容細目等を記録する。書誌、年譜、年表等についてはフィールド 504（書誌注記）に記録する。また、録音資料と映像資料の 505\$a に記録した内容細目の責任表示については、フィールド 511（出演者注記）に記録する場合もある。

同一の順序内の内容細目は、同一フィールド内にサブフィールドを繰り返して記録する（例 3）。ただし、必要に応じて、同一の順序内の内容細目であっても、フィールド 505 を繰り返して記録していることがある。

異なる順序付けの内容細目は、フィールド 505 を繰り返して記録する（例 9）。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2011 年 11 月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、書誌、年譜、年表等について、当フィールドに記録している場合がある。また、フィールド 505 を繰り返して片仮名読み形を記録している場合がある。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】フィールド 505 を繰り返す場合を除き、フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）。図書について、すべてのフィールド 505 の末尾にピリオド“.”を付している場合がある。

●\$a : 内容細目等

- ・原則として、地図資料、録音資料、映像資料の内容細目等を記録する（例 1、2、3）。

例 1) 505 0# \$a 蝦夷唐太写真.□今蝦夷地形図.□蝦夷詳図.□蝦夷島地図

例 2) 505 0# \$a DISC1(1)長崎の鐘(藤山一郎)(2)オリンピックの歌(藤山一郎,荒井恵子)(3)ホームラン・ブギ(笠置シズ子)(4)丘は花かざり(藤山一郎)(5)アデュー(淡谷のり子)

例 3) 505 0# \$a DISC2(1)芸道一代(美空ひばり)(2)熱袴(美空ひばり)(3)別れてもありがとう(美空ひばり)(4)人生将棋(美空ひばり)(5)この道を行く(美空ひばり)

- ・【2011 年 11 月までに作成したデータ】複数巻単行資料の包括的記述において、各巻のタイトル等のデータをここに記録している場合もある。

●\$g : その他の情報

- ・内容細目に対する注記を丸がっこ“()”で囲み記録する。
- ・同一順序内の異なる内容細目に対する注記は、原則として同一フィールド内にサブフィールドを繰り返して記録する（例 4）。
- ・一つの内容細目に対して 2 以上の注記がある場合は、同一サブフィールド内に区切り記号で連結して記録する。同種の注記はコンマ、スペース“,□”で連結する。異なる種類の注記はスペース“□”で連結する（例 5）。

例 4) 505 00 \$t 聯珠類聚方□/ \$r 尾台武雄□撰 \$g (稿本). \$t 信古堂丸散方萃□/ \$r 尾台武雄□纂集 \$g (稿本). \$t 徳本翁方纂□/ \$r 尾台武雄□編 \$g (自筆稿本)

例 5) 505 00 \$t [延宝年中長岡城下図] \$g (延宝年間製作,□文化二年模写の複製). \$t 長岡市地図 \$g (1:10000□目黒書店□昭和 18 年刊の複製)

- ・末尾の区切り記号

①\$t が続く → ピリオド“.”

②\$g がフィールド末尾（別のフィールド 505 が続く） → 区切り記号なし。

③\$g がフィールド末尾（別のフィールド 505 が続かない） → 区切り記号なし。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”

●\$r：責任表示

- ・内容細目の責任表示を記録する。
- ・名称と役割を示す語句はスペース“□”で連結する。一つの内容細目に対して責任表示が複数ある場合は、同一サブフィールド内に区切り記号で連結して記録する。同一の役割のもとに名称が複数ある場合は、コンマ、スペース“，□”で連結する（例6）。役割が異なる名称が複数ある場合はスペース、セミコロン、スペース“□；□”で連結する（例7）。

例6) 505 00 \$t 鼎談江戸川乱歩と大衆の二十世紀□/ \$r 川本三郎,□桜井哲夫,□藤井淑禎□述

例7) 505 00 \$t 未完小説草稿. \$t 怪物□/ \$r 江戸川乱歩□著□;□藤井淑禎□解説

- ・同一順序内の異なる内容細目の責任表示は、原則として同一フィールド内にサブフィールドを繰り返して記録する（例8）。

例8) 505 00 \$t 死者はさまよう□/ \$r 松原由美子□著. \$t ママはゴースト□/ \$r 石川千穂子□著. \$t 火の玉を追うネコ□/ \$r 中村文人□著. \$t さいごの写真□/ \$r たけたにちほみ□著

- ・末尾の区切り記号

- ①\$gが続く → 区切り記号なし。
- ②別の\$tが続く → ピリオド“.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）
- ③\$rがフィールド末尾（別のフィールド505が続かない） → 区切り記号なし。
【2020年12月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）
- ④\$rがフィールド末尾（別のフィールド505が続く） → 区切り記号なし。

●\$t：タイトル

- ・内容細目のタイトルを記録する。同一順序内で複数の内容細目がある場合は、原則として同一フィールド内にサブフィールドを繰り返して記録する（例9）。

例9) 505 00 \$t スタン・ボロバン. \$t みどり色のさる. \$t とぶ船. \$t マドシャン. \$t 妖精のしくじり

- ・順序付けを記録する場合もここに記録する（例10）。

例 10) 505 00 \$t 卷 10. \$t 読書法.□上
505 00 \$t 卷 11. \$t 読書法.□下

- ・複数巻単行資料の包括的記述において、各巻のタイトルが複数ある場合の各巻のタイトルもここに記録する（例 11）。

【2011 年 11 月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、\$a に記録している場合がある。

例 11) 505 00 \$t 骨董□/\$r 大谷正信,□田部隆次□訳
505 00 \$t 怪談□/\$r 戸川明三□等訳
505 00 \$t 天の河縁起□:□そのほか□/\$r 大谷正信,□田部隆次□訳

- ・\$t に記録するタイトルの関連情報（例 11）や巻次（例 12）も同一サブフィールド内に区切り記号で連結して記録する。

例 12) 505 00 \$t 庖厨備用倭名本草.□卷 1-7□/\$r 向井元升□著 \$g (国立国会図書館白井文庫蔵□貞享元年刊)

- ・末尾の区切り記号

①別の\$tが続く → ピリオド“.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）

②\$rが続く → スラッシュ“□/”

③\$gが続く → 区切り記号なし。

④\$tがフィールド末尾（別のフィールド505が続かない） → 区切り記号なし。

【2020 年 12 月までに作成したデータ】 → ピリオド“.”（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）

⑤\$tがフィールド末尾（別のフィールド505が続く） → 区切り記号なし。

510 雑誌記事索引注記

■第1インディケータ：記事採録範囲

2 索引サービス（選択的に採録）

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し NDL 運用上不可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	索引サービスの名称	必須	不可	#43.1
\$b	記事採録期間	あれば必須	不可	

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、逐次刊行資料の「国立国会図書館雑誌記事索引」への採録に関する注記を記録する。フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：索引サービスの名称

- ・常に「国立国会図書館雑誌記事索引」を記録する。

●\$b：記事採録期間

- ・逐次刊行資料が「国立国会図書館雑誌記事索引」に採録されている期間を記録する。
- ・記事採録を開始した巻次・年月次および終了した巻次・年月次をハイフン“-”で連結して記録する（例1）。記事採録を終了した巻次・年月次がない場合は、ハイフン“-”の後ろに何も入れない（例2）。

例1) 510 2# \$a 国立国会図書館雑誌記事索引 \$b (29):1980.3-(44):1995.

例2) 510 2# \$a 国立国会図書館雑誌記事索引 \$b (1):2011-

- ・記事採録期間が複数ある場合、年月の早い順に期間の間をセミコロン“;”で連結し

て記録する。

511 出演者注記（録音資料・映像資料）

■第1インディケータ：固定表示文字列

0 固定表示文字列なし

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード	要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	出演者注記	必須	不可 #2.41.2

このフィールドは、録音資料と映像資料についてのみ使用し、内容細目の責任表示、および責任表示に記録しなかった出演者や演奏者等に関する注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：出演者注記

- 内容細目の責任表示、および責任表示に記録しなかった出演者や演奏者等を、役割を示す語句と共に記録する。

例1) 511 0# \$a 演奏:アラ・ソレンコワ(S)□リチャード・タッカー(T)□アーウィン・ジョスペ, エフゲニー・カンゲル(P)

例2) 511 0# \$a 演出:ユ・インシク□出演:ハン・ソッキュ/ユ・ヨンソク/ソ・ヒョンジン/ヤン・セジョン□声の出演:咲野俊介/岡野友佑/葉山那奈/橋本祐樹

516 電子的内容に関する注記（電子資料）（不使用）

■第1インディケータ：固定表示文字列

ファイル形式

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	電子的内容に関する注記	必須	不可	

【2020年12月までに作成したデータで使用】

2021年1月から作成するデータでは使用しない。フィールド347（キャリアに関する情報：デジタル・ファイルの特性）を使用する。

このフィールドは、電子資料についてのみ使用し、電子的内容に関する注記を記録する。

フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない）。

●\$a：電子的内容に関する注記

- ・電子的内容に関する注記を記録する。
- ・複数の電子的内容に関する注記を記録する場合は、コンマ、スペース“，□”で連結して記録する（例1）。

【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、同一のフィールド内ではなく、フィールド516を繰り返して記録していることもある。

例1) 516 ## \$a PDF 形式, □HTML 形式.

518 日付および場所に関する注記（録音資料・映像資料）

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	日付および場所に関する注記	必須	不可	#5.11

このフィールドは、録音資料と映像資料についてのみ使用し、日付および場所に関する注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：日付および場所に関する注記

- ・収録や製作に関する日付と場所を記録する。会議等の会期・会場に関する注記は、フィールド500（一般注記）に記録する。

例1) 518 ## \$a 収録:□1977年7月□サンケイホール□(大阪)

例2) 518 ## \$a 2009年イギリス作品

520 要約等

■第1インディケータ：固定表示文字列

- 1 レビュー（アジア言語資料で2023年4月以降使用）
- 8 固定表示文字列なし

■第2インディケータ：未定義

- # 未定義
-

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	要約等	必須	不可	#5.10

このフィールドは、単行資料でのみ使用し、記述対象資料の内容の抄録、要約、あらすじなどを記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：要約等

- ・電子資料について、必要に応じて記述対象資料の内容の抄録、要約、あらすじなどを記録する。

例) 520 8# \$a ロールプレイング・ゲーム

- ・アジア言語資料について、必要に応じて記述対象資料の解題等を記録する。

521 対象利用者

■第1インディケータ：固定表示文字列

8 固定表示文字列なし

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	対象利用者	必須	可	#4.21

このフィールドは、図書および地図資料についてのみ使用し、資料の内容が対象とする利用者についての情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：対象利用者

- ・資料の内容が対象とする利用者についての情報を記録する。

例) 521 8# \$a 成年コミック

530 別の媒体に関する注記

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	別の媒体に関する注記	必須	不可	#43.3

このフィールドには、記述対象資料とは別の媒体に関する注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

【2011年11月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、記述対象資料そのもののキャリアに関する情報や、録音資料や映像資料のキャリアに関する情報をフィールド530に記録している場合もある。

●\$a：別の媒体に関する注記

- ・記述対象資料とは異なる媒体がある場合、異なる媒体の情報を記録する（例1）。
- ・同じ媒体の別の版がある場合はフィールド500（一般注記）に記録する。
- ・記述対象資料そのもののキャリアに関する情報は形態等ブロック（3XX フィールド）またはフィールド500（一般注記）に記録する。録音資料や映像資料のキャリアに関する情報は、形態等ブロック（3XX フィールド）またはフィールド538（システム要件に関する注記）に記録する。

例1) 530 ## \$a 同一タイトルの Blu-ray 版あり

534 原資料等に関する注記

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$c	原資料等の出版表示等	あれば必須	不可	#43
\$l	原資料等の所蔵情報	任意	不可	#43
\$n	原資料等に関する注記	任意	可	#43
\$p	説明句	当館運用上 任意	不可	#43
\$t	原資料等のタイトル	あれば必須	不可	#43

このフィールドには、記述対象資料が複製である場合に、複製資料の原資料に関する注記を記録する。また、記述対象資料が複製でない場合に、当該記述対象資料と関連する資料に関する注記を記録することもある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$c：原資料等の出版表示等

・原資料等の出版地、出版者等を記録する（例1～4）。

●\$l：原資料等の所蔵情報

・原資料等の出版表示等が判明しない場合に、原資料等の所蔵情報を記録する（例5）。個人が原資料を所蔵している場合は記録しない。

- \$n：原資料等に関する注記
 - ・原資料等について記録する際、注記すべき情報があればここに記録する（例 6）。
 - ・原資料等のタイトルが複数ある場合、2 番目以降のタイトルをここに記録する（例 2）。

- \$p：説明句
 - ・原資料等に関する注記の説明句を記録する（例 1～4）。
 - ・記述対象資料と関連する資料のタイトル、出版表示等、所蔵情報を記録する際、「改題」「改訂」「増訂」「増補」「複製」等、その関連を示す用語をここに記録する。

- \$t：原資料等のタイトル
 - ・原資料等のタイトルと記述対象資料のタイトルが異なる場合、原資料等のタイトルを記録する（例 1）。
 - ・原資料等のタイトルが複数ある場合は、2 番目以降のタイトルを\$n に記録する（例 2）。

例 1) 原資料等のタイトル、出版表示等、説明句を記録する場合

534 ## \$t 「風俗時評」 \$c (東洋経済新報社□昭和 28 年刊) \$p の増補、編纂

例 2) 複数の原資料等のタイトル、出版表示等、説明句を記録する場合

534 ## \$t 「宇都宮市史」 \$c (下野史談会□昭和 3 年刊) \$p と \$n 「宇都宮誌」
□(下野史談会□大正 15 年刊)□の複製,□合本

例 3) 原資料等の出版表示等、説明句を記録する場合

534 ## \$c 全国営業便覧発行所□明治 37 年刊 \$p の複製

例 4) 原資料等の出版表示等のみ記録する場合

534 ## \$p 原本: \$c 東京□:□新詩社,□明治 33-41

例 5) 原資料等の所蔵機関、説明句を記録する場合

534 ## \$l 東北大学付属図書館蔵 \$p の複製

例 6) 定形の注記でない場合

534 ## \$n 原資料の本タイトル:□長崎新聞□(1 号-433 号),□長崎日日新聞□(434 号-450 号)

536 科学研究費助成事業課題番号（科研費課題番号）

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	補助金情報	あれば必須	不可	
\$f	科研費課題番号	あれば必須	可	

このフィールドには、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）の採択課題に付された課題番号を記録する。課題番号は、1980年までは6桁、以降は8桁である。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：補助金情報

- ・常に「科研費課題番号」を記録する。

例1) 536 ## \$a 科研費課題番号

●\$f：科研費課題番号

- ・科研費課題番号を記録する。

例2) 536 ## \$a 科研費課題番号 \$f 08304046

例3) エラーコードを記録する場合

536 ## \$a 科研費課題番号 \$f 17390126 \$f 30126809□(エラーコード)

538 システム要件に関する注記（非図書資料）

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	システム要件に関する注記	必須	不可	#2.29.7.1 #2.29.8 #2.33 #2.42.3 #5.12 #5.17 #5.19

このフィールドは、電子資料、録音資料、映像資料についてのみ使用し、システム要件に関する注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：システム要件に関する注記

・電子資料の装置・システム要件を記録する（例1、3）。

例1) 538 ## \$a PlayStation△2

・録音資料、映像資料について、キャリアに関する情報のうち、形態等ブロック（3XXフィールド）に記録するもの以外の情報を記録する。

- ・録音資料、映像資料、録音を主な内容とする電子資料について、再生チャンネルの詳細、特定の再生仕様などの録音の特性等を記録する（例 2）。

例 2) 538 ## \$a SHM-CD

- ・映像資料について、内容の言語、色彩、画面アスペクト比等を記録する（例 4）。
- ・複数の注記を記録する場合、フィールドを繰り返して記録する（例 3、4）。

例 3) 538 ## \$a OS:Windows△10/8.1△update日本語版

538 ## \$a CPU:Windows△10/8.1△update:1△GHz 以上

538 ## \$a メモリ:Windows△10/8.1△update (32 ビット版):1△GB 以上,
Windows△10/8.1△update (64 ビット版):2△GB 以上

538 ## \$a HDD:300△MB 以上の空き容量

538 ## \$a ディスプレイ:Highcolor (16 ビット)以上,1024×768 ドット以上

例 4) 538 ## \$a カラー,スタンダード

538 ## \$a 音声:英 (5.1),英 (DTS/5.1),日 (5.1),日 (PCM),音声解説

538 ## \$a 字幕:日,英,吹替用

546 言語注記

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	言語注記	あれば必須	不可	#5.12 #5.27.1
\$b	表記法	任意	可	#5.13.2 #5.13.3

このフィールドには本文の言語に関する注記および表記法を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：言語注記

- ・本文の言語に関する注記を記録する。

例1) 546 ## \$a ポルトガル語併記

例2) 546 ## \$a 英語併載

●\$b：表記法

- ・非図書資料について、楽譜の記譜法（例3）および触知資料の表記法（例4）を記録する。
- ・楽譜の記譜法または触知資料の表記法が複数ある場合、サブフィールドを繰り返して記録する（例3）。

- ・楽譜の記譜法の詳細は、記譜法に続けて丸がっこ“()”を付加して記録する(例 3)。
- ・触知資料の表記法の詳細は、表記法に丸がっこ“()”を付加して記録する(例 4)。
- ・逐次刊行資料について、触知資料の表記法の詳細のみを記録する(例 5)。

例 3) 546 ## \$b 譜線記譜法 \$b タブラチュア□(尺八譜)

例 4) 546 ## \$b 触図□(墨字併記)

例 5) 546 ## \$b 墨字併記

550 出版表示等に関する注記

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドNDL運用上任意 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード	要求度	繰り返し	NCR条項
\$a	出版表示等に関する注記	必須	不可 #2.41.5 ~ #2.41.6

このフィールドは逐次刊行資料についてのみ使用し、逐次刊行資料の出版表示等に関する注記を記録する。単行資料の出版表示等に関する注記はフィールド500（一般注記）に記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：出版表示等に関する注記

- ・逐次刊行資料の出版表示等に関する注記を記録する。
- ・出版者等の変遷がある場合、ここに記録する。
- ・出版者等の表示がなく、会議等の主催者を出版表示に補記した場合は、主催者名を注記する。
- ・「発行所」と表示されている団体について、ここに記録している場合がある（例2）。
- ・共同刊行者がある場合は、フィールド264（出版表示等）に記録する。

例1) 出版者の変遷を記録する場合

550 ## \$a 出版者変遷:□樹海社□(-69号)

例 2) 「発行所」と表示されている団体を記録する場合

550 ## \$a 発行所:□漢方医学社

555 総目次・総索引注記

■第1インディケータ：固定表示文字列

総目次・総索引

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	総目次・総索引注記	あれば必須	不可	#5.16 #43.1

このフィールドは逐次刊行資料についてのみ使用し、付加的内容および著作間の関連のうち総目次・総索引の情報を注記として記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：総目次・総索引注記

- ・総目次・総索引の情報を注記として記録する。総目次・総索引が存在する場合は 008/25-27（一般コード化情報（逐次刊行資料）構成レベルの資料形式）を「i##」とする。

例) 008/25-27 i##

555 ## \$a 1号から30号までの総目次:□35号収載

561 所有・管理履歴

■第1インディケータ：個人情報の有無

- # 不明
1 個人情報なし（2012年1月以降、不使用）

■第2インディケータ：未定義

- # 未定義

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	所有・管理履歴	必須	不可	#3.1

このフィールドには、過去の所蔵等に関する注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：所有・管理履歴

- ・その資料に印記があるときは必要に応じて注記する（例1）。
- ・その資料の旧蔵者が判明するときは必要に応じて注記する。
- ・寄贈本は、寄贈者を必要に応じて注記する。
- ・国立国会図書館において与えられたコレクション名がある場合は必要に応じて注記する（例2）。

例1) 561 ## \$a 印記:□讀杜艸堂

例2) 561 ## \$a 白井文庫

563 装丁に関する注記

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意			
フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード	要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	装丁に関する注記	必須	不可 #2.42.0.3.1

このフィールドには、装丁に関する注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：装丁に関する注記

- ・「和装」という語のみを記録する。「一部和装本」「ルーズリーフ」「未装丁」「箱入」「帙入」等の語はフィールド 500（一般注記）に記録する。

例) 563 ## \$a 和装

580 リンクに関する注記

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	リンクに関する注記	必須	不可	#43.1 #43.2 #43.3

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、当該記述対象資料の資料に関するリンクブロック（フィールド 76X-78X）を作成できない場合に、リンク先に関する注記を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にピリオド“.”を付している（ただし、他の記号の直後となる場合は記録しない。）。

●\$a：リンクに関する注記

- ・資料に関するリンクブロック（フィールド 76X-78X）を作成できない場合、リンク先に関する注記を記録する。

例 1) 580 ## \$a 継続後:□文化財事業報告

例 2) 580 ## \$a 原言語版:□Nutrition△reviews

586 賞（映像資料）

■第1インディケータ：固定表示文字列

8 固定表示文字列なし

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	賞	必須	不可	#5.26

このフィールドは、映像資料についてのみ使用し、授賞団体による公式の顕彰である賞に関する情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：賞

・映像資料の賞について、その名称、受賞年などを記録する。

例 1) 586 8# \$a ヴェネチア国際映画祭金獅子賞,□1988 年

588 識別の基盤に関する注記

■第1インディケータ：固定表示文字列

固定表示文字列なし

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	識別の基盤に関する注記	必須	不可	#2.41.12

このフィールドには、複数巻単行資料または逐次刊行資料について、最初の巻号を識別の基盤としなかった場合の、識別の基盤とした部分（巻号）の情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：識別の基盤に関する注記

- ・識別の基盤とした巻号を記録する。

例 1) 588 ## \$a 識別の基盤は 15 巻 3 号による

6XX : アクセス・ポイントブロック (件名)

このブロックには、『日本目録規則 2018 年版』(NCR) で規定されるエレメントのうち、資料と主題との関連 (NCR の#45 (保留)) を、典拠形アクセス・ポイント (件名) および識別子、または非統制形アクセス・ポイントにより記録する。

■フィールド一覧

- [600 典拠形アクセス・ポイント \(件名\) : 個人、家族](#)
- [610 典拠形アクセス・ポイント \(件名\) : 団体](#)
- [630 典拠形アクセス・ポイント : 統一タイトル件名](#)
- [650 典拠形アクセス・ポイント : 普通件名](#)
- [651 典拠形アクセス・ポイント \(件名\) : 場所](#)
- [653 非統制形アクセス・ポイント \(件名\)](#)
- [655 典拠形アクセス・ポイント : ジャンル・形式用語](#)

上記以外のフィールドは、不使用。

600 典拠形アクセス・ポイント（件名）：個人、家族

■第1インディケータ：実体種別

- 1 個人
- 3 家族

■第2インディケータ：情報源

- 7 \$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	優先名称	必須	不可	#45（保留）
\$b	世系	あれば必須	不可	#45（保留）
\$c	識別要素	あれば必須	NDL 運用 上不可	#45（保留）
\$d	生年、没年等	あれば必須	不可	#45（保留）
\$q	展開形	あれば必須	不可	#45（保留）
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用上 必須	NDL 運用 上不可	#45（保留）
\$2	情報源	NDL 運用上 必須	不可	
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドは図書についてのみ使用し、記述対象資料が主題としている個人および家族に対する典拠形アクセス・ポイント（件名）ならびにその識別子を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：優先名称

- ・個人または家族の優先名称を記録する。
- ・個人の優先名称は姓名の順に記録し、姓と名の間をコンマ、スペース“，□”で区切る（例 1）。姓名形でない場合は、全体を一語として記録する（例 2）。

- ・敬称等は基本的に記録しないが、識別上必要な場合は、\$a に含めて記録する。
- ・家族の優先名称に家族のタイプや家族と結びつく場所等の識別要素を付加する場合は、\$c には記録せず、\$a に丸がっこ“()”で付加する(例3)。ただし、識別要素として初出資料の出版年(月)等を記録する場合には\$c に、家族と結びつく日付を記録する場合には\$d に記録するときがある。

・末尾の区切り記号

- ①\$b が続く → 区切り記号なし。
- ②\$c または\$d が続く → コンマ“,”
- ③\$q または\$0 または\$2 が続く → 区切り記号なし。

●\$b : 世系

- ・個人の優先名称に付加する世系を記録する(例4)。ここに記録する要素には「家系」「屋号」等がある。
- ・原則として「～世」を採用するが、先代が「～代目」「～代」を採用している場合にはそれに倣う。
- ・原則として優先名称で使用した言語で世系を記録し、漢数字はアラビア数字に置き換えて記録する。ただし、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の世系はラテン文字またはラテン文字の組み合わせにより、ローマ数字を表現して記録する(例5)。
- ・【2020年12月までに作成したデータ】典拠データの作成年代によっては、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称をラテン文字で記録する場合も、日本語で世系を記録している。

・末尾の区切り記号

- ①\$c または\$d が続く → コンマ“,”
- ②\$q または\$0 または\$2 が続く → 区切り記号なし。

●\$c : 識別要素

- ・個人の優先名称に付加する世系、生年および(または)没年のみでは同姓同名の識別が困難な場合や、識別上必要な生年および(または)没年が判明しない場合は、職業、活動分野、初出資料の出版年(月)等をここに記録する(例6)。
- ・個人の優先名称の王族の称号、貴族の称号や聖職者であることを示す語句をここに記録する(例5)。原則として優先名称と同一の言語で記録するが、判明しない場合は日本語で記録する。
- ・家族のタイプが同じで、識別上必要な家族と結びつく場所、家族の著名な構成員、家族と結びつく日付が判明しない場合は、初出資料の出版年(月)をここに丸がっこ“()”

で囲んで記録する。

- 【2020年12月までに作成したデータ】典拠データの作成年代によっては、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称をラテン文字で記録する場合に、優先名称と同一の言語による称号等が判明するときも、日本語で称号等を記録している。

- 末尾の区切り記号

①\$dが続く → コンマ“,”

②\$qまたは\$0または\$2が続く → 区切り記号なし。

- \$d：生年、没年等

- 個人の生年および（または）没年を記録する。原則としてすべて西暦で記録するが、生年および（または）没年がはっきりしない場合には、年代を限定できる何らかの語句を記録することがある（例7）。
- 生年と没年はハイフン“-”で結んで記録する。
- 生年のみの場合には生年のあとにハイフンを、没年のみの場合には没年の前にハイフンを記録する。
- 家族と結びつく日付として、家族の主な活動地での活動期間、または家族の最終の居住地に移住した日付を選択し、年を丸がっこ“()”で囲んで記録する。原則として西暦で記録するが、活動期間や移住した年がはっきりしない場合には、年代を限定できる何らかの語句を丸がっこ“()”で囲んで記録することがある。

- 末尾の区切り記号

①\$d“YYYY-”で\$cが続く → 区切り記号なし。

②①以外で\$cが続く → コンマ“,”

③\$0または\$2が続く → 区切り記号なし。

- \$q：展開形

- \$aにLC典拠データの優先名称を採用する場合に、ラテン文字等から成る個人の優先名称またはその一部が、イニシャル、略語、短縮形などであるときは、展開形（完全な形）の全体を丸がっこ“()”で囲んで記録する（例8）。
- 上記以外の場合は、展開形（完全な形）を\$aに記録し、\$qを記録しないことがある。

- 末尾の区切り記号

①\$cまたは\$dが続く → コンマ“,”

②\$0または\$2が続く → 区切り記号なし。

- \$0：典拠レコード管理番号
 - ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC 典拠編』（以下『JAPAN/MARC(A)』）における典拠レコード管理番号と同一のものである。
 - ・末尾の区切り記号なし。

- \$2：情報源
 - ・常に「ndlsh」を記録する。「ndlsh」は、このフィールドに記録する用語が「国立国会図書館件名標目表」の用語であることを示す、MARC 21 の [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。
 - ・末尾の区切り記号なし。

- \$6：読みの対応関係
 - ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
 - ・末尾の区切り記号なし。

例 1) 600 17 \$a Depp,□Johnny,
 \$d 1963-
 \$0 00650307
 \$2 ndlsh

例 2) 600 17 \$6 880-03
 \$a 空海,
 \$d 774-835
 \$0 00270624
 \$2 ndlsh

例 3) 600 37 \$6 880-03
 \$a 上杉□(家)□(米沢市)
 \$0 00637375
 \$2 ndlsh

例 4) 600 17 \$6 880-04
 \$a 市川,□団十郎
 \$b 2 世,
 \$d 1688-1758
 \$0 00270078

\$2 ndlsh

例 5) 600 17 \$a Paul

\$b VI,

\$c Pope,

\$d 1897-1978

\$0 … (※)

\$2 ndlsh

※例示は仮のもの。\$0には本来、リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。

例 6) 600 17 \$6 880-03

\$a 鈴木,□健二,

\$d 1929-

\$c アナウンサー

\$0 00075507

\$2 ndlsh

例 7) 600 17 \$a 清少納言,

\$d 平安時代

\$0 00271681

\$2 ndlsh

例 8) 600 17 \$a Kennedy,□A.

\$q (Andrew)

\$0 … (※)

\$2 ndlsh

※例示は仮のもの。\$0には本来、リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。

610 典拠形アクセス・ポイント（件名）：団体

■第1インディケータ：名称の形式

2 直接形

■第2インディケータ：情報源

7 \$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	優先名称	必須	不可	#45（保留）
\$v	形式細目	あれば必須	可	#45（保留）
\$x	主題細目	あれば必須	可	#45（保留）
\$y	時代細目	あれば必須	可	#45（保留）
\$z	地名細目	あれば必須	可	#45（保留）
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用上 必須	NDL 運用 上不可	#45（保留）
\$2	情報源	NDL 運用上 必須	不可	
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドは図書についてのみ使用し、記述対象資料が主題としている団体に対する典拠形アクセス・ポイント（件名）およびその識別子を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：優先名称

- ・団体の優先名称を記録する（例 1）。設立年または廃止年、団体の種類、団体と結びつく場所、関係団体を示す語句、書誌作成対象資料（初出資料）の出版（開始）年（月）等の識別要素を付加する場合は、\$a に丸がっこ“()”で付加する（例 2～6）。

- \$v：形式細目
 - ・形式細目を記録する。

- \$x：主題細目
 - ・主題細目を記録する（例 7）。

- \$y：時代細目
 - ・時代細目を記録する。

- \$z：地名細目
 - ・地名細目を記録する（例 7）。

- \$0：典拠レコード管理番号
 - ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』における典拠レコード管理番号と同一のものである。

- \$2：情報源
 - ・常に「ndlsh」を記録する。「ndlsh」は、このフィールドに記録する用語が「国立国会図書館件名標目表」の用語であることを示す、MARC 21 の [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。

- \$6：読みの対応関係
 - ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 610 27 \$6 880-03

\$a 国立国会図書館

\$0 00288347

\$2 ndlsh

例 2) 設立年を付加する場合

610 27 \$6 880-03

\$a 日本総合研究所□(1989 年)

\$0 00258448

\$2 ndlsh

例 3) 廃止年を付加する場合

610 27 \$6 880-03

\$a 民間伝承の会□(-1949年)

\$0 00322727

\$2 ndlsh

例 4) 団体の種類を付加する場合

610 27 \$6 880-03

\$a 共同通信社□(一般社団法人)

\$0 00260048

\$2 ndlsh

例 5) 団体と結びつく場所を付加する場合

610 27 \$6 880-03

\$a 鹿島神宮□(茨城県鹿嶋市)

\$0 00317332

\$2 ndlsh

例 6) 関係団体を示す語句を付加する場合

610 27 \$6 880-03

\$a 社会科教育研究会□(東京学芸大学内)

\$0 00779939

\$2 ndlsh

例 7) 細目を記録する場合

610 27 \$6 880-01

\$a 欧州連合

\$x 外国関係

\$z 日本

\$0 001316414

\$2 ndlsh

630 典拠形アクセス・ポイント：統一タイトル件名

■第1インディケータ：排列無視文字数

0 排列無視文字なし

■第2インディケータ：情報源

7 \$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	優先タイトル	必須	不可	#45 (保留)
\$n	部編等	あれば必須	可	#45 (保留)
\$v	形式細目	あれば必須	可	#45 (保留)
\$x	主題細目	あれば必須	可	#45 (保留)
\$y	時代細目	あれば必須	可	#45 (保留)
\$z	地名細目	あれば必須	可	#45 (保留)
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用上 必須	NDL 運用 上不可	#45 (保留)
\$2	情報源	NDL 運用上 必須	不可	
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドは図書についてのみ使用し、典拠形アクセス・ポイント（統一タイトル件名）およびその識別子を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：優先タイトル

- ・著者の有無にかかわらず、統一タイトル件名の優先タイトルを記録する（例1）。
- ・ジャンル・形式（例2）や著者（例3）等を示す限定語句を記録するときは、サブフィールドで区別せず、\$a に丸がっこ“()”で付加する。

- ・末尾の区切り記号
 - ①\$*n* が続く → ピリオド “.” (ただし、「!」「?’の直後となる場合は記録しない。ピリオドが連続する場合は記録しない。)
 - ②\$v、*x*、*y* または *z* が続く → 区切り記号なし。
 - ③\$0 または \$2 が続く → 区切り記号なし。

- \$*n* : 部編等

- ・部編等のタイトルを記録する。

- ・末尾の区切り記号

- ①\$v、*x*、*y* または *z* が続く → 区切り記号なし。
- ②\$0 または \$2 が続く → 区切り記号なし。

- \$*v* : 形式細目

- ・形式細目を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

- \$*x* : 主題細目

- ・主題細目を記録する (例 2)。
- ・末尾の区切り記号なし。

- \$*y* : 時代細目

- ・時代細目を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

- \$*z* : 地名細目

- ・地名細目を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

- \$0 : 典拠レコード管理番号

- ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』における典拠レコード管理番号と同一のものである。
- ・末尾の区切り記号なし。

- \$2 : 情報源

- ・常に「ndlsh」を記録する。「ndlsh」は、このフィールドに記録する用語が「国立国会図

書館件名標目表」の用語であることを示す、MARC 21 の [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。

- 末尾の区切り記号なし。

- \$6：読みの対応関係

- 「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

- 末尾の区切り記号なし。

例 1) 630 07 \$6 880-03

\$a 純粹理性批判

\$0 00627400

\$2 ndlsh

例 2) ジャンル・形式名を付加し、細目を記録する場合

630 07 \$6 880-04

\$a 舞姫□(小説)

\$x 評釈

\$0 01044624

\$2 ndlsh

例 3) 著者名を付加する場合

630 07 \$6 880-03

\$a 歴史□(Herodotus)

\$0 00949302

\$2 ndlsh

650 典拠形アクセス・ポイント：普通件名

■第1インディケータ：主題レベル

情報なし

■第2インディケータ：情報源

7 \$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	普通件名	必須	不可	#45 (保留)
\$v	形式細目	あれば必須	可	#45 (保留)
\$x	主題細目	あれば必須	可	#45 (保留)
\$y	時代細目	あれば必須	可	#45 (保留)
\$z	地名細目	あれば必須	可	#45 (保留)
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用上 必須	NDL 運用 上不可	#45 (保留)
\$2	情報源	NDL 運用上 必須	不可	
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドは図書についてのみ使用し、典拠形アクセス・ポイント（普通件名）およびその識別子を記録する。

フィールドの末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：普通件名

- ・「国立国会図書館件名標目表」による普通件名を記録する（例1）。芸術分野における様式（例2）や、事件名・戦争名等の年代（例3）等を示す限定語句を付加する場合は、サブフィールドで区別せず、\$a に丸がっこ“()”で付加する。

- \$v：形式細目
 - ・形式細目を記録する（例 4）。

- \$x：主題細目
 - ・主題細目を記録する（例 4）。

- \$y：時代細目
 - ・時代細目を記録する（例 4）。

- \$z：地名細目
 - ・地名細目を記録する（例 4）。

- \$0：典拠レコード管理番号
 - ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。

- \$2：情報源
 - ・常に「ndlsh」を記録する。「ndlsh」は、このフィールドに記録する用語が「国立国会図書館件名標目表」の用語であることを示す、MARC 21 の [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。

- \$6：読みの対応関係
 - ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 650 #7 \$6 880-03

\$a ラジオ放送

\$0 01178450

\$2 ndlsh

例 2) 芸術分野における様式を付加する場合

650 #7 \$6 880-03

\$a 舞踊□(日本)

\$0 00561140

\$2 ndlsh

例 3) 事件名・戦争名等の年代を付加する場合

650 #7 \$6 880-03

\$a 上海事変□(1932)

\$0 00571954

\$2 ndlsh

例 4) 細目を記録する場合

650 #7 \$6 880-03

\$a 気象災害

\$z 日本

\$x 歴史

\$y 中世

\$v 年表

\$0 001168337

\$2 ndlsh

651 典拠形アクセス・ポイント（件名）：場所

■第1インディケータ：未定義

未定義

■第2インディケータ：情報源

7 \$2 に情報源を明示

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	優先名称	必須	不可	#45（保留）
\$v	形式細目	あれば必須	可	#45（保留）
\$x	主題細目	あれば必須	可	#45（保留）
\$y	時代細目	あれば必須	可	#45（保留）
\$z	地名細目	あれば必須	可	#45（保留）
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用上 必須	NDL 運用 上不可	#45（保留）
\$2	情報源	NDL 運用上 必須	不可	
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドは図書および地図資料についてのみ使用し、記述対象資料が主題として
いる場所に対する典拠形アクセス・ポイント（件名）およびその識別子を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記
号なし。

●\$a：優先名称

- 場所の優先名称を記録する。典拠形アクセス・ポイント（件名）としてのみ使用する場所
（例1）のほかに、創作者等に対する典拠形アクセス・ポイントおよび典拠形アクセス・
ポイント（件名）の両方として使用する国名（例2）や地方公共団体名等もここに記録す
る。都道府県名等を付加する場合は、\$a に丸がっこで付加する（例1）。

- \$v：形式細目
 - ・形式細目を記録する。

- \$x：主題細目
 - ・主題細目を記録する（例 3）。

- \$y：時代細目
 - ・時代細目を記録する（例 3）。

- \$z：地名細目
 - ・地名細目を記録する（例 3）。

- \$0：典拠レコード管理番号
 - ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』における典拠レコード管理番号と同一のものである。

- \$2：情報源
 - ・常に「ndlsh」を記録する。「ndlsh」は、このフィールドに記録する用語が「国立国会図書館件名標目表」の用語であることを示す、MARC 21 の [Subject Heading and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。

- \$6：読みの対応関係
 - ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 典拠形アクセス・ポイント（件名）としてのみ使用する場所の場合

```
651 #7 $6 880-04
      $a 銀座□(東京都中央区)
      $0 00649130
      $2 ndlsh
```

例 2) 創作者等に対する典拠形アクセス・ポイントおよび典拠形アクセス・ポイント（件名）の両方として使用する国名の場合

```
651 ## $6 880-04
      $a 日本
      $0 00568158
```

\$2 ndlsh

例 3) 国名に細目を記録する場合

651 #7 \$6 880-04

\$a 日本

\$x 外国関係

\$z フランス

\$x 歴史

\$y 江戸末期

\$0 00617153

\$2 ndlsh

653 非統制形アクセス・ポイント（件名）

■第1インディケータ：索引語レベル

情報なし

■第2インディケータ：名称種別

情報なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード	要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	非統制形アクセス・ポイント（件名）	必須	可 #45（保留）

このフィールドには、2015年4月以降、非統制形アクセス・ポイント（件名）を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、サブフィールド末尾に区切り記号なし。

●\$a：非統制形アクセス・ポイント（件名）

- ・資料の主題を表すキーワードを記録する。
- ・複数のキーワードを付与する場合は、フィールド653を繰り返して記録する。
- ・細目を付与する場合は、細目の種類に関わらず、サブフィールド\$aを繰り返して記録する。

例1) 653 ## \$a 児童図書

\$a 書目

\$a 解題

655 典拠形アクセス・ポイント：ジャンル・形式用語

■第1インディケータ：用語のタイプ

基本形

■第2インディケータ：情報源

7 \$2に情報源を明示

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	ジャンル・形式用語	必須	不可	
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用 上必須	NDL 運用 上不可	
\$2	情報源	NDL 運用 上必須	不可	
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには、ジャンル・形式用語の典拠形アクセス・ポイントおよびその識別子を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールド末尾に区切り記号なし。

●\$a：ジャンル・形式用語

- ・「国立国会図書館ジャンル・形式用語表」によるジャンル・形式用語を記録する（例 1）。記述対象資料が複数のジャンル・形式に該当する場合は、フィールド 655 を繰り返して記録する（例 2）。

●\$0：典拠レコード管理番号

- ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。

●\$2：情報源

・常に「ndlgft」を記録する。「ndlgft」は、このフィールドに記録する用語が「国立国会図書館ジャンル・形式用語表」の語彙であることを示す、MARC 21 の [Genre/Form Code and Term Source Codes](#) に掲載されているコード値である。

●\$6：読みの対応関係

・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 655 #7 \$6 880-03

\$a 漫画

\$0 001347325

\$2 ndlgft

例 2) 655 #7 \$6 880-03

\$a 児童図書

\$0 001347327

\$2 ndlgft

655 #7 \$6 880-04

\$a 漫画

\$0 001347325

\$2 ndlgft

70X-75X : アクセス・ポイントブロック (創作者等)

このブロックには、『日本目録規則 2018 年版』(NCR) で規定されるエレメントのうち、資料に関する基本的関連 (NCR の#42)、資料に関するその他の関連 (同#43) および資料と個人・家族・団体との関連 (同#44) を、典拠形アクセス・ポイントおよび識別子、または非統制形アクセス・ポイントにより記録する。

シリーズの創作者等に対する典拠形アクセス・ポイントについては、80X-83X ブロック (アクセス・ポイントブロック (シリーズの創作者等)) を参照のこと。

■フィールド一覧

- [700 典拠形アクセス・ポイント \(創作者等\) : 個人、家族](#)
- [710 典拠形アクセス・ポイント \(創作者等\) : 団体](#)
- [720 非統制形アクセス・ポイント \(創作者等\)](#)
- [730 典拠形アクセス・ポイント : 著作](#)
- [740 非統制形アクセス・ポイント \(タイトル\)](#)

上記以外のフィールドは、不使用。

700 典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：個人、家族

■第1インディケータ：実体種別

- 1 個人
- 3 家族

■第2インディケータ：記述のタイプ

- # 情報なし（本タイトルに関わる創作者等の場合）
- 2 資料の部分（内容細目に関わる創作者等の場合）

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	優先名称	必須	不可	#44.1 #44.2
\$b	世系	あれば必須	不可	#44.1 #44.2
\$c	識別要素	あれば必須	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$d	生年、没年等	あれば必須	不可	#44.1 #44.2
\$e	関連指示子	任意	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$q	展開形	あれば必須	不可	#44.1 #44.2
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用上 必須	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには、記述対象資料によって具体化された著作の創作者等に該当すると判断した個人および家族に対する典拠形アクセス・ポイントおよびその識別子を記録する。フィールド 245（タイトル、責任表示）、250（版表示）、264（出版表示等）、500（一般注

記)、505 (内容細目) に記録した内容に含まれる個人および家族に対する典拠形アクセス・ポイントを記録する場合がある他、図書における記念論文集の被記念者等を記録する場合がある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a : 優先名称

- ・個人または家族の優先名称を記録する。
- ・個人の優先名称は姓名の順に記録し、姓と名の間をコンマ、スペース“ , ”で区切る (例 1)。姓名形でない場合は、全体を一語として記録する (例 2)。
- ・敬称等は基本的に記録しないが、識別上必要な場合は、\$a に含めて記録する。
- ・家族の優先名称に家族のタイプや家族と結びつく場所等の識別要素を付加する場合は、\$c には記録せず、\$a に丸がっこ“()”で付加する。ただし、識別要素として初出資料の出版年(月)等を記録する場合には\$c に、家族と結びつく日付を記録する場合には\$d に記録するときがある。

・末尾の区切り記号

- ①\$b が続く → 区切り記号なし。
- ②\$c または\$d が続く → コンマ“ , ”
- ③\$e または\$q または\$0 が続く → 区切り記号なし。

●\$b : 世系

- ・個人の優先名称に付加する世系を記録する (例 3)。ここに記録する要素には「家系」「屋号」等がある。
- ・原則として「～世」を採用するが、先代が「～代目」「～代」を採用している場合にはそれに倣う。
- ・原則として優先名称で使用した言語で世系を記録し、漢数字はアラビア数字に置き換えて記録する。ただし、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の世系はラテン文字またはラテン文字の組み合わせにより、ローマ数字を表現して記録する (例 4)。
- ・【2020年12月までに作成したデータ】典拠データの作成年代によっては、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称をラテン文字で記録する場合も、日本語で世系を記録している。

・末尾の区切り記号

- ①\$c または\$d が続く → コンマ“ , ”
- ②\$e または\$q または\$0 が続く → 区切り記号なし。

●\$c：識別要素

- ・個人の優先名称に付加する世系、生年および（または）没年のみでは同姓同名の識別が困難な場合や、識別上必要な生年および（または）没年が判明しない場合は、職業、活動分野、初出資料の出版年（月）等をここに記録する（例 5）。
- ・個人の優先名称の王族の称号、貴族の称号や聖職者であることを示す語句をここに記録する。原則として優先名称と同一の言語で記録するが、判明しない場合は日本語で記録する。
- ・家族のタイプが同じで、識別上必要な家族と結びつく場所、家族の著名な構成員、家族と結びつく日付が判明しない場合は、初出資料の出版年（月）をここに丸がっこ“()”で囲んで記録する。
- ・【2020 年 12 月までに作成したデータ】典拠データの作成年代によっては、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称をラテン文字で記録する場合に、優先名称と同一の言語による称号等が判明するときも、日本語で称号等を記録している。

・末尾の区切り記号

- ①\$d が続く → コンマ “,”
- ②\$e または\$q または\$0 が続く → 区切り記号なし。

●\$d：生年、没年等

- ・個人の生年および（または）没年を記録する。原則としてすべて西暦で記録するが、生年および（または）没年がはっきりしない場合には、年代を限定できる何らかの語句を記録することがある（例 6）。
- ・生年と没年はハイフン“-”で結んで記録する。
- ・生年のみの場合には生年のあとにハイフンを、没年のみの場合には没年の前にハイフンを記録する。
- ・家族と結びつく日付として、家族の主な活動地での活動期間、または家族の最終の居住地に移住した日付を選択し、年を丸がっこ“()”で囲んで記録する。原則として西暦で記録するが、活動期間や移住した年がはっきりしない場合には、年代を限定できる何らかの語句を丸がっこ“()”で囲んで記録することがある。

・末尾の区切り記号

- ①\$d “YYYY-” で\$c が続く → 区切り記号なし。
- ②①以外で\$c が続く → コンマ “,”
- ③\$e または\$0 が続く → 区切り記号なし。

●\$e：関連指示子

- ・資料と個人・家族との関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子（以下の表 1～3

の用語のうちのいずれか) をここに文字列で記録する。ただし、適切な関連指示子がない場合、または容易に判断できない場合は、記録しない。

(関連指示子については、「国立国会図書館『日本目録規則 2018 年版』「付録 C.1、C.2、C.4」適用細則 (2021 年 1 月)」の「#C.2.1A 創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」「#C.2.1B 非創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」「#C.2.2A 寄与者として表現形と関連を有する個人・家族・団体」を参照のこと。)

- ・末尾の区切り記号なし。

表 1 700\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(著作と関連を有する個人・家族を創作者として記録する場合)

関連指示子
インタビュアー
インタビュイー
作曲者
写真撮影者
地図製作者
著者
脚本作者
作詞者
デザイナー
美術制作者
振付者
編纂者
口述者

表 2 700\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(著作と関連を有する個人・家族を非創作者として記録する場合)

関連指示子
監修者
責任刊行者
被記念者
編集責任者

表 3 700\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(表現形と関連を有する個人・家族を寄与者として記録する場合)

関連指示子
インタビュアー
インタビュイー
ナレーター
口述者
校閲者
校訂者
挿絵者
写真撮影者
地図製作者
作曲者
内容付加者
振付者
編曲者
编者
翻刻者 (2024年3月以降使用)
訳者

●\$q：展開形

- ・\$aにLC典拠データの優先名称を採用する場合に、ラテン文字等から成る個人の優先名称またはその一部が、イニシャル、略語、短縮形などであるときは、展開形（完全な形）の全体を丸がっこ“()”で囲んで記録する（例7）。
- ・上記以外の場合は、展開形（完全な形）を\$aに記録し、\$qを記録しないことがある。

・末尾の区切り記号

- ①\$cまたは\$dが続く → コンマ“,”
- ②\$eまたは\$0が続く → 区切り記号なし。

●\$0：典拠レコード管理番号

- ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』における典拠レコード管理番号と同一のものである。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$6：読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし。

例 1) 700 1# \$a Depp,□Johnny,
\$d 1963-
\$e 著者
\$0 00650307

例 2) 700 1# \$6 880-03
\$a 空海,
\$d 774-835
\$e 著者
\$0 00270624

例 3) 700 1# \$6 880-04
\$a 市川,□団十郎
\$b 2 世,
\$d 1688-1758
\$e 振付者
\$0 00270078

例 4) 700 1# \$a Paul
\$b VI,
\$c Pope,
\$d 1897-1978
\$e 著者
\$0 … (※)

※例示は仮のもの。\$0 には本来、リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。

例 5) 700 1# \$6 880-03
\$a 鈴木,□健二
\$d 1929-
\$c アナウンサー
\$e インタビュアー
\$0 00075507

例 6) 700 1# \$6 880-04
\$a 清少納言,

\$d 平安時代
\$e 著者
\$0 00271681

例 7) 700 1# \$a Kennedy, □A.

\$q (Andrew)
\$e 著者
\$0 … (※)

※例示は仮のもの。\$0には本来、リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。

710 典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：団体

■第1インディケータ：名称の形式

2 直接形

■第2インディケータ：記述のタイプ

情報なし（本タイトルに関わる創作者等の場合）

2 資料の部分（内容細目に関わる創作者等の場合）

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力	繰り返し	NCR 条項
\$a	優先名称	必須	不可	#44.1 #44.2
\$e	関連指示子	任意	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用上 必須	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには、記述対象資料によって具体化された著作の創作者等に該当すると判断した団体に対する典拠形アクセス・ポイントおよびその識別子を記録する。フィールド 245（タイトル、責任表示）、250（版表示）、264（出版表示等）、500（一般注記）、505（内容細目）等に記録した内容に含まれる団体に対する典拠形アクセス・ポイントを記録する場がある他、図書における記念論文集の被記念者等を記録する場がある。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】書誌データの作成年代によっては、サブフィールド\$aの末尾にピリオドを付している場合もある。

●\$a：優先名称

- ・団体の優先名称を記録する（例1）。設立年または廃止年、団体の種類、団体と結びつく

場所、関係団体を示す語句、書誌作成対象資料（初出資料）の出版（開始）年（月）等の識別要素を付加する場合は、\$a に丸がっこ“()”で付加する（例 2～6）。

- ・国名・地方公共団体名等、場所に対する典拠形アクセス・ポイントを記録する場合もある（例 7、8）。

●\$e：関連指示子

- ・資料と団体との関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子（以下の表 1～3 の用語のうちのいずれか）をここに文字列で記録する。ただし、適切な関連指示子がない場合、または容易に判断できない場合は、記録しない。

（関連指示子については、「国立国会図書館『日本目録規則 2018 年版』「付録 C.1、C.2、C.4」適用細則（2021 年 1 月）」の「#C.2.1A 創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」「#C.2.1B 非創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」「#C.2.2A 寄与者として表現形と関連を有する個人・家族・団体」を参照のこと。）

表 1 710\$e サブフィールドに記録する関連指示子
（著作と関連を有する団体を創作者として記録する場合）

関連指示子
インタビュアー
インタビュイー
作曲者
写真撮影者
制定法域団体
地図製作者
著者
脚本作者
作詞者
デザイナー
美術制作者
振付者
編纂者
口述者

表 2 710\$e サブフィールドに記録する関連指示子
（著作と関連を有する団体を非創作者として記録する場合）

関連指示子
委託者

監修者
責任刊行者
被記念者
編集責任者

表3 710\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(表現形と関連を有する団体を寄与者として記録する場合)

関連指示子
インタビューアー
インタビューイ
ナレーター
口述者
校閲者
校訂者
挿絵者
写真撮影者
地図製作者
作曲者
内容付加者
振付者
編曲者
编者
翻刻者 (2024年3月以降使用)
訳者

- \$0 : 典拠レコード管理番号
 - ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』における典拠レコード管理番号と同一のものである。
 - ・【2020年12月までに作成したデータ】逐次刊行資料について、書誌データの作成年代によっては、典拠レコード管理番号を記録していないものもある。
- \$6 : 読みの対応関係
 - ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例1) 710 2# \$6 880-03

\$a 国立国会図書館

\$e 責任刊行者

\$0 00288347

例 2) 設立年を付加する場合

710 2# \$6 880-03

\$a 日本総合研究所□(1989 年)

\$e 著者

\$0 00258448

例 3) 廃止年を付加する場合

710 2# \$6 880-03

\$a 民間伝承の会□(-1949 年)

\$e 著者

\$0 00322727

例 4) 団体の種類を付加する場合

710 2# \$6 880-03

\$a 共同通信社□(一般社団法人)

\$e 著者

\$0 00260048

例 5) 団体と結びつく場所を付加する場合

710 2# \$6 880-03

\$a 鹿島神宮□(茨城県鹿嶋市)

\$e 著者

\$0 00317332

例 6) 関係団体を示す語句を付加する場合

710 2# \$6 880-03

\$a 社会科教育研究会□(東京学芸大学内)

\$e 著者

\$0 00779939

例 7) 国名

710 2# \$6 880-03

\$a オーストラリア

\$e 著者
\$0 00871911

例 8) 地方公共団体名

710 2# \$6 880-03
\$a さいたま市
\$e 制定法域団体
\$0 00846617

720 非統制形アクセス・ポイント（創作者等）

■第1インディケータ：名称の種別

#	特定しない
2	その他

■第2インディケータ：未定義

#	未定義
---	-----

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	名称	必須	不可	#44
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドは、図書、非図書資料および逐次刊行資料についてのみ使用し、フィールド700（典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：個人）、フィールド710（典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：団体）に記録するもの以外の創作者等に対する非統制形アクセス・ポイントを記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：名称

- 図書は2021年1月以降、非図書資料は2024年8月以降、個人の名称を必要に応じて記録する（例1）。
- 逐次刊行資料について、本タイトルに関係する責任表示の名称と出版者が異なる場合に、本タイトルに関係する責任表示の名称等を必要に応じて記録する。また、並列出版者等を記録することがある。（例2）

●\$6：読みの対応関係

- 「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例1) 720 ## \$a 鈴木,□健二

例 2) 720 2# \$6 880-04

\$a 日本認知言語学会

730 典拠形アクセス・ポイント：著作

■第1インディケータ：排列無視文字数

0 排列無視文字なし

■第2インディケータ：タイトルの種類

情報なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	優先タイトル	必須	不可	#42.4
\$n	部編等	あれば必須	可	#42.4
\$k	形式	NDL 運用 上任意	NDL 運用 上不可	#42.4
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用 上あれば必須	NDL 運用 上不可	#42.4
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドは、2021年1月以降、図書についてのみ使用し、記述対象資料によって具体化された著作に対する典拠形アクセス・ポイントおよびその識別子を記録する。

2024年4月以降、国立国会図書館以外で付与された著作に対する典拠形アクセス・ポイントを記録する場合がある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：優先タイトル

- ・著作の優先タイトルを記録する（例1）。著作の日付等の識別要素を記録するときは、サブフィールドで区別せず、丸がっこ“()”で\$aに付加する。
- ・国立国会図書館以外で付与された著作に対する典拠形アクセス・ポイントの優先タイトルを記録する場合がある（例2）。

・末尾の区切り記号

- ①\$**n** が続く → ピリオド”.” (ただし、「!」「?」の直後となる場合は記録しない。
ピリオドが連続する場合は記録しない。)
- ②\$**k** が続く → 区切り記号なし。
- ③\$**0** が続く → 区切り記号なし。

例 1) 730 0# \$a Le△petit△prince

\$0 00627459

例 2) 730 0# \$6 880-03

\$a オレたち花のバブル組

\$k (小説)

●\$**n** : 部編等

- ・部編等のタイトルを記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$**k** : 形式

- ・2024年4月以降、730\$aに国立国会図書館以外で付与された著作に対する典拠形アクセス・ポイントの優先タイトルを記録する場合、ここに著作の形式を記録することがある(例2)。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$**0** : 典拠レコード管理番号

- ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』における典拠レコード管理番号と同一のものである。
- ・730\$aに国立国会図書館以外で付与された著作に対する典拠形アクセス・ポイントの優先タイトルを記録する場合には、\$0は記録しない。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$**6** : 読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし。

740 非統制形アクセス・ポイント（タイトル）

■第1インディケータ：排列無視文字数

0 排列無視文字なし

■第2インディケータ：タイトルの種類

情報なし

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	タイトル	必須	不可	#42 #43
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには、非統制形アクセス・ポイント（タイトル）のうち、資料に関する関連として記録するタイトルを記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

【2020年12月までに作成したデータ】フィールド末尾にはピリオド“.”を付している（末尾が「!」「?」の場合を除く）。ピリオドが連続する場合は一つのみ記録している。

●\$a: タイトル

- 資料に関する関連として記録するタイトル（原タイトル、タイトルに変化が発生した場合の変化前または変化後のタイトル等）で、非統制形アクセス・ポイント（タイトル）として記録する必要があるものを記録する。

●\$6: 読みの対応関係

- 「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例 1) 原タイトル

740 0# \$a Economic△and△social△survey△of△Asia△and△the△Pacific

例 2) タイトルに変化が発生した場合の変化前のタイトル
740 0# \$6 880-03 \$a 愛と人生をめぐる断想

76X-78X : 資料との関連リンクブロック

このブロックには、『日本目録規則 2018 年版』(NCR) で規定されるエレメントのうち、著作間の関連 (NCR の#43.1)、表現形間の関連 (同#43.2)、体現形間の関連 (同#43.3) を記録する。

■フィールド一覧

[760 上位のシリーズ](#)

[762 サブシリーズ](#)

[765 原言語版](#)

[767 他言語版](#)

[770 付属](#)

[772 本体](#)

[775 異版](#)

[776 他媒体版](#)

[780 先行](#)

[785 後続](#)

[787 その他の関連](#)

上記以外のフィールドは、不使用。

760 上位のシリーズ

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：固定表示文字列

上位のシリーズ

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.1
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.1
\$x	上位のシリーズの ISSN	あれば必須	不可	#43.1

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用する。著作間の全体・部分の関連として、記述対象資料の上位のシリーズを記録する。

【2020年12月までに作成したデータ】\$x（上位のシリーズの ISSN）のみ記録していることもある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・記述対象資料の上位のシリーズがある場合、上位のシリーズの本タイトルを記録する。
- ・上位のシリーズの本タイトルに加えて、上位のシリーズの巻次、部編等のタイトル、本タイトルに關係する責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】上位のシリーズの資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド 245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・上位のシリーズの書誌レコード管理番号を記録する。

- ・末尾の区切り記号なし。

- \$x : 上位のシリーズの ISSN

- ・上位のシリーズの ISSN を記録する。

- ・末尾の区切り記号なし。

例) 760 0# \$t AEI \$w 000000157557 \$x 1342-422X

762 サブシリーズ

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：固定表示文字列

サブシリーズ

フィールド任意				
フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.1
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.1
\$x	サブシリーズの ISSN	あれば必須	不可	#43.1

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用する。著作間の全体・部分の関連として、記述対象資料のサブシリーズを記録する。

【2020年12月までに作成したデータ】\$x（サブシリーズのISSN）のみ記録していることもある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・記述対象資料のサブシリーズがある場合、サブシリーズの本タイトルを記録する。
- ・サブシリーズの本タイトルに加えて、サブシリーズの巻次、部編等のタイトル、本タイトルに關係する責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】サブシリーズの資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・サブシリーズの書誌レコード管理番号を記録する。

- ・末尾の区切り記号なし。

- \$x：サブシリーズの ISSN

- ・サブシリーズの ISSN を記録する。

- ・末尾の区切り記号なし。

例) 762 0# \$t 日本癌学会総会記事 \$w 000000018279 \$x 0546-0476

765 原言語版

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：固定表示文字列

原言語版

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.2
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.2
\$x	原言語版の ISSN	あれば必須	不可	#43.2
\$z	原言語版の ISBN	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.2

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用する。表現形間の派生の関連として、記述対象資料の原言語版を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・記述対象資料の原言語版がある場合、原言語版の本タイトルを記録する。
- ・原言語版の本タイトルに加えて、原言語版の巻次、部編等のタイトル、本タイトルに係る責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】原言語版の資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド 245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・原言語版の書誌レコード管理番号を記録する。

- ・末尾の区切り記号なし。

- \$x：原言語版の ISSN

- ・原言語版の ISSN を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

- \$z：原言語版の ISBN

- ・原言語版の ISBN を記録する。
- ・区切り記号は、フィールド 020（国際標準図書番号（ISBN））を参照のこと。

例) 765 0# \$t World△development△report \$w 000000146049 \$x 0163-5085

767 他言語版

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：固定表示文字列

他言語版

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.2
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.2
\$x	他言語版の ISSN	あれば必須	不可	#43.2
\$z	他言語版の ISBN	任意	NDL 運用 上不可	#43.2

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用する。表現形間の派生の関連として、記述対象資料の他言語版を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・記述対象資料の他言語版がある場合、他言語版の本タイトルを記録する。
- ・他言語版の本タイトルに加えて、他言語版の巻次、部編等のタイトル、本タイトルに係る責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】他言語版の資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド 245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・他言語版の書誌レコード管理番号を記録する。

- ・末尾の区切り記号なし。

- \$x：他言語版の ISSN

- ・他言語版の ISSN を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

- \$z：他言語版の ISBN

- ・他言語版の ISBN を記録する。
- ・区切り記号は、フィールド 020（国際標準図書番号（ISBN））を参照のこと。

例) 767 0# \$t Asian△breeze \$w 000000152644 \$x 0918-8274

770 付属

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：固定表示文字列

付属

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.1
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.1
\$x	付属の ISSN	あれば必須	不可	#43.1
\$z	付属の ISBN	任意	NDL 運用 上不可	#43.1

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用する。著作間の付属・付加の関連として、記述対象資料の付属を記録する。

【2020年12月までに作成したデータ】\$x（付属のISSN）のみ記録している場合や、このフィールドではなく、フィールド787（その他の関連）のサブフィールド\$i（関連の種類に関する情報）に「付録誌」と付加して記録している場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・記述対象資料の付属がある場合、付属の本タイトルを記録する。
- ・付属の本タイトルに加えて、付属の巻次、部編等のタイトル、本タイトルに関係する責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】付属の資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・ 付属の書誌レコード管理番号を記録する。
- ・ 末尾の区切り記号なし。

●\$x：付属の ISSN

- ・ 付属の ISSN を記録する。
- ・ 末尾の区切り記号なし。

●\$z：付属の ISBN

- ・ 付属の ISBN を記録する。
- ・ 区切り記号は、フィールド 020（国際標準図書番号（ISBN））を参照のこと。

例 1) 770 0# \$t 経済分析.□付録□/□経済企画庁経済研究所□編 \$w 00000006487

例 2) 770 0# \$t Educational△studies△in△Japan,△international△yearbook
\$w 000008302734 \$x 1881-4832

772 本体

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：固定表示文字列

本体

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.1
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.1
\$x	本体の ISSN	あれば必須	不可	#43.1
\$z	本体の ISBN	任意	NDL 運用 上不可	#43.1

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用する。著作間の付属・付加の関連として、記述対象資料の本体を記録する。

【2020年12月までに作成したデータ】\$x（本体のISSN）のみ記録している場合や、このフィールドではなく、フィールド787（その他の関連）のサブフィールド\$i（関連の種類に関する情報）に「本体誌」と付加して記録している場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・記述対象資料の本体がある場合、本体の本タイトルを記録する。
- ・本体の本タイトルに加えて、本体の巻次、部編等のタイトル、本タイトルに関係する責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】本体の資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・本体の書誌レコード管理番号を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$x：本体の ISSN

- ・本体の ISSN を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$z：本体の ISBN

- ・本体の ISBN を記録する。
- ・区切り記号は、フィールド 020（国際標準図書番号（ISBN））を参照のこと。

例) 772 0# \$t 経済分析 \$w 000000004621 \$x 0453-4727

775 異版

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：固定表示文字列

異版

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.3
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.3
\$x	異版の ISSN	あれば必須	不可	#43.3
\$z	異版の ISBN	任意	NDL 運用 上不可	#43.3

このフィールドは、逐次刊行資料および図書についてのみ使用する。体現形間の等価の関連として、記述対象資料の異版を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・記述対象資料の異版がある場合、異版の本タイトルを記録する。
- ・異版の本タイトルに加えて、異版の巻次、部編等のタイトル、本タイトルに関係する責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】逐次刊行資料では異版の資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド 245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・異版の書誌レコード管理番号を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$x：異版の ISSN

- ・異版の ISSN を記録する（例 1、2）。

【2011 年 11 月までに作成したデータ】逐次刊行資料では一つの異版について、\$t および \$w とは別にフィールドを繰り返して記録している場合がある（例 2）。

- ・末尾の区切り記号なし。

●\$z：異版の ISBN

- ・異版の ISBN を記録する。
- ・区切り記号は、フィールド 020（国際標準図書番号（ISBN））を参照のこと。

例 1) 775 0# \$t 国立国会図書館月報 \$w 000000008550 \$x 0027-9153

例 2) 一つの異版についてフィールドを繰り返している例

775 0# \$t 季刊行政管理研究 \$w 000000031059

775 0# \$x 0386-684X

776 他媒体版

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：固定表示文字列

他媒体版

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.3
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.3
\$x	他媒体版の ISSN	あれば必須	不可	#43.3
\$z	他媒体版の ISBN	任意	NDL 運用 上不可	#43.3

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用する。体現形間の等価の関連として、記述対象資料の他媒体版を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・記述対象資料の他媒体版がある場合、他媒体版の本タイトルを記録する。
- ・他媒体版の本タイトルに加えて、他媒体版の巻次、部編等のタイトル、本タイトルに係る責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】他媒体版の資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド 245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・他媒体版の書誌レコード管理番号を記録する。

- ・末尾の区切り記号なし。

- \$x：他媒体版の ISSN

- ・他媒体版の ISSN を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

- \$z：他媒体版の ISBN

- ・他媒体版の ISBN を記録する。
- ・区切り記号は、フィールド 020（国際標準図書番号（ISBN））を参照のこと。

例) 776 0# \$t 技術開発年次報告書 \$w 023930024 \$x 2187-347X

780 先行

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：関係性種別

0 継続前

1 分割前

4 合併前

5 吸収前

6 一部吸収前

7 派生前

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$g	改題発生巻次・年月次	あれば必須	可	#43.1
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.1
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.1
\$x	リンク先レコードの ISSN	あれば必須	不可	#43.1
\$z	リンク先レコードの ISBN	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.1

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用する。著作間の連続の関連として、記述対象資料に先行する資料を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$g：改題発生巻次・年月次

- ・第2インディケータが「5」、「6」または「7」の場合、必要に応じてタイトルの変化が発生した時の順序表示（巻次・年月次）を記録する。

・末尾の区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・逐次刊行資料のタイトルの変化がある場合、変化前の本タイトルを記録する。
- ・変化前の本タイトルに加えて、変化前の巻次、部編等のタイトル、本タイトルに関する責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】変化前の資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド 245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・タイトルの変化前の書誌レコード管理番号を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$x：リンク先レコードの ISSN

- ・タイトルの変化前の ISSN を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$z：リンク先レコードの ISBN

- ・タイトルの変化前の ISBN を記録する。
- ・区切り記号は、フィールド 020（国際標準図書番号（ISBN））を参照のこと。

例 1) 継続前が「環境白書. 概要版」の場合

780 00 \$t 環境白書.概要版□/□静岡県くらし・環境部環境局環境政策課□編
\$w 024119690

例 2) 分割前が「六甲台論集」の場合

780 01 \$t 六甲台論集□/□神戸大学大学院研究会□編 \$w 000000024651
\$x 0286-6404

例 3) 合併前が「ERINA report」および「ERINA business news」の場合

780 04 \$t ERINA△report \$w 000000100854 \$x 1343-4225
780 04 \$t ERINA△business△news \$w 000000103883

例 4) 吸収前が「畜牛」の場合

780 05 \$t 畜牛 \$w 000000014633 \$g 17 巻 5 号-

例 5) 派生前が「書陵部紀要」の場合

780 07 \$t 書陵部紀要□/□宮内庁書陵部□編 \$w 000000011817 \$x 0447-4112

785 後続

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：関係性種別

0 継続後
1 派生後
4 吸収後
5 一部吸収後
6 分割後
7 合併後

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$g	改題発生巻次・年月次	あれば必須	可	#43.1
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.1
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.1
\$x	リンク先レコードの ISSN	あれば必須	不可	#43.1
\$z	リンク先レコードの ISBN	任意	NDL 運用 上不可	#43.1

このフィールドは、逐次刊行資料にのみ使用する。著作間の連続の関連として、記述対象資料に後続する資料を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$g：改題発生巻次・年月次

- ・第2インディケータが「1」、「4」または「5」の場合、必要に応じてタイトルの変化が発生した時の順序表示（巻次・年月次）を記録する。

・末尾の区切り記号なし。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・逐次刊行資料のタイトルの変化がある場合、変化後の本タイトルを記録する。
- ・変化後の本タイトルに加えて、変化後の巻次、部編等のタイトル、本タイトルに関する責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】変化後の資料種別を記録している場合もある。

- ・区切り記号はフィールド 245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・変化後の書誌レコード管理番号を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$x：リンク先レコードの ISSN

- ・変化後の ISSN を記録する。
- ・末尾の区切り記号なし。

●\$z：リンク先レコードの ISBN

- ・変化後の ISBN を記録する。
- ・区切り記号は、フィールド 020（国際標準図書番号（ISBN））を参照のこと。

例 1) 継続後が「しずおかの環境. 概要版」の場合

785 00 \$t しずおかの環境.□概要版□/□静岡県くらし・環境部環境局環境政策課
□編 \$w 030129174

例 2) 分割後が「六甲台論集. 経済学編」、「六甲台論集. 経営学編」、「六甲台論集. 法学政治学篇」の場合

785 06 \$t 六甲台論集.□経済学編 \$w 000000099193 \$x 1341-4925
785 06 \$t 六甲台論集.□経営学編 \$w 000000099192 \$x 1341-4933
785 06 \$t 六甲台論集.□法学政治学篇 \$w 000000099194 \$x 1341-4941

例 3) 合併後が「ERINA report plus」の場合

785 07 \$t ERINA△report△plus \$w 028062774 \$x 2432-9304

例 4) 吸収後が「畜産」の場合

785 04 \$t 畜産 \$w 000000014637

例 5) 61 号から「書陵部紀要. 陵墓篇」が派生する場合

785 01 \$t 書陵部紀要.□陵墓篇□/□宮内庁書陵部□編 \$w 000010831083 \$g 61 号

-

787 その他の関連

■第1インディケータ：注記表示の制御

0 注記として表示する

■第2インディケータ：固定表示文字列

関連先資料

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$i	関連の種類に関する情報	任意	可	#43.1 #43.3
\$t	リンク先レコードのタイトル	あれば必須	不可	#43.1 #43.3
\$w	リンク先レコードの管理番号	あれば必須	NDL 運用 上不可	#43.1 #43.3
\$x	リンク先レコードの ISSN	あれば必須	不可	#43.1 #43.3
\$z	リンク先レコードの ISBN	任意	NDL 運用 上不可	#43.1 #43.3

このフィールドは、逐次刊行資料および図書についてのみ使用する。フィールド 760（上位のシリーズ）～フィールド 785（後続）に該当しないその他の関連を記録する。

サブフィールドの出現順が例示と異なる場合もある。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$i：関連の種類に関する情報

- ・記述対象資料との関連の種類に関する情報を付加して記録する場合、以下の用語を記録する。

【2020年12月までに作成したデータ】逐次刊行資料では著作間の付属・付加の関連について、フィールド770（付属）および772（本体）ではなく、このサブフィールドに「付録誌」「本体誌」と付加して記録していることもある。

- ・ 巻次共有
- ・ 区分換
- ・ 原資料
- ・ 複製資料
- ・ 合冊刊行

・ 末尾の区切り記号なし

【2011年11月までに作成したデータ】逐次刊行資料ではコロン“:”を記録している場合もある。

●\$t：リンク先レコードのタイトル

- ・ 記述対象資料の関連先資料がある場合、関連先資料の本タイトルを記録する。
- ・ 関連先資料の本タイトルに加えて、関連先資料の巻次、部編等のタイトル、本タイトルに關係する責任表示を記録している場合もある。

【2020年12月までに作成したデータ】逐次刊行資料では関連先資料の資料種別を記録している場合もある。

- ・ 区切り記号はフィールド245（タイトル、責任表示）を参照のこと。

●\$w：リンク先レコードの管理番号

- ・ 関連先資料の書誌レコード管理番号を記録する。
- ・ 末尾の区切り記号なし。

●\$x：リンク先レコードのISSN

- ・ 関連先資料のISSNを記録する（例1、2）。

【2011年11月までに作成したデータ】逐次刊行資料では一つの関連先資料について、\$i、\$t および\$w とは別にフィールドを繰り返して記録している場合がある（例2）。また、一つの関連資料について、フィールド787（その他の関連）に記録した\$i、\$t および\$w とは別に、\$xのみフィールド770（付属）または772（本体）に記録している場合がある。

- ・ 末尾の区切り記号なし。

●\$z：リンク先レコードのISBN

- ・ 関連先資料のISBNを記録する。
- ・ 区切り記号は、フィールド020（国際標準図書番号（ISBN））を参照のこと。

例 1) 787 0# \$i 卷次共有: \$t 算数授業研究□/□筑波大学附属小学校算数研究部□企画・
編集 \$w 000000101102 \$x 1342-7474

例 2) 一つの関連先資料についてフィールドを繰り返している例

787 0# \$t 季刊森林総研□/□森林総合研究所広報誌編集委員会□編
\$w 000009346495

787 0# \$x 1883-0048

80X-83X : アクセス・ポイントブロック (シリーズの創作者等)

このブロックには、『日本目録規則 2018 年版』(NCR)で規定される、資料と個人・家族・団体との関連(NCRの#44)のうち、シリーズに対応する著作の創作者等との関連を、典拠形アクセス・ポイントおよび識別子により記録する。シリーズ以外の創作者等に対する典拠形アクセス・ポイントについては70X-75Xブロック(アクセス・ポイントブロック(創作者等))を参照のこと。

■フィールド一覧

[800 典拠形アクセス・ポイント \(シリーズの創作者等\) : 個人、家族](#)

[810 典拠形アクセス・ポイント \(シリーズの創作者等\) : 団体](#)

上記以外のフィールドは、不使用。

800 典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：個人、家族

■第1インディケータ：実体種別

- 1 個人
- 3 家族

■第2インディケータ：未定義

- # 未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	優先名称	必須	不可	#44.1 #44.2
\$b	世系	あれば必須	不可	#44.1 #44.2
\$c	識別要素	あれば必須	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$d	生年、没年等	あれば必須	不可	#44.1 #44.2
\$e	関連指示子	任意	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$q	展開形	あれば必須	不可	#44.1 #44.2
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用上 必須	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには、記述対象資料によって具体化されたシリーズの著作の創作者等に該当すると判断した個人および家族に対する典拠形アクセス・ポイントおよびその識別子を記録する。具体的には、フィールド 490（シリーズ表示）に記録した内容に含まれる個人および家族に対する典拠形アクセス・ポイントを記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。

●\$a：優先名称

- ・個人または家族の優先名称を記録する。
- ・個人の優先名称は姓名の順に記録し、姓と名の間はコンマ、スペース“，□”で区切る（例 1）。姓名形でない場合は、全体を一語として記録する（例 2）。
- ・敬称等は基本的に記録しないが、識別上必要な場合は、\$a に含めて記録する。
- ・家族の優先名称に家族のタイプや家族と結びつく場所等の識別要素を付加する場合は、\$c には記録せず、\$a に丸がっこ“()”で付加する。ただし、識別要素として初出資料の出版年（月）等を記録する場合には\$c に、家族と結びつく日付を記録する場合には\$d に記録するときがある。

・末尾の区切り記号

- ①\$b が続く → 区切り記号なし。
- ②\$c または\$d が続く → コンマ“，”
- ③\$e または\$q または\$0 が続く → 区切り記号なし。

●\$b：世系

- ・個人の優先名称に付加する世系を記録する（例 3）。ここに記録する要素には「家系」「屋号」等がある。
- ・原則として「～世」を採用するが、先代が「～代目」「～代」を採用している場合にはそれに倣う。
- ・原則として優先名称で使用した言語で世系を記録し、漢数字はアラビア数字に置き換えて記録する。ただし、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の世系はラテン文字またはラテン文字の組み合わせにより、ローマ数字を表現して記録する（例 4）。
- ・【2020 年 12 月までに作成したデータ】典拠データの作成年代によっては、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称をラテン文字で記録する場合も、日本語で世系を記録している。

・末尾の区切り記号

- ①\$c または\$d が続く → コンマ“，”
- ②\$e または\$q または\$0 が続く → 区切り記号なし。

●\$c：識別要素

- ・個人の優先名称に付加する世系、生年および（または）没年のみでは同姓同名の識別が困難な場合や、識別上必要な生年および（または）没年が判明しない場合は、職業、活動分

野、初出資料の出版年（月）等をここに記録する（例 5）。

- ・個人の優先名称の王族の称号、貴族の称号や聖職者であることを示す語句をここに記録する。原則として優先名称と同一の言語で記録するが、判明しない場合は日本語で記録する。
- ・家族のタイプが同じで、識別上必要な家族と結びつく場所、家族の著名な構成員、家族と結びつく日付が判明しない場合は、初出資料の出版年（月）をここに丸がっこ“()”で囲んで記録する。
- ・【2020年12月までに作成したデータ】典拠データの作成年代によっては、日本人、中国人、韓国・朝鮮人以外の個人の優先名称をラテン文字で記録する場合に、優先名称と同一の言語による称号等が判明するときも、日本語で称号等を記録している。

・末尾の区切り記号

①\$dが続く → コンマ“,”

②\$eまたは\$qまたは\$0が続く → 区切り記号なし。

●\$d：生年、没年等

- ・個人の生年および（または）没年を記録する。原則としてすべて西暦で記録するが、生年および（または）没年がはっきりしない場合には、年代を限定できる何らかの語句を記録することがある（例 6）。
- ・生年と没年はハイフン“-”で結んで記録する。
- ・生年のみの場合には生年のあとにハイフンを、没年のみの場合には没年の前にハイフンを記録する。
- ・家族と結びつく日付として、家族の主な活動地での活動期間、または家族の最終の居住地に移住した日付を選択し、年を丸がっこ“()”で囲んで記録する。原則として西暦で記録するが、活動期間や移住した年がはっきりしない場合には、年代を限定できる何らかの語句を丸がっこ“()”で囲んで記録することがある。

・末尾の区切り記号

①\$d “YYYY” で\$cが続く → 区切り記号なし。

②①以外で\$cが続く → コンマ“,”

③\$eまたは\$0が続く → 区切り記号なし。

●\$e：関連指示子

- ・資料と個人・家族との関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子（以下の表 1～3 の用語のうちのいずれか）をここに文字列で記録する。ただし、適切な関連指示子がない場合、または容易に判断できない場合は、記録しない。

（関連指示子については、「国立国会図書館『日本目録規則 2018年版』」付録 C.1、C.2、

- C.4] 適用細則 (2021 年 1 月)」の「#C.2.1A 創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」「#C.2.1B 非創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」「#C.2.2A 寄与者として表現形と関連を有する個人・家族・団体」を参照のこと。)
- ・ 末尾の区切り記号なし。

表 1 800\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(著作と関連を有する個人・家族を創作者として記録する場合)

関連指示子
インタビュアー
インタビュイー
作曲者
写真撮影者
地図製作者
著者
脚本作者
作詞者
デザイナー
美術制作者
振付者
編纂者
口述者

表 2 800\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(著作と関連を有する個人・家族を非創作者として記録する場合)

関連指示子
監修者
責任刊行者
被記念者
編集責任者

表 3 800\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(表現形と関連を有する個人・家族を寄与者として記録する場合)

関連指示子
インタビュアー
インタビュイー

ナレーター
口述者
校閲者
校訂者
挿絵者
写真撮影者
地図製作者
作曲者
内容付加者
振付者
編曲者
编者
翻刻者（2024年3月以降使用）
訳者

●\$q：展開形

- ・\$aにLC典拠データの優先名称を採用する場合に、ラテン文字等から成る個人の優先名称またはその一部が、イニシャル、略語、短縮形などであるときは、展開形（完全な形）の全体を丸がっこ“()”で囲んで記録する（例7）。
- ・上記以外の場合は、展開形（完全な形）を\$aに記録し、\$qを記録しないことがある。

・末尾の区切り記号

- ①\$cまたは\$dが続く → コンマ“,”
- ②\$eまたは\$0が続く → 区切り記号なし。

●\$0：典拠レコード管理番号

- ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』における典拠レコード管理番号と同一のものである。
- ・末尾の区切り記号なし

●\$6：読みの対応関係

- ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。
- ・末尾の区切り記号なし。

例 1) 800 1# \$a Depp, □Johnny,
\$d 1963-

\$e 著者
\$0 00650307

例 2) 800 1# \$6 880-03
\$a 空海,
\$d 774-835
\$e 著者
\$0 00270624

例 3) 800 1# \$6 880-04
\$a 市川,□団十郎
\$b 2 世,
\$d 1688-1758
\$e 振付者
\$0 00270078

例 4) 800 1# \$a Paul
\$b VI,
\$c Pope,
\$d 1897-1978
\$e 著者
\$0 … (※)

※例示は仮のもの。\$0 には本来、リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。

例 5) 800 1# \$6 880-03
\$a 鈴木,□健二
\$d 1929-
\$c アナウンサー
\$e インタビュアー
\$0 00075507

例 6) 800 1# \$6 880-04
\$a 清少納言,
\$d 平安時代
\$e 著者
\$0 00271681

例 7) 800 1# \$a Kennedy,□A.

\$q (Andrew)

\$e 著者

\$0 … (※)

※例示は仮のもの。\$0 には本来、リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。

810 典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：団体

■第1インディケータ：名称の形式

2 直接形

■第2インディケータ：未定義

未定義

フィールドあれば必須 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		入力	繰り返し	NCR 条項
\$a	優先名称	必須	不可	#44.1 #44.2
\$e	関連指示子	任意	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$0	典拠レコード管理番号	NDL 運用上 必須	NDL 運用 上不可	#44.1 #44.2
\$6	読みの対応関係	あれば必須	不可	

このフィールドには、記述対象資料によって具体化されたシリーズの著作の創作者等に該当すると判断した団体に対する典拠形アクセス・ポイントおよびその識別子を記録する。具体的には、フィールド 490（シリーズ表示）に記録した内容に含まれる団体に対する典拠形アクセス・ポイントを記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a：優先名称

- ・団体の優先名称を記録する（例 1）。設立年または廃止年、団体の種類、団体と結びつく場所、関係団体を示す語句、書誌作成対象資料（初出資料）の出版（開始）年（月）等の識別要素を付加する場合は、\$a に丸がっこ“()”で付加する（例 2～6）。
- ・国名・地方公共団体名等、場所に対する典拠形アクセス・ポイントを記録する場合もある（例 7、8）。

●\$e：関連指示子

- 資料と団体との関連の詳細な種類を示す語句として、関連指示子（以下の表 1～3 の用語のうちのいずれか）をここに文字列で記録する。ただし、適切な関連指示子がない場合、または容易に判断できない場合は、記録しない。

（関連指示子については、「国立国会図書館『日本目録規則 2018 年版』「付録 C.1、C.2、C.4」適用細則（2021 年 1 月）」の「#C.2.1A 創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」「#C.2.1B 非創作者として著作と関連を有する個人・家族・団体」「#C.2.2A 寄与者として表現形と関連を有する個人・家族・団体」を参照のこと。）

表 1 810\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(著作と関連を有する団体を創作者として記録する場合)

関連指示子
インタビュアー
インタビュイー
作曲者
写真撮影者
制定法域団体
地図製作者
著者
脚本作者
作詞者
デザイナー
美術制作者
振付者
編纂者
口述者

表 2 810\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(著作と関連を有する団体を非創作者として記録する場合)

関連指示子
委託者
監修者
責任刊行者
被記念者

編集責任者

表3 810\$e サブフィールドに記録する関連指示子
(表現形と関連を有する団体を寄与者として記録する場合)

関連指示子
インタビュアー
インタビュイー
ナレーター
口述者
校閲者
校訂者
挿絵者
写真撮影者
地図製作者
作曲者
内容付加者
振付者
編曲者
编者
翻刻者 (2024年3月以降使用)
訳者

- \$0 : 典拠レコード管理番号
 - ・リンク先の典拠レコード管理番号を記録する。この番号は、『JAPAN/MARC(A)』における典拠レコード管理番号と同一のものである。
- \$6 : 読みの対応関係
 - ・「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

例1) 810 2# \$6 880-03

\$a 国立国会図書館

\$e 責任刊行者

\$0 00288347

例2) 設立年を付加する場合

810 2# \$6 880-03

\$a 日本総合研究所□(1989年)
\$e 著者
\$0 00258448

例 3) 廃止年を付加する場合

810 2# \$6 880-03
\$a 民間伝承の会□(-1949年)
\$e 著者
\$0 00322727

例 4) 団体の種類を付加する場合

810 2# \$6 880-03
\$a 共同通信社□(一般社団法人)
\$e 著者
\$0 00260048

例 5) 団体と結びつく場所を付加する場合

810 2# \$6 880-03
\$a 鹿島神宮□(茨城県鹿嶋市)
\$e 著者
\$0 00317332

例 6) 関係団体を示す語句を付加する場合

810 2# \$6 880-03
\$a 社会科教育研究会□(東京学芸大学内)
\$e 著者
\$0 00779939

例 7) 国名

810 2# \$6 880-03
\$a オーストラリア
\$e 著者
\$0 00871911

例 8) 地方公共団体名

810 2# \$6 880-03

\$a さいたま市
\$e 制定法域団体
\$0 00846617

84X-88X : 所蔵、代替文字種表現等ブロック

このブロックには、オンライン資料へのアクセス、所蔵情報、代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）を記録する。

■フィールド一覧

856 オンライン資料へのアクセス（地図資料）

866 所蔵情報

880 代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）

上記以外のフィールドは、不使用

856 オンライン資料へのアクセス（地図資料）

■第1インディケータ：アクセス方法

4 HTTP

■第2インディケータ：関連

1 異版

2 関連資料

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$u	URI (Uniform Resource Identifier : 統一資源識別子)	あれば必須	可	#43.1 #43.3
\$z	アクセス情報に関する注記	任意	可	#43.1 #43.3
\$3	資料の特定	あれば必須	不可	#43.1 #43.3

このフィールドは、地図資料についてのみ使用し、記述対象資料と関連するオンライン資料にアクセスするための情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$u : URI (Uniform Resource Identifier : 統一資源識別子)

- ・他機関が所蔵する異版との関連を記録する必要がある場合は、関連するオンライン資料の識別子を記録する（例1）。

例1) 245 00 \$a Koshikijima□:□\$b zone△2.△col.△2

856 41 \$z 産総研地質調査総合センター△地質文献データベース□(GEOLIS)

\$u <https://darc.gsj.jp/archives/detail?cls=geolis&pkey=300031599>

- 他のデータベースの索引図等との関連を記録する必要がある場合は、関連するオンライン資料の識別子を記録する（例 2）。

例 2) 245 00 \$6 880-01 \$a 新潟市図

856 42 \$3 索引図

\$u https://ndlsearch.ndl.go.jp/file/rnavi/maps/post_476/Z044.pdf

- \$z : アクセス情報に関する注記
- \$u に記録したオンライン資料のインターネット上の資料の所在に関する注記を記録する（例 1）。
- \$3 : 資料の特定
- \$u に記録したオンライン資料の内容を特定する情報を記録する（例 2）。

866 所蔵情報

■第1インディケータ：フィールド符号化レベル

情報なし

■第2インディケータ：表記のタイプ

0 標準規格によらない表記

フィールド任意 フィールド繰り返し可				
サブフィールドコード		要求度	繰り返し	NCR 条項
\$a	所蔵順序表示	任意	不可	#3.7
\$z	欠号情報／所蔵に関する注記	任意	可	#3.7

このフィールドは、逐次刊行資料についてのみ使用し、記述対象資料の国立国会図書館での所蔵に関する情報を記録する。

フィールド末尾には区切り記号なし。また、すべてのサブフィールドで、末尾に区切り記号なし。

●\$a: 所蔵順序表示

- ・逐次刊行資料の所蔵巻次・年月次を記録する。

●\$z: 欠号情報／所蔵に関する注記

- ・逐次刊行資料の欠号情報と所蔵に関する注記を記録する。
- ・欠号情報は対になる所蔵順序表示（巻次・年月次）を記録する\$a と同じフィールド 866 に記録する。
- ・所蔵に関する注記は所蔵順序表示（巻次・年月次）とは別のフィールド 866 に記録する。

例) 866 #0 \$a 1回□(2004年7月1日)-20回□(2008年7月1日) \$z 欠:□18回
866 #0 \$z 以後図書扱い

880 代替文字種表現（片仮名読み形・ローマ字読み形）

■インディケータ

対応するフィールドのインディケータと同じ

フィールドあれば必須			
フィールド繰り返し可			
サブフィールドコード	要求度	繰り返し	NCR 条項
\$6	読みの対応関係	必須	不可
上記以外のサブフィールドは、対応するフィールドのサブフィールドと同じ（フィールド 700/710/800/810 の\$e を除く）			

このフィールドには、正規フィールド（フィールド 700/710/800/810 の\$e を除く）に対応する片仮名読み形およびローマ字読み形を記録する（例 1）。片仮名読み形にはハングル読み形を含む場合がある（例 2）。詳細は「5. 読みの表現方法」を参照のこと。

フィールド・サブフィールド末尾の区切り記号は、対応するフィールドの規定に従う。

●\$6: 読みの対応関係

- ・正規フィールドと読みフィールドの対応関係は、正規フィールド、読みフィールドの\$6 に下記のとおり値を格納することにより表現する。

正規フィールド：読みフィールド番号-オカレンス番号

読みフィールド（片仮名読み形またはハングル読み形）：正規フィールド番号-オカレンス番号/\$1

読みフィールド（ローマ字読み形）：正規フィールド番号-オカレンス番号/(B

例 1) 245 00 \$6 880-01 \$a ばらいろの童話集□/ \$c アンドリュー・ラング□編著□;□
川端康成,□野上彰□編訳

700 1# \$a Lang,□Andrew, \$d 1844-1912 \$0 000446814

700 1# \$6 880-04 \$a 川端,□康成, \$d 1899-1972 \$0 00028570

700 1# \$6 880-05 \$a 野上,□彰, \$d 1909-1967 \$0 00056080

880 00 \$6 245-01/\$1 \$a バライロ△ノ△ドウワシュウ□/

880 00 \$6 245-01/(B \$a Barairo△no△dowashu□/

880 1# \$6 700-04/\$1 \$a カワバタ,□ヤスナリ, \$d 1899-1972 \$0 00028570

880 1# \$6 700-04/(B \$a Kawabata,□Yasunari, \$d 1899-1972 \$0 00028570

880 1# \$6 700-05/\$1 \$a ノガミ,□アキラ, \$d 1909-1967 \$0 00056080

880 1# \$6 700-05/(B \$a Nogami,□Akira, \$d 1909-1967 \$0 00056080

例 2) 245 00 \$6 880-01 \$a 大韓民國의△性格과△그△世界的意義

880 00 \$6 245-01/\$1 \$a 대한△민국의△성격과△그△세계적△의의

更新履歴

更新年月	更新内容
2021年5月	初版作成
2022年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・「008/06：刊行種別コード（共通）」および「008/11-14：西暦年2（共通）」に更新資料（加除式資料）に係る規定を追加。また、単行資料で出版年が一部不明の場合の例示を追加。 ・「国立国会図書館ジャンル・形式用語表」に収録される用語および適用対象資料群の拡大に伴い、「2.収録範囲と内容」「JAPAN/MARCの適用規則一覧」、「655 典拠形アクセス・ポイント：ジャンル・形式用語」フィールドの規定を修正。 ・その他軽微な文言の修正。
2023年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・「008/06：刊行種別コード（共通）」、「008/07-10：西暦年1（共通）」および「008/11-14：西暦年2（共通）」に、単行資料で単一日付である出版年の範囲が推測できる場合の規定と例示を追加。また、更新資料（加除式資料）に係る規定を修正。 ・「034：数値データ：コード化情報（地図資料）」フィールドの経緯度を記録した場合の例示を変更。 ・「035 他MARC番号等」フィールドの「\$z：無効な他MARC番号等」で使用する機関のコードを、「\$a：他MARC番号等」に合わせ変更。 ・「255 数値データ（地図資料）」フィールドの「\$c：経緯度」の規定と例示を修正。 ・「520 要約等」フィールドを使用する資料群を、「電子資料およびアジア言語資料」から「単行資料」に変更。また、第1インディケータの値に「1 レビュー」を追加。 ・「561 所有・管理履歴」フィールドの規定を追加。 ・その他軽微な文言の修正。
2024年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「264 出版表示等」フィールドの「\$b：出版者等」の図書、非図書資料のうち地図資料、電子資料およびその他の非図書資料について、共同刊行者等、複数の出版者がある場合の規定を変更。 ・「300 キャリアに関する情報：数量、大きさ等」フィールドのサブフィールド\$bの名称を「制作手段、色彩等（地図資料）」から「形態の詳細」に変更。それに伴い、マニュアル中の他の箇所の300\$bの名称も修正。 ・「700 典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：個人」、「710 典

	<p> 拠形アクセス・ポイント（創作者等）：団体」、「800 典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：個人」および「810 典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：団体」フィールドの「\$e：関連指示子」の表 3 に、関連指示子「翻刻者」を追加。 ・一部資料への国立国会図書館以外で付与された著作に対する典拠形アクセス・ポイントの記録の開始に伴い、「730 典拠形アクセス・ポイント：著作」フィールドの規定を変更。 ・その他軽微な文言の修正。 </p>
2025 年 3 月	<p> ・「028 出版者番号」フィールドの「\$b：レーベル名」に電子資料の規定を追加。 ・「家族に対する典拠形アクセス・ポイントの選択・形式基準」の運用開始に伴い、「600 典拠形アクセス・ポイント（件名）：個人、家族」フィールドの規定を修正。 また 700 および 800 のフィールドの名称を「700 典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：個人、家族」、「800 典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：個人、家族」に変更。第 1 インディケータの値に「3 家族」を追加し、家族名典拠についての規定を追加。 ・「700 典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：個人、家族」および「800 典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：個人、家族」フィールドの「\$e：関連指示子」の表 2 に、関連指示子「責任刊行者」を追加。 ・「710 典拠形アクセス・ポイント（創作者等）：団体」および「810 典拠形アクセス・ポイント（シリーズの創作者等）：団体」フィールドの「\$e：関連指示子」の表 2 に、関連指示子「編集責任者」を追加。 ・「720 非統制形アクセス・ポイント（創作者等）」フィールドを使用する資料群に非図書資料を追加。 ・「765 原言語版」、「767 他言語版」、「770 付属」、「772 本体」、「775 異版」、「776 他媒体版」、「780 先行」、「785 後続」および「787 その他の関連」フィールドに各々 ISBN を記録する \$z を追加。 ・「775 異版」および「787 その他の関連」フィールドを使用する資料群に図書を追加。 ・「856 オンライン資料へのアクセス（地図資料）」フィールドの NCR 条項欄に「#43.1」を追加。「\$u：URI（Uniform Resource Identifier：統一資源識別子）」に他のデータベースの索引図等との関 </p>

	<p>連を記録する必要がある場合の規定と例示を追加。他機関が所蔵する異版との関連を記録する必要がある場合の例示の変更。</p> <ul style="list-style-type: none">・その他軽微な文言の修正。
--	---